# Webex Contact Center キャンペーンマネージャーレポートマニュアル

バージョン 4.2.1.2501

米国本社
Cisco Systems, Inc.
170 West Tasman Drive
San Jose, CA 95134-1706 USA
http://www.cisco.com Tel:408 526-4000
800 553-NETS (6387) Fax: 408 527-0883

このマニュアルに記載されている仕様および製品に関する情報は、予告なしに変更されることがあります。 このマニュアルに記載されている式、情報、および推奨事項は、すべて正確であると考えていますが、明示的であれ黙示的であれ、一切の保証の責任を負わないものとします。 このマニュアルに記載されている製品の使用は、すべてユーザ側の責任になります。

対象製品のソフトウェア ライセンスおよび限定保証は、製品に添付された『Information Packet』に記載されています。 添付されていない場合には、代理店にご連絡ください。

Cisco が採用している TCP ヘッダー圧縮機能は、UNIX オペレーティング システムの UCB（University of California, Berkeley）のパブリック ドメイン バージョンとして、UCB が開発したプログラムを採用したものです。 All rights reserved. Copyright © 1981, Regents of the University of California.

ここに記載されている他のいかなる保証にもよらず、各社のすべてのマニュアルおよびソフトウェアは、障害も含めて「現状のまま」として提供されます。 CISCO およびこれら各社は、商品性の保証、特定目的への準拠の保証、および権利を侵害しないことに関する保証、あるいは取引過程、使用、取引慣行によって発生する保証をはじめとする、明示されたまたは黙示された一切の保証の責任を負わないものとします。

いかなる場合においても、CISCO およびその供給者は、このマニュアルの使用または使用できないことによって発生する利益の損失やデータの損傷をはじめとする、間接的、派生的、偶発的、あるいは特殊な損害について、あらゆる可能性が CISCO またはその供給者に知らされていても、それらに対する責任を一切負わないものとします。

★定型★このマニュアルで使用している IP アドレスおよび電話番号は、実際のアドレスおよび電話番号を示すものではありません。 ★定型★マニュアル内の例、コマンド出力、ネットワーク トポロジ図、およびその他の図は、説明のみを目的として使用されています。 説明の中に実際のアドレスおよび電話番号が使用されていたとしても、それは意図的なものではなく、偶然の一致によるものです。

すべての印刷されたコピーおよび複製されたソフトコピーは管理外のコピーと見なされ、元のオンラインバージョンを参照して最新版を確認する必要があります。

シスコは世界各国 200 箇所にOffィスを開設しています。 住所、電話番号、ファックス番号は、Cisco の Web サイト www.cisco.com/go/offices に掲載されています。

Cisco および Cisco ロゴは、シスコまたはその関連会社の米国およびその他の国における商標または登録商標です。 Cisco 商標の一覧を表示するには、次の URL にアクセスしてください: www.cisco.com/go/trademarks。 記載されているサードパーティの商標は、それぞれの所有者に帰属します。 「パートナー」という用語の使用は Cisco と他社との間のパートナーシップ関係を意味するものではありません。 (1110R)

© 2024 Cisco Systems, Inc. All rights reserved.

# 法的情報

このマニュアルに記載されている仕様および製品に関する情報は、予告なしに変更されることがあります。 このマニュアルに記載されている式、情報、および推奨事項は、すべて正確であると考えていますが、明示的であれ黙示的であれ、一切の保証の責任を負わないものとします。 このマニュアルに記載されている製品の使用は、すべてユーザ側の責任になります。

対象製品のソフトウェア ライセンスおよび限定保証は、製品に添付された『Information Packet』に記載されています。 添付されていない場合には、代理店にご連絡ください。

Cisco が採用している TCP ヘッダー圧縮機能は、UNIX オペレーティング システムの UCB（University of California, Berkeley）のパブリック ドメイン バージョンとして、UCB が開発したプログラムを採用したものです。 All rights reserved. Copyright © 1981, Regents of the University of California.

ここに記載されている他のいかなる保証にもよらず、各社のすべてのマニュアルおよびソフトウェアは、障害も含めて「現状のまま」として提供されます。 CISCO およびこれら各社は、商品性の保証、特定目的への準拠の保証、および権利を侵害しないことに関する保証、あるいは取引過程、使用、取引慣行によって発生する保証をはじめとする、明示されたまたは黙示された一切の保証の責任を負わないものとします。

いかなる場合においても、CISCO およびその供給者は、このマニュアルの使用または使用できないことによって発生する利益の損失やデータの損傷をはじめとする、間接的、派生的、偶発的、あるいは特殊な損害について、あらゆる可能性が CISCO またはその供給者に知らされていても、それらに対する責任を一切負わないものとします。

★定型★このマニュアルで使用している IP アドレスおよび電話番号は、実際のアドレスおよび電話番号を示すものではありません。 ★定型★マニュアル内の例、コマンド出力、ネットワーク トポロジ図、およびその他の図は、説明のみを目的として使用されています。 説明の中に実際のアドレスおよび電話番号が使用されていたとしても、それは意図的なものではなく、偶然の一致によるものです。

すべての印刷コピーおよび複製されたソフトコピーは非管理コピーとみなされ、最新バージョンについてはオリジナルのオンライン バージョンを参照する必要があります。

シスコは世界各国 200 箇所にオフィスを開設しています。 住所、電話番号、ファックス番号は、Cisco の Web サイト Cisco.com に掲載されています。

# 変更メモ

このドキュメントでは、このリリースのレポート ガイドに加えられた更新について概説します。 さまざまなセクションにわたる変更の詳細なログが含まれます。

| 項 | 変更の説明 | 変更の理由 | 日付 | バージョン |
|---|---|---|---|---|
| レポート > スケジュールレポート | 大規模なデータセットのパフォーマンスとタイムアウトの問題に対処するために、レポートのエクスポートとスケジュールは即時の操作ではなくタスクとして処理されるようになりました。<br>• エクスポート要求は非同期的に処理され、一意の ExportID が割り当てられます。 サポートされる最大レコード数は 500,000 件です。 これは設定可能です。<br>• ファイルは Amazon S3 に生成され保存されるため、ユーザはエクスポート履歴ページからステータスを監視し、ファイルをダウンロードできます。<br>• エクスポート操作の詳細を保存するために、新しいデータベース テーブル AE_ ReportExportList が導入されました。<br>• スケジュールされたレポートにも同様の機能強化が加えられ、パスワードで保護されたファイルが電子メールで配信されるようになりました。 ユーザはレポートをスケジュールする際にパスワードを設定する必要があります。このパスワードは、電子メールで送信されたレポートにアクセス | エクスポートとスケジュール<br>改善を報告する | 07/02/2025 | 4.2.1.2501 |

| | | | | |
|---|---|---|---|---|
| | するために必要になります。<br><br>- エクスポート リンクは、バックエンドの構成に基づいて期限切れになります。 カスタム機能テーブルに ReportFilesRetentionDays という新しい構成が追加され、デフォルト値は 30 日になります。 | | | |

| | | | | |
|---|---|---|---|---|
| レポート > スケジュールレポート | Amazon S3 バケットからのファイルの削除<br>• エクスポート ファイルは、AWS 設定を使用して S3 から削除されます。<br>• エクスポート ファイルは、カスタム機能テーブルで設定された保持期間 (ReportFilesRetentionDays、デフォルト: 30 日) 後に削除されます。 | Amazon S3 バケットからファイルを消去するレポート | 07/02/2025 | 4.2.1.2501 |
| レポート | レポートのその他の変更:<br>• 詳細レポート: 最大フィルター日数が 180 日 (6 か月) に設定されました。<br>• 概要レポート: 最大フィルタ日数は 1865 日 (5 年) に設定されています。<br>• その他のレポートでは、90 日間 (3 か月) のフィルター制限が保持されます。 | レポートフィルターの変更 | 07/02/2025 | 4.2.1.2501 |
| レポート > 概要レポート | 概要レポートのオプションとして、SMS と電子メール チャネルを追加しました。<br>**注意**: SMS および電子メール チャネルは現在 WxCC では使用されていません。 | 概要レポートの機能強化 | 07/02/2025 | 4.2.1.2501 |
| レポート > パフォーマンス指標 | キャンペーン概要レポートでは、追加された列でより包括的な情報が提供されるようになりました。 | パフォーマンスメトリックの強化 | 07/02/2025 | 4.2.1.2501 |

| | | | | |
|---|---|---|---|---|
| レポート > 履歴レポート | 履歴レポート セクションに SMS および電子メール チャネルのサポートが追加され、マルチチャネル レポートの機能が拡充されました。<br>- **詳細**: タイミング、エージェント ID、結果、ダイヤラー参照 ID、その他の関連詳細など、個々の通話試行に関する詳細な情報を提供します。<br>- **エージェントの生産性**: エージェントのアウトバウンド生産性を強調表示し、プレビュー期間、通話時間、アフターコールワーク (ACW) 期間、さまざまな通話数などの指標を表示します。 | 履歴レポートの機能強化 | 07/02/2025 | 4.2.1.2501 |

| | | | | |
|---|---|---|---|---|
| | - **エージェント状態**: レポート期間全体にわたってエージェント状態の変化を追跡して表示します。<br>- **コールバック**: コールバックの連絡先の詳細をプライマリ/セカンダリ形式で表示し、試行結果の理解と分析を容易にします。<br><br>**注意**: エージェントの生産性、エージェントの状態、およびコールバックは現在 WxCC では利用できません。<br><br>**注意:** 電子メール、SMS、およびコールバックは現在 WxCC ではサポートされていません。 | | | |

# 目次


変更メモ 2
レポート 9
リアルタイム 10
自動更新 12
異なるタブに複数のレポートを追加する 13
レポートのフィルター基準 13
レポートウィジェット機能 15
レポートの種類 16
リアルタイムレポートタイプ 17
履歴レポート 23
レポートのフィルター基準 23
通話結果 26
キャンペーン概要 31
DNC がブロックされました 33
連絡の試み 37
放棄された割合 41
エージェントの配置（キャンペーンごと） 43
連絡試行バケット 45
エージェントの試み 47
エージェントの結果 49
コールバック 51
グローバルリストのステータス 53
右派パーティーコネクト（RPC） 53
コールバックトレース 56
メールの結果 58
パスダイヤル 60
スケジュールレポート 63
スケジュールレポートの追加 63
スケジュールを編集する 63
スケジュールを削除する 65
フィールド 65
データ抽出 66
保存先 68
データ抽出の編集 71
データ抽出の削除 71
フィールド 71

取引フィールドの詳細 75
マスターフィールドの詳細 211
パフォーマンスメトリック 325
キャンペーン概要 327
レポートフィルター基準 331
タイムゾーン 331
グローバルリスト 331
キャンペーングループ 331
キャンペーン 333
リスト 333
CSS グループ 333
CSS グループ条件 333

# レポート

レポートには、コンタクト センターの発信通話に関する概要と詳細情報の両方が提供されます。キャンペーン、グループ、エージェントのパフォーマンスをカバーします。 これらのレポートでは、キャンペーンの詳細な個別の試行データを提供したり、RPC、接続率などの要約された傾向を提供したりできます。

ユーザには、レポートをテンプレートとして設計し、保存するオプションがあります。 フィルター基準により、特定の連絡先、通話、または結果にフィルターを絞り込むことで、詳細なビューが可能になります。 レポートは、コンタクト センター内のアクティビティの包括的な 360 度概要を提供します。

さらに、事前に設定された間隔でレポートをスケジュールしたり、固定データやトランザクションデータに対してデータ抽出を設定したりすることもできます。

Campaign Manager では、次の種類のレポートが提供されます。

- **リアルタイム レポート**: リアルタイム レポートでは、現在実行中のキャンペーンに関する、具体的には当日のデータがグラフ形式で表示されます。 これらのレポートには間隔データが入力され、デフォルトでは 5 分ごとに更新されます。 包括的なフィルター基準により、ユーザはデータを上から下まで表示でき、詳細な分析情報をリアルタイムで得ることができます。
- **履歴レポート**: これらのレポートは、前日からの履歴データを活用して、コンタクト センターのパフォーマンスに関する洞察を提供します。 これらは、連絡先、通話、結果、エージェントなど、コンタクト センターのあらゆる側面を網羅するほぼ網羅的なセットを形成します。 レポートは、ユーザが選択したフィルター基準に基づいて作成されます。
- **パフォーマンス ダッシュボード**: リアルタイム コンソールでは、進行中のキャンペーンのデータが 15 秒ごとに更新され、継続的に提供されます。 これには、試行率、RPC % (Right Party Connect 率)、包括的なキャンペーン コンタクト統計などの主要な指標が含まれます。
- **スクリプト デザイナー レポート**: スクリプト デザイナーを使用して構成された 2 ウェイ SMS およびコール ガイド アプリケーション モジュールに関係するすべてのレポートについて詳しく説明します。 詳細については、「 スクリプト デザイナー」を参照してください。
- **データ抽出**: レポート データベースから生のトランザクション データと固定データのエクスポートを構成します。 ユーザは、指定した時間や選択したキャンペーン グループまたはキャンペーンの通話試行などの標準ソースからデータを抽出できます。

**注意**: ファイル名の一部として、/、:、*、?、<、<、| などの特殊文字を使用しないでください。
Webex Contact Center アプリケーションでは以下はサポートされていません。
- メール、SMS、IVR キャンペーン
- 通知
- AEM (エージェントとエグゼクティブのマッピング) 呼び出し。

# リアルタイム

リアルタイム レポートでは、現在実行中のキャンペーン、具体的には当日のキャンペーンに関するグラフ データが表示されます。 これらのレポートには間隔データが入力され、デフォルトでは 5 分ごとに更新されます。 包括的なフィルター基準により、ユーザはデータを上から下まで表示でき、詳細な分析情報をリアルタイムで得ることができます。 リアルタイムレポートを設定できます。

**レポート > リアルタイム**に移動します。 デフォルトのレポートには次のデータが表示されます。

| フィールド | 説明 |
|---|---|
| **キャンペーン合計** | システムで利用可能なキャンペーンの数を表示します。 これには、アクティブ、非アクティブ、終了したキャンペーンの数も表示されます。 |
| アクティブ | 現在実行中のキャンペーンの数。 キャンペーンのステータスは *実行中*です。 |
| 非アクティブ | 現在実行されていないキャンペーンの数。 キャンペーンのステータスは *時間停止中* または *停止中*です。 |
| 終了（Terminated） | 終了日時を経過したキャンペーンの数。 キャンペーンのステータスは *時間停止*ですが、キャンペーンの日時は現在の時刻より小さくなければなりません。 |
| **合計コンタクト数（Total Contacts）** | すべてのキャンペーンを通じてアプリケーションにアップロードされた連絡先の合計数。 また、オープン、フレッシュ（まだダイヤルされていない）、スケジュール済み、クローズ済み、およびその他の連絡先の内訳も表示されます。 |
| Open | 指定されたフィルター基準に対して現時点で開いている連絡先の数。 連絡先のステータスは *オープンです*<br>そして *配達済み*。 |
| 新鮮な | 指定されたフィルター基準で 1 回も試行されなかった連絡の数。 連絡先ステータスは<br>*オープン* および *配送済み*。 |
| 再スケジュール | 現時点では、多数の連絡先が再スケジュールされ、オープンになっています。 連絡先のステータスは *オープンです*<br>そして *配達済み*。 |
| 終了（Closed） | 指定されたフィルター基準に該当するクローズされた連絡先の数。 連絡先のステータスは *クローズ*です。 |
| その他 | 配信が停止された連絡先の数。 コンタクトステータスは *洗浄済みまたはフラッシュ済み*です。 |
| **連絡先をアップロードしました** | すべてのキャンペーンでアップロードされた連絡先の合計数と、成功したアップロード、失敗したアップロード、重複の内訳。 |
| 成功 | 連絡先テーブルに正常にアップロードされた連絡先の数。 |

| | |
|---|---|
| （Success） | |
| 不具合 | さまざまな障害により連絡先テーブルにアップロードできなかった連絡先の数。モード障害は含まれません。 |
| 重複 | 連絡先テーブルに重複レコードがあるためにアップロードに失敗した連絡先の数。ファイル内に重複が発生しているかどうか、または連絡先テーブル内に重複が存在するかどうかは考慮されません。 |
| パフォーマンス | 今日ダイヤルされた連絡先の合計数と接続率。 ユニーク数 |

| | |
|---|---|
| | 通話アクティビティ テーブル内の連絡先。<br>接続率 - ダイヤルされた連絡先の合計数のうち接続された連絡先の合計数の割合。 ダイヤルされた連絡先の合計数は、今日ダイヤルされた固有の連絡先の数です。 |
| ビジネスパフォーマンス | 結果が成功とマークされたコンタクトの合計数と、成功の結果を持つコンタクトの比率。 通話アクティビティ テーブル内の一意の連絡先の数。<br>成功率 - 接続されたコンタクト総数のうち、ビジネスに成功したコンタクト総数の割合。 |
| 試行回数 | 1 つの連絡先に対する複数の成功した接続を含む、複数の連絡先にわたってエージェントとの接続に成功した試行回数を表示します。 これには、ビジネス上および電話上の理由により再スケジュールされた通話の接続が含まれます。<br>試行率 - ダイヤルした通話数とダイヤルした連絡先の数の比率。 試行比率インジケーターは、各連絡先の平均試行回数を示します。 |
| 接続中 | すべてのキャンペーンを通じてエージェントと顧客の間で接続された通話の合計数と、これらの数に対する接続率を表示します。<br>試行接続率 - ダイヤルされた通話数のうち接続された通話数の割合。<br>接続された通話の数は、ライブ コール結果を持つ接続された連絡先の数であり、ライブ コール結果は、ライブ コール結果として有効になっている結果です。 |
| 放棄された通話 | 連絡先全体で、結果として放棄された試行回数を表示します。<br>ACR が無効になっている場合、放棄率は放棄コールとライブコールの合計に対する放棄コールの割合です。 |
| AHT（平均処理時間） | 通話の平均処理時間（HH:MM:SS 形式）。 成功した通話時間と接続された通話数の比率です。 |

リアルタイム レポートでは、次の操作を実行できます。

## 自動更新

リアルタイムデータは設定された間隔で自動的に更新されます。 デフォルトの間隔は 5 分に設定されています。 この間隔を変更するには、Cisco サポートにお問い合わせください。

自動更新は、設定された Tab に対してのみ機能し、すべてのタブに対して機能するわけではありません。 さらに、管理者が他の Tab またはアプリケーション内の他のページに移動して元の Tab (自動更新間隔が構成されている) に戻ると、レポート Tab が更新され、タイマーが再開されます。

## 異なるタブに複数のレポートを追加する

複数のレポートを追加し、異なるタブで同時に複数開くことができます。 これにより、ユーザはコンタクト センター全体のパフォーマンスをリアルタイムで監視できるだけでなく、選択したフィルタリング基準で定義されたコンタクト センターの特定の領域も簡単に監視できるようになります。 リアルタイム レポートを初めて開くと、デフォルトの Tab が表示されます。 アプリケーションに読み込むことができるタブは最大 10 個 (デフォルトと追加の 9 個) のみです。 デフォルトの Tab には、ユーザがフィルター条件を変更しない限り、コンタクト センター全体のリアルタイム データが含まれます。

1. クリック **追加** 複数のレポートにアイコンを追加します。 レポート Tab が、デフォルトの Tab の横に開きます。
2. 必要なフィルター条件を選択します。
3. クリック **ウィジェットを追加** レポートに追加するウィジェットを選択します。

## レポートのフィルター基準

レポート フィルターを使用すると、ユーザはコンタクト センターのマクロ ビューを確認し、連絡先、通話、エージェントのミクロ レベルまでドリルダウンできます。

### レポートのタイムゾーンフィルター

特定のタイムゾーンのリアルタイム レポートを生成できます。 他のフィルタリング基準を選択する前に、[TimeZone] ドロップダウンからタイムゾーンを選択します。 選択したタイムゾーンの現在の日付のレポートが表示されます。

これはオプションの構成です。 この構成を有効にし、タイムゾーン別のレポートを取得するには、Cisco サポートにお問い合わせください。

### その他のフィルター基準を報告する

フィルター条件を使用すると、次のことが可能になります。

| フィルタ | 説明 |
|---|---|
| グローバル リスト | すべてのグローバル リストが選択用に表示されます。 単一選択と複数選択の両方が許可されます。 すべてのグローバル リストを選択するには、[すべて選択] チェックボックスをオンにします。 |
| キャンペーングループ | 選択したグローバル リストの連絡先を含むすべてのキャンペーン グループにデータが入力されます。 単一選択と複数選択の両方が許可されます。 すべてのキャンペーン グループを選択するには、[すべて選択] チェックボックスをオンにします。 |

| | |
|---|---|
| キャンペーン | 選択したキャンペーン グループの連絡先を含むすべてのキャンペーンが入力されます。 単一選択と複数選択の両方が許可されます。 すべてのキャンペーンを選択するには、[すべて選択] チェックボックスをオンにします。<br><br>単一のキャンペーンを選択すると、次のレベルへのフィルタリングが可能になります。 複数のキャンペーンを選択した場合、次のレベルへのフィルタリングは無効になります。 このレベルのレポートを表示します。 |

| | |
|---|---|
| リスト | このキャンペーン用にアップロードされたすべての連絡先リストが入力されます。 単一選択と複数選択の両方が許可されます。 すべてのリストを選択するには、[すべて選択] チェックボックスをオンにします。<br>• 特定のリストを選択しない場合は、連鎖リスト (リスト ID -1) を含むすべてのリストのデータがレポートに入力されます。<br>• 特定のリストを選択した場合は、選択したリストのデータのみが入力されます。 このような場合、レポートにリスト ID -1 (チェーン リスト) に関連するデータを含めるには、[チェーン リストを含める] チェック ボックスをオンにしてください。<br>リストには、日付パネルのデフォルトの日付、つまり現在の日付が入力されます。 さらに多くのリストを選択するには、[日付] パネルから日付を選択し、[OK] をクリックします。 入力されたリストの中から、レポートに必要なリストを選択します。 |
| CSS グループ | 選択したリストに適用可能なすべての連絡先選択戦略 (CSS) を選択できます。 単一選択と複数選択の両方が許可されます。 すべての CSS グループを選択するには、[すべて選択] チェックボックスをオンにします。 |
| CSS グループ条件 | 上記の CSS グループの条件が入力され、選択可能になります。 単一選択と複数選択の両方が許可されます。 すべての CSS グループ条件を選択するには、[すべて選択] チェックボックスをオンにします。 |

該当するフィルターを選択し、 **[レコードを表示]** をクリックすると、その選択レベルまでのレコードがレポートに表示されます。

## レポートウィジェット機能

レポート ウィジェットには、次の共通オプションがあります。

1. **[ピン解除]** をクリックすると、レポート ウィジェットが固定された場所から画面の中央に移動され、ウィジェットのサイズを最大化できるようになります。 これはトグルボタンであり、もう一度クリックするとウィジェットが正しい位置に戻ります。 また、削除されたウィジェットをページに復元します。
2. レポートを全画面表示するには、 **最大化** をクリックします。
3. レポート ウィジェットを全画面表示からアンカーされた場所に戻すには、 **[最小化]** をクリックします。
4. **グラフのコンテキスト メニュー** をクリックして、レポートを PNG または JPEG または SVG ベクターまたは PDF 形式でダウンロードします。

個々のレポートのビューは異なります。それらはレポートと一緒に説明されます。 すべてのレポートでは、データのグラフィック表現の上にマウスを移動すると、グラフィック データがテキストで表示されます。

# レポートの種類

Campaign Manager は、さまざまな種類のレポートをリアルタイムで提供します。 詳細については、次のページの 「リアルタイムレポート タイプ」を参照してください。

# リアルタイムレポートタイプ

以下はリアルタイムレポートです:

## 電話による成果

テレフォニー結果ウィジェットには、各テレフォニー結果に対してダイヤルされた連絡先の数が表示されます。 グラフの上にマウスを移動すると、特定のテレフォニー結果の通話数が表示されます。 コンテキスト メニューを使用して、いずれかのオプションでチャートをダウンロードします。 最小化されたビューでは、最小パーセンテージの結果が非表示になる場合があります。 すべての結果を表示するには、全画面に拡大します。

## ビジネス成果

ビジネス成果ウィジェットには、各ビジネス成果に対してダイヤルされた連絡先の数が表示されます。 グラフの上にマウスを移動すると、特定のビジネス成果の呼び出し回数が表示されます。 コンテキスト メニューを使用して、いずれかのオプションでチャートをダウンロードします。

## キャンペーンごとの連絡先とエージェント対応可能

キャンペーン別の連絡先と利用可能なエージェントには、アプリケーションのすべてのキャンペーンの連絡先とエージェントの数が表示されます。 左軸は連絡先の数、右軸はエージェントの数、横軸はキャンペーンを示します。 グラフの上にマウスを移動すると、特定のキャンペーンの連絡先とエージェントの数が表示されます。 コンテキスト メニューを使用して、いずれかのオプションでチャートをダウンロードします。

## 連絡先ステータス

連絡先ステータス ウィジェットには、選択したフィルター条件の連絡先のステータスがリアルタイムで表示されます。 このウィジェットには、各状態の連絡先数がリアルタイムで表示されます。 キャンペーンは X 軸にリストされ、連絡先の数は Y 軸に表示されます。 特定の連絡先ステータスの数を確認するには、グラフの上にマウスを移動します。 ウィジェットの右下にある任意のステータスをクリックすると、その状態に関連付けられている連絡先がウィジェットから削除されます。 切り替えてデータを復元します。 コンテキスト メニューを使用して、いずれかのオプションでチャートをダウンロードします。

## キャンペーンごとのコンタクト成功率

コンタクト成功率は、キャンペーンにダイヤルされたコンタクトに対する成功結果の比率を示します。 ウィジェットには、X 軸に連絡先の数、Y 軸に成功率が表示されます。 特定のキャンペーンの成功率を確認するには、グラフの上にマウスを移動します。 ウィジェットの右下にある任意のキャンペーンをクリックすると、その州に関連付けられている連絡先がウィジェットから削除されます。 切り替えてデータを復元します。 コンテキスト メニューを使用して、いずれかのオプションでチャートをダウンロードします。

## キャンペーン目標達成

キャンペーン目標には、各キャンペーンでエージェントが達成した目標が表示されます。 チャートの上にマウスを移動すると、キャンペーンで達成された目標が表示されます。 コンテキスト メニューを使用して、いずれかのオプションでチャートをダウンロードします。

## コンタクト戦略

コンタクト戦略では、フィルター基準に従って、使用されたコンタクト戦略のビジネスとテレフォニーの両方の結果の詳細が表示されます。

このウィジェットには、テレフォニーとビジネス成果の両方の連絡先の数が表示されます。 グラフに表示されたデータは、さらに詳細にドリルダウンできます。

例: 各テレフォニー結果の連絡先の数を確認するには、 **[テレフォニー結果]** をクリックし

ます。 元のレポートに戻るには、 **[結果に戻る]** をクリックします。

結果チャートから任意の結果をクリックすると、その結果をもたらした各コンタクト戦略のコンタクト数を取得できます。

前の画面に戻るには、 **「テレフォニー結果に戻る」** をクリックします。 **コンタクト戦略** チャートから、任意のコンタクト戦略をクリックして、この結果に貢献するコンタクト戦略内のモードにドリルダウンします。

## 連絡先選択戦略

連絡先選択戦略では、フィルター基準に従って、使用された連絡先選択戦略のビジネスとテレフォニーの両方の結果の詳細が表示されます。

このウィジェットには、テレフォニーとビジネス成果の両方の連絡先の数が表示されます。 グラフに表示されたデータをさらにドリルダウンして、より詳細な情報を表示できます。

結果チャートから任意の結果をクリックすると、その結果をもたらした連絡先選択戦略ごとの連絡先の数を取得できます。

前の画面に戻るには、 **[テレフォニー結果に戻る]** をクリックします。

**連絡先選択戦略** チャートから、任意の **連絡先選択戦略** をクリックして、この結果に貢献する **連絡先選択戦略** にドリルダウンします。

## 特定のモードでダイヤルされた通話

特定のモードでダイヤルされた通話には、選択した期間に各モードでダイヤルされた通話の数が表示されます。 ウィジェットはスパイダーグラフでデータを表示します。 グラフの上にマウスを移動す

ると、特定のモードでダイヤルされた通話の数が表示されます。 コンテキスト メニューを使用して、いずれかのオプションでチャートをダウンロードします。

## キャンペーンごとの配信済みコンタクト

キャンペーンごとの配信済み連絡先には、各キャンペーンに配信された連絡先の数が表示されます。 このウィジェットには、キャンペーンごとにダイヤラーに配信された連絡先の数が表示されます。 特定のキャンペーンに配信されたコンタクトの数を確認するには、グラフの上にマウスを移動します。 X 軸には連絡先の数が表示され、Y 軸にはキャンペーンが表示されます。 コンテキストメニューを使用して、いずれかのオプションでチャートをダウンロードします。 アプリケーション内で表示されるデータがエクスポートされます。 アプリケーション内でデータがマスクされている場合は、エクスポートされたシートでもマスクされます。

## エージェントの状態

このウィジェットには、エージェントのアクティビティ状態の詳細が表示されます。

## リアルタイム統計

このウィジェットには、アプリケーションのライブの高レベルの 360 度ビューを提供するスナップショットが含まれています。

アプリケーション全体のアクティブなキャンペーンの数を表示します。 また、合計、非アクティブ、経過のカテゴリのキャンペーンの数も表示されます。

すべてのキャンペーンにわたってアプリケーションにアップロードされた連絡先の合計数。 これには、オープン、フレッシュ (まだダイヤルされていない)、スケジュール、クローズ、およびその他の連絡先の内訳も表示されます。

アップロードされた連絡先の合計数（成功、失敗、重複の連絡先の数を含む）。

エージェントの合計数と、InCall、アイドル、準備完了、ACW、プレビューなどのさまざまな状態にあるエージェントの数。

接続率、成功率、試行率、接続試行率、放棄率、平均処理時間が表示されます。

## 配達された連絡先

このウィジェットには、ダイヤラーに配信された連絡先の数が表示されます。

## フィールド

レポートには次のフィールドが表示されます。

| フィールド | 説明 |
|---|---|

| | |
|---|---|
| キャンペーン | 連絡先がアップロードされるキャンペーン。 |
| 電話番号 | 配信される連絡先の電話番号。 |
| コンタクト ID（Contact ID） | 配信された連絡先の連絡先 ID。 |

| | |
|---|---|
| 作成時間 | 連絡先がアップロードされた時刻。 |
| 最終アクセス | テーブル内のレコードが最後に更新された時刻。 |
| モード名 | 配信された連絡先のモード。 |
| 最大再試行回数 | この連絡先にダイヤルした回数。 |
| 最終結果 | この連絡先に対する最新のダイヤル試行の結果。 |
| Status（ステータス） | 現在の連絡状況。 たとえば、0 - オープン、1 - クローズ、4 - 配信済み。 |
| ユーザー ID | 列には次のいずれかが含まれます。<br>• NCB 連絡先の場合、テキスト NCB が入力されます。<br>• その他のすべての連絡先については列<br>は空白のままです。 この列にはデータが含<br>まれていません。 |
| 最大再試行回数 | この連絡先に許可される最大再試行回数。 |
| 条件 ID | この連絡先が配信される CSS 条件。 |
| アカウント番号 | 連絡先への通話試行を識別するための一意の ID です。 |
| タイムゾーン | 連絡先のタイムゾーン。 |

# 履歴レポート

これらのレポートは、前日からの履歴データを活用して、コンタクト センターのパフォーマンスに関する洞察を提供します。 これらは、連絡先、通話、結果、エージェントなど、コンタクト センターのあらゆる側面を網羅するほぼ包括的なセットを形成します。 レポートは、ユーザが選択したフィルター基準に基づいて作成されます。 これらのレポートは、コンマ区切り値 (CSV) 形式で表示または保存できます。

**レポート > 履歴レポート**に移動します。

## レポートのフィルター基準

レポート フィルターを使用すると、ユーザはコンタクト センターのマクロ ビューを確認し、連絡先、通話、エージェントのミクロ レベルまでドリルダウンできます。

### レポートのタイムゾーンフィルター

特定のタイムゾーンのリアルタイム レポートを生成できます。 他のフィルタリング基準を選択する前に、[TimeZone] ドロップダウンからタイムゾーンを選択します。 選択したタイムゾーンの現在の日付のレポートが表示されます。

この構成を有効にし、タイムゾーン別のレポートを取得するには、Cisco サポートにお問い合わせください。

## その他のフィルター基準を報告する

**注**: 現在、音声チャネルのみが利用可能です。 SMS と Email は今後のリリースで予定されています。 ユーザは、ドキュメント内の SMS または電子メール チャネルへの参照を無視できます。

フィルター条件を使用すると、次のことが可能になります。

| フィルタ | 説明 |
|---|---|
| グローバル リスト | すべてのグローバル リストが選択用に表示されます。 単一選択と複数選択の両方が許可されます。 すべてのグローバル リストを選択するには、[すべて選択] チェックボックスをオンにします。 |
| キャンペーン グループ | 選択したグローバル リストの連絡先を含むすべてのキャンペーン グループにデータが入力されます。 単一選択と複数選択の両方が許可されます。 すべてのキャンペーン グループを選択するには、[すべて選択] チェックボックスをオンにします。 |
| キャンペーン | 選択したキャンペーン グループの連絡先を含むすべてのキャンペーンが入力されます。 単一選択と複数選択の両方が許可されます。 すべてのキャンペーンを選択するには、[すべて選択] チェックボックスをオンにします。<br><br>単一のキャンペーンを選択すると、次のレベルへのフィルタリングが可能になります。 複数のキャンペーンを選択した場合、次のレベルへのフィルタリングは無効になります。 このレベルのレポートを表示します。 |
| リスト | このキャンペーン用にアップロードされたすべての連絡先リストが入力されます。 単一選択と複数選択の両方が許可されます。 すべてのリストを選択するには、[すべて選択] チェックボックスをオンにします。<br><br>• 特定のリストを選択しない場合は、連鎖リスト (リスト ID -1) を含むすべてのリストのデータがレポートに入力されます。<br>• 特定のリストを選択した場合は、選択したリストのデータのみが入力されます。 このような場合、レポートにリスト ID -1 (チェーン リスト) に関連するデータを含めるには、[チェーン リストを含める] チェック ボックスをオンにしてください。<br><br>リストには、日付パネルのデフォルトの日付、つまり現在の日付が入力されます。 さらに多くのリストを選択するには、[日付] パネルから日付を選択し、[OK] をクリックします。 入力されたリストの中から、レポートに必要なリストを選択します。 |
| CSS グループ | 選択したリストに適用可能なすべての連絡先選択戦略 (CSS) を選択できます。 単一選択と複数選択の両方が許可されます。 すべての CSS グループを選択するには、[すべて選択] チェックボックスをオンにします。 |
| CSS グループ条件 | 上記の CSS グループの条件が入力され、選択可能になります。 単一選択と複数選択の両方が許可されます。 すべての CSS グループ条件を選択するには、[すべて選択] チェックボックスをオンにします。 |

該当するフィルターを選択し、 **[レコードを表示]** をクリックすると、その選択レベルまでのレコードがレポートに表示されます。

# 通話結果

通話結果レポートには、ダイヤルした連絡先から選択された各テレフォニー結果の連絡先の数が表示されます。

1. **期間** を **今日**、 **昨日**、 **今週**、 **今月** 、 **カスタム**から選択します。 選択肢 **カスタム**の場合は、 **開始日** と **終了日**を選択します。
2. **チャネルタイプ** を **音声**、 **SMS** 、または **メール**から選択します。
3. ドロップダウンから **結果タイプ** と **結果** を選択します。
4. **フィルター基準**を選択します。 詳細については、「 レポート フィルタ条件」を参照してください。
5. レポートにデータを入力するには、 **[レコードを表示]** をクリックします。
    1. レポートの内容を Excel (xlsx) または CSV ファイルにエクスポートするには、 **[エクスポート]** をクリックします。 デフォルトでは、レポートは XLSX としてエクスポートされます。 **PII 保護** 機能内の エクスポート マスク オプションが有効になっていて、ユーザがエクスポートされたシートのデータを表示できる場合は、サポート チームに連絡してデータをマスクしてください。 これにはバックエンドの構成が必要です。

フィールド

通話結果レポートには次のパラメータが含まれます。

| フィールド | 説明 |
|---|---|
| 今日 | 現在の日付のレポートを生成します。 |
| 前日 | 前日の深夜までのレポートを生成します。 |
| 今週 | 月曜日から当日までのレポートを生成します。 |
| 今月 | 暦月の初日から現在の日までのレポートを生成します。 |
| カスタム | 日付範囲のレポートを生成します。 カレンダー コントロールから開始日と終了日を選択します。 |
| チャネル（Channel） | 音声、SMS、電子メールなどの通信の種類。<br><br>**注記**: SMS と Email は現在のリリースでは利用できませんが、将来のリリースで提供される予定です。 |
| 結果タイプ | 結果の種類。 |
| 結果の詳細 | 選択した成果とキャンペーンの各連絡先の連絡先ごとの成果を一覧表示します。 |
| 結果の要約 | 各キャンペーンの各結果の 1 行の概要を一覧表示します。 ピボットチェックボックスを選択します。 ピボット チェックボックスをオンにすると、列と行が転置されます。 ピボットを選択すると、レポートには結果が行に、結果の数が列にリストされ、選択したキャンペーンごとに 1 列が表示されます。<br><br>ピボット オプションは、フィルター基準でキャンペーンを選択した場合にのみ適用され、グローバル リストまたはキャンペーン グ |

| | |
|---|---|
| | ループには適用されません。 |
| 結果 | ドロップダウンに表示される、構成されたすべてのテレフォニー結果の結果。 すべての結果を選択するには、「すべての結果を選択」オプションを使用します。 複数の結果を選択することもできます。 |

| 通話結果 - 詳細 | |
|---|---|
| キャンペーングループ | レポートが表示されるキャンペーン グループ。 |
| キャンペーン ID | レポートがレンダリングされるキャンペーン。 |
| リスト ID | このデータが属するリスト ID。 |
| 連絡先 ID | 結果が設定されている連絡先 ID。 |
| 結果 | この通話の結果。 |
| 親の成果 | 上記の結果がマップされる親結果（存在する場合）。 |
| 通話開始日時 | 通話開始日時。 |
| 通話終了日時 | 通話完了日時。 |
| ビジネスフィールド 1 (1-26) | 構成されたすべてのビジネス フィールドは、列ごとに 1 つのビジネス フィールドとしてリストされます。<br><br>単一のキャンペーンを選択した場合、ビジネスフィールド名は次のように表示されます。<br><BusinessFieldName_BF>; 複数のキャンペーンを選択した場合は、Businessfield1 から Businessfield 26 が表示されます。 |
| モード（Mode） | 通話が行われたモード。 |
| ダイヤル番号 | 通話が行われた番号。 |
| エージェント ID | この通話を処理したエージェントのエージェント ID。 |
| エージェント名 | この通話を処理したエージェントの名前。 |
| エージェントログイン名 | この列にはデータが含まれていません。 |
| 期間 | 通話時間（HH:MM:SS） |
| ターゲット値 | この列にはデータが含まれていません。 |
| エージェントコメント | この列にはデータが含まれていません。 |
| リードスコア | この列にはデータが含まれていません。 |
| コールバック日時 | エージェントによって設定されたコールバックダイヤルアウトの日時。 |
| ダイヤラー参照 ID | これはダイヤラ テーブルの Call GUID フィールドの値です。 |
| コンタクト_ネイチャー | これは、フレッシュ、再スケジュール、通常のコールバック、パーソナルコールバック、AEM-フレッシュ、AEM-再スケジュール、AEM-コールバック、フレッシュモーメント、AEM-フレッシュモーメントなどの連絡先のタイプを説明します。<br><br>**注記**: コールバックと AEM は現在のリリースではサポートされていません。 |
| スケジュール_配達時間 | これは、エージェントが新しい連絡先の通話を設定する時間です。 これは新しい連絡先の再スケジュール時間です。 |
| 次のスケジュール時間 | これは、エージェントが連絡先の再スケジュールの呼び出しを設 |

| | |
|---|---|
| | 定する時間です。 |
| 試行回数 | これは、レポートの日時時点での連絡先に対する試行回数です。 |

| 結果の要約 | |
|---|---|
| キャンペーン ID | レコードに関連付けられた特定のキャンペーンを表す一意の識別子。 |
| グローバルリスト ID | レポートが生成されるグローバル リストを表す一意の識別子。<br>注: この列は、フィルター条件の一部として選択されている場合にのみ使用できます。 |
| 成果 | それぞれの結果を伴う通話の数。各結果は個別の列として表されます。 |

## キャンペーン概要

キャンペーン概要レポートには、選択したフィルター条件のキャンペーンのスナップショットが表示されます。 キャンペーン サマリー パラメータを表示するには、 **レポート リスト > キャンペーン サマリー** に移動します。

次の 3 つのビュー タイプから選択できます。

**連絡先と試行**: 連絡先と試行ビューには、選択した日付範囲とキャンペーンの連絡先と試行に関連する概要が表示されます。

**連絡先**: 連絡先ビューでは日付範囲は必要ありません。 このビュー タイプでは、選択したキャンペーンの連絡先に関連する概要が表示されます。

**試行**: 試行ビューには日付範囲が必要です。 このビュー タイプでは、選択したキャンペーンの試行に関する概要が提供されます。

レポートを表示するには:

1. 「**表示タイプ**」 を 「**連絡先**」 と 「**試行**」から選択します。 **試行**を選択した場合は、 **期間** を **今日**、 **昨日**、 **今週**、 **今月** 、 **カスタム**から選択します。 **カスタム**を選択した場合は、 **開始日** と **終了日**を選択します。
2. **フィルター基準**を選択します。 詳細については、「 レポート フィルタ条件」を参照してください。
3. レポートにデータを入力するには、 **[レコードを表示]** をクリックします。
4. レポートの内容を Excel (xlsx) または CSV ファイルにエクスポートするには、 **[エクスポート]** をクリックします。

**レポートフィールド**

レポートには次のパラメータが表示されます。

**注**: パラメータは、選択したビュー タイプに基づいてリストされます。

| フィールド | 説明 |
| --- | --- |
| キャンペーン ID | レポートが生成されるキャンペーン ID。 |
| リスト ID | このデータが属するリスト ID。 |

| | |
|---|---|
| アップロード済み | このリストを通じてアップロードされた連絡先の数。 |
| 新鮮な | オープン状態にある新しい連絡先の数。 |
| 通知 | オープン状態にあるコールバック連絡先の数。 |
| AEM_オープン | この列にはデータが含まれていません。 |
| 合計オープン | オープン状態の連絡先の合計数。 |
| 成功_終了 | 成功の結果で終了したコンタクトの数。 |
| 失敗_クローズ | 失敗の結果で終了したコンタクトの数。 |
| 合計_クローズ | クローズされた連絡先の合計数。 |
| 連絡先_スクラブ | スクラブされた連絡先の数。 |
| 連絡先_フラッシュ | フラッシュされたコンタクトの数。 |
| 連絡先の有効期限が切れました | 期限切れの連絡先の数。 |
| コンプライアンスによりブロックされた連絡先 | ブロックされた連絡先の数 |
| 連絡先_仮名 | この列にはデータが含まれていません。 |
| **その他** | |
| 完了率 | アップロードされた連絡先のうち、ダイヤルされた通話の割合。 |
| テレフォニー_ダイヤルアウト | このリストからダイヤルアウトされた通話の数。 |
| Telephony_Success | コール数とテレフォニー送信に成功しました。 |
| Telephony_Failure | 失敗したテレフォニー出力でのコール数。 |
| BusinessOutcome_Success | 失敗したテレフォニー出力でのコール数。 |
| BusinessOutcome_Failure | 失敗したビジネス上の結果を伴うコールの数。 |
| Personal_Callback | この列にはデータが含まれていません。 |
| Normal_Callback | この列にはデータが含まれていません。 |

## DNC がブロックされました

DNC ブロック レポートには、DNC 制限によりダイヤルがブロックされている連絡先の連絡先番号

とモードが一覧表示されます。 **[] レポート リスト > DNC がブロックされました** レポートパラメータを表示します。

レポートを表示するには:

1. [ **期間** から **今日**、 **昨日**、 **今週**、 **今月** および **カスタム**。 選択肢 **カスタム**、 **開始日** および **終了日**。
2. [ **エージェント セット DNC のみを表示** チェックボックスを選択して、エージェントによって DNC として設定された連絡先のみを表示します。
3. DNC が有効な特定の番号または任意のビジネス フィールドをフィルタリングするには、同じものを **DNC 番号 / 事業分野** テキストボックスをクリックします。

   **メモ**: [DNC 番号/ビジネス フィールド] テキスト ボックスが使用されている場合、入力がレコードと正確に一致する場合にのみ、対応するレポートが表示されます。
4. 次を選択します: **チャネル** から **音声**、 **SMS**、または **メール**。
5. [ **フィルター条件**。 詳細については、次を参照してください。 レポート フィルタ条件。
6. クリック **レコードを表示** をクリックしてレポートを作成します。
7. クリック **エクスポート** レポートのコンテンツを Excel (xlsx) または CSV ファイルにエクスポートします。

**レポートのフィールド**

レポートには次のパラメータが表示されます。

| フィールド | 説明 |
|---|---|
| キャンペーン ID | レポートが生成されるキャンペーン ID です。 |
| Contact_Number | コンプライアンス制限によりダイヤルがブロックされている連絡先の番号。 |
| モード（Mode） | 通話がダイヤルされるモード。 |
| ブロック場所 | 連絡先が DNC としてマークされ、ダイヤルがブロックされた日時。 |
| DNC_Businessfield | 連絡先に対して有効になっている DNC ブロックを使用するビジネス フィールドの値。 |
| ブロック中のユーザ | フィールド名。電話番号、事業分野など、連絡先が DNC としてマークされる基準となります。 |
| エージェント ID | このコールを処理しているエージェントのエージェント ID。 |
| エージェント名 | この通話を処理するエージェントの名前（名、姓）。 |
| エージェントログイン名 | この列にはデータが含まれていません。 |

| | |
|---|---|
| DNC_開始日時 | 連絡先に対して DNC が有効になった日時。 |
| DNC_終了日時 | 連絡先に対して DNC が有効になっている日時。 |

| | |
|---|---|
| DNC タイプ | 対応するキャンペーンに適用された DNC のタイプ。 カテゴリ固有、キャンペーン固有、またはグローバルのいずれかになります。 |
| DNC キャンペーンカテゴリー | 特定の連絡先が DNC でブロックされる基準となるキャンペーン カテゴリ。 |

## 連絡の試み

連絡先の試行では、選択したフィルター基準の連絡先のすべてのダイヤル試行のリストが表示されます。 ビジネスフィールドの特定の値に関するレポートを生成することも、ビジネスフィールド内のすべての値に関するレポートを生成することもできます。 **グループ化ドロップダウン** リスト。

に移動 **レポートリスト > 連絡の試み** レポートパラメータを表示しま

す。 レポートを表示するには:

1. 選択してください **期間** から **今日**、 **昨日**、 **今週**、 **今月** そして **カスタム**。 選択肢 **カスタム**、選択してください **開始日** そして **終了日**。
2. 選択してください **レポートの種類** アップロードとダイヤルから。
   a. **アップロード済み**: 選択したフィルタ基準に一致する、アップロードされたすべての連絡先の連絡試行の詳細。
   b. **ダイヤル**: 選択したフィルタ条件に該当するすべてのダイヤルされた連絡先の連絡試行の詳細。
3. 選択してください **チャネル** から **声**、 **SMS**、または **メール**。
4. 選択してください **フィルター基準**。 **詳細については、「レポート フィルター条件」を参照してください。** 適用可能なフィルター基準は、キャンペーン、リスト、CSS グループ、CSS グループ条件、およびその他のオプションです。

   **注記**：
   レポートでは 1 つのキャンペーンのみ選択できます。 複数のキャンペーンのレポートは表示されません。 キャンペーンを選択した後はリストが必須になります。 複数のリストが許可されます。
   CSS グループと CSS グループ条件を 1 つのみ選択します。 このレポートは、複数の CSS グループおよび CSS グループ条件に対してはレンダリングされません。
5. 以下の内容を入力してください **その他のオプション**秒:
   a. 選択してください **事業分野** 構成されたすべてのビジネス フィールドを表示するドロップダウン リストから選択します。 選択したビジネス フィールドの特定の値のレポートが必要な場合は、フィールドを選択します。
   b. 入力してください **ビジネス価値**、選択したビジネス分野について。 レポートは、選択

したビジネス フィールドのこの値に一致するレコードを取得します。 上記でビジネス分野を選択した場合、これは必須です。

c. 選択してください **グループ化** レポートデータをグループ化します。 これは必須です。

d. 選択してください **最終結果** 報告が必要となるもの。

6. クリック **記録を表示** レポートに入力します。

7. [ **エクスポート** ] をクリックして、レポートのコンテンツを Excel (xlsx) または CSV ファイルにエクスポートします。 **PII 保護** 機能内の マスクのエクスポート オプションが有効になっている場合、ユーザはエクスポートされたシートでデータを表示することができ、サポートチームに連絡してデータをマスクしてください。 これにはバックエンドの設定が必要です。

### レポートのフィールド

レポートには次のパラメータが表示されます。

| フィールド | 説明 |
|---|---|
| リスト ID | この連絡先が属するリスト ID です。 |
| 連絡先 ID | このエントリの詳細が関連する試行の数です。 例えば、1 は 1 回目の試行に関する詳細を示し、2 は 2 回目の試行に関する詳細を示します。 |
| 開始時刻 | 通話が開始された時刻。 |
| モード（Mode） | 通話のモード。 |
| Contact_Number | ダイヤルされる連絡先の番号。 |
| 条件文字列 | この行エントリに対して抽出されるデータの条件です。 |
| 結果 | 通話の結果です。 |
| エージェント ID | エンタープライズ レベルでのエージェントの Peripheral 番号です。 |
| エージェント名 | 通話を処理するエージェントの名前は、姓と名として表示されます。 |
| Agent_Login_Name | この列にはデータが含まれていません。 |
| 発信開始時刻 | 通話開始日時 |
| GroupBy_Param | レポートデータがグループ化されるパラメータです。 |
| GroupBy_Paramvalue | データがグループ化される基準となる値です。 たとえば、レポートは [名] でグループ化できます。 |
| 連絡先の状況 | この試行のコンタクト状況。 たとえば、開始、終了などです。 |
| アップロード日時 | このコンタクトがアップロードされた日時。 |
| 期間 | 通話の継続時間 (HH:MM:SS)。 |
| Dialed_Time | 連絡先がダイヤルアウトした時刻。 |
| Callback_Datetime | コールバックがリクエストされた日時です。 |

| | |
|---|---|
| 配信日時 | コンタクトがダイヤラーに配信された日時。 |
| 配信タイプ | このコンタクトの配信タイプです。 たとえば、 |

| | |
|---|---|
| | ダイヤラーへの通常の連絡先、PEWC 以外の連絡先など |
| 前_リードの得点 | この列にはデータが含まれていません。 |
| 現在のリード スコア | この列にはデータが含まれていません。 |
| ビジネス分野 1 (1-26) | 設定されたすべてのビジネスフィールドが名前と共に一覧表示されます。1 列に 1 つのビジネスフィールドです。<br><br>メモ: ビジネス フィールド名は、<BusinessFieldName_BF>.<br><br>メモ: 選択したレポートの日付範囲でビジネスフィールドに値がない場合、このフィールドはレポートに含まれません。 例えば、「BusinessField12」が選択した日付範囲で値を持たない場合、「今月」と表示されます。列ヘッダーには、「BusinessField 11」、「BusinessField13 以降」と表示されます。 |

## 放棄された割合

放棄割合は、選択したフィルタ基準に一致する放棄コールの割合を表示します。 **レポートリスト > 離脱率** に移動してレポートのパラメータを表示します。

レポートを表示するには:

1. 期間を選択 **期間** **今日**、 **昨日**を選択します。、 **今週**、 **今月** 、および **カスタム**。 選択肢 **カスタム**で [ **開始日** ] と [ **終了日**] を選択します。
2. **チャネル タイプ** を **音声**、 **SMS** または **メールから選択します**。
3. ドロップダウンから **結果タイプ** と **結果** を選択します。
4. **フィルター基準**を選択します。 詳細については、「 レポート フィルタ条件」を参照してください。
5. レポートにデータを入力するには、 **[レコードを表示]** をクリックします。
6. レポートの内容を Excel (xlsx) または CSV ファイルにエクスポートするには、 **[エクスポート]** をクリックします。 デフォルトでは、レポートは XLSX としてエクスポートされます。

### フィールド

レポートには次のパラメータが表示されます。

| フィールド | 説明 |
| --- | --- |
| キャンペーン ID | レポートが表示されるキャンペーン ID。 |
| 日付 | 報告日。 |

| | |
|---|---|
| 合計通話数 | このアップロード リスト内の連絡先に対してダイヤルされた通話の合計数。 |
| ライブ通話 | ライブコールの数 - 個人が応答し、エージェントに接続されたコールの数。 |
| 留守番電話の通話合計 | 留守番電話に到達した通話の数。 |
| 放棄通話 | 放棄された通話の数。 |
| 放棄率 | 放棄された通話の割合。<br>放棄された通話 / (放棄された通話 + ライブ通話)) * 100。ここで、ライブ通話は、個人が応答し、エージェントに接続された通話です。 |

放棄率の計算式を表示するには、 **[情報]** をクリックします。 ここに表示されるのは次の情報です。

- X = (留守番電話の通話数 / (留守番電話の通話数 + 通話中の通話数)) * 100
- Y = 放棄通話 * X
- Z = 放棄通話 - Y 計算式: (Z / (Z + 通話)) * 100

## エージェントの配置（キャンペーンごと）

エージェント処理 (キャンペーン単位) レポートには、選択したフィルタ基準に基づいてダイヤルされたコールに対してエージェントが設定したすべての結果が表示されます。

レポート パラメータを表示するには、 **レポート リスト > エージェント配置 (キャンペーン単位)** に移動します。 レポートを表示するには:

1. **期間** を **今日**、 **昨日**、 **今週**、 **今月** 、 **カスタム**から選択します。 選択肢 **カスタム**の場合は、 **開始日** と **終了日**を選択します。
2. **フィルタ条件**を選択します。 詳細については、「 レポート フィルタ条件」を参照してください。
3. レポートにデータを入力するには、 **[レコードを表示]** をクリックします。
4. レポートの内容を Excel (xlsx) または CSV ファイルにエクスポートするには、 **[エクスポート]** をクリックします。 デフォルトでは、レポートは XLSX としてエクスポートされます。

### フィールド

レポートには次のパラメータが表示されます。

| フィールド | 説明 |
|---|---|

| | |
|---|---|
| キャンペーン ID | レポートが表示されるキャンペーン ID。 |
| リスト ID | このデータが属するリスト ID。 |
| エージェント名 | この通話を処理するエージェントの名前。 |

| | |
|---|---|
| エージェント ID | この通話を処理したエージェントのエージェント ID。 |
| エージェントログイン名 | この列にはデータが含まれていません。 |
| コール結果 | エージェントによって設定された結果。 |
| 通話結果の数 | エージェントがこの結果を設定した通話の数。 |

## 連絡試行バケット

連絡先試行バケット レポートには、アップロードされた連絡先が閉じられる前に行われたダイヤル試行の回数がリストされます。

**注記**: このレポートには当日のデータは含まれません。 このレポートでは前日の 23:59 までのデータのみが考慮されます。

に移動 **レポートリスト > 連絡試行バケット** レポートパラメータを表示しま

す。 レポートを表示するには:

1. 選択してください **期間** から **今日**、 **昨日**、 **今週**、 **今月** そして **カスタム**。 選択肢 **カスタム**、選択してください **開始日** そして **終了日**。

   **注記**: データベースは毎時 -00、-15、-30、-45 に 15 分間隔で更新されます。 概要レポートの終了日として中間の時刻 (たとえば 3:35 PM) を選択した場合、生成されるレポートには 3:30:01 から 3:44:59 (HH:MM:SS 形式) までのデータは含まれません。

2. 選択してください **チャネルタイプ** から **声**、 **SMS** または **メール**。
3. 選択してください **フィルター基準**。 詳細については、 レポートフィルター基準。 適用可能なフィルター条件は、グローバル リスト、キャンペーン グループ、キャンペーン、リスト、CSS グループ、および CSS グループ条件です。 このレポートでは 1 つのキャンペーンのみを選択してください。このレポートは複数のキャンペーンに対しては表示されません。
4. クリック **記録を表示** レポートに入力します。
5. クリック **輸出** レポートの内容を Excel (xlsx) または CSV ファイルにエクスポートします。 デフォルトでは、レポートは XLSX としてエクスポートされます。

### フィールド

レポートには次のパラメータが表示されます。

| フィールド | 説明 |
|---|---|
| キャンペーン ID | このレポートが生成されるキャンペーン。 |
| アップロード済み | このキャンペーンにアップロードされた連絡先の数。 |

| | |
|---|---|
| 連絡先を開く | このキャンペーンのオープンコンタクトの数。 |
| 終了（Closed） | このキャンペーンのクローズされた連絡先の数。 |
| Attempt_1 から Attempt_9 まで | 最初のコンタクトから到達したコンタクトの数 |

| | |
|---|---|
| | 1 回目の試行から 9 回目の試行までを、それぞれ別の列に示します。 |
| より大きな試み | 10 回以上の試行を経て到達した連絡先の数。 |

## エージェントの試み

エージェント試行レポートには、選択したフィルター基準に基づいて選択したエージェントが処理したすべての通話のさまざまな結果の数が表示されます。 に移動 **レポートリスト > エージェントの試み** レポートパラメータを表示します。

レポートを表示するには:

1. **期間** を **今日**、 **昨日**、 **今週**、 **今週から選択します。月** と **カスタム**。 選択肢 **カスタム**の場合は、 **開始日** と **終了日**を選択します。

   **注**: データベースは、毎時 -00、-15、-30、-45 に 15 分間隔で更新されます。 概要レポートの終了日として中間の時刻 (たとえば 3:35 PM) を選択した場合、生成されるレポートには 3:30:01 から 3:44:59 (HH:MM:SS 形式) までのデータは含まれません。
2. ドロップダウンから **エージェント リスト** を選択します。
3. **チャネル タイプ** を **音声**、 **SMS** または **メール**から選択します。
4. **フィルター基準**を選択します。 詳細については、「 レポート フィルタ条件」を参照してください。
5. レポートにデータを入力するには、 **[レコードを表示]** をクリックします。
6. レポートの内容を Excel (xlsx) または CSV ファイルにエクスポートするには、 **[エクスポート]** をクリックします。 デフォルトでは、レポートは XLSX としてエクスポートされます。

### フィールド

レポートには次のパラメータが表示されます。

| フィールド | 説明 |
|---|---|
| キャンペーン ID | このレポートが生成されるキャンペーン。 |
| エージェント ID | この通話を処理したエージェントのエージェント ID。 |
| エージェント名 | この通話を処理したエージェントの名前。 |
| エージェントログイン名 | この列にはデータが含まれていません。 |
| エージェント接続 | 選択したエージェントに接続された通話の数。 |

| | |
|---|---|
| RPC | Right Party Connect (RPC) 結果を伴う通話の数。 |
| 成功_ビジネス成果 | ビジネス成果が成功した通話の数。 |

| | |
|---|---|
| 失敗_ビジネス結果 | ビジネス成果が失敗した通話の数。 |
| 成功の声 | 音声（電話）通話が成功した通話の数。 |
| 失敗の声結果 | 音声 (テレフォニー) 結果が失敗した通話の数。 |
| 個人コールバック登録済み | この列にはデータが含まれていません。 |
| 定期的なコールバックが登録されました | この列にはデータが含まれていません。 |
| 個人コールバック試行 | この列にはデータが含まれていません。 |
| 定期的なコールバック試行 | この列にはデータが含まれていません。 |
| ダイヤルアウト | エージェントによるダイヤルアウトの合計数。 |

## エージェントの結果

エージェント結果レポートには、選択したフィルタ基準に基づいて選択したエージェントによって設定されたすべての結果のコール数が表示されます。 レポート パラメータを表示するには、 **レポート リスト > エージェント結果** に移動します。

レポートを表示するには:

1. 期間を **[ ] [ ]** **今日**と **昨日**から選択します、 **今週**、 **今月** 、および **カスタム**。 選択肢 **カスタム**の場合、[ **開始日** ] と [ **終了日**] を選択します。

   **メモ**: データベースは 15 分間隔 (-00 -15、-30、-45 毎時) に更新されます。 要約レポートの終了日として中間の時間 (例、3:35 PM) を選択した場合、生成されたレポートには 3:30:01 3:44:59 (HH: MM: SS)。

2. ドロップダウンから **エージェントリスト** を選択します。 複数のエージェントを選択することができます。 [基点] チェックボックスを選択します。

   **メモ**:
   [基点] チェックボックスを選択して、列と行を入れ替えます。 [基点] を選択すると、レポートはエージェントを行に、結果の数を列に、結果ごとに 1 列で表示します。
   [基点] オプションは、フィルター条件で [キャンペーン] を選択した場合にのみ適用でき、グローバルリストまたはキャンペーングループには適用できません。

3. チャンネルタイプとして、 **音声** 、 **SMS**</a41 から、 を選択します。>または **メール** を選択します。

4. **フィルタ基準**を選択します。 詳細については、 レポートフィルタ基準を参照してください。

5. **[レコードの表示]** をクリックしてレポートを表示します。

6. [ **エクスポート** ] をクリックして、レポートのコンテンツを Excel (xlsx) または CSV ファイルにエクスポートします。 デフォルトでは、レポートは XLSX としてエクスポートさ

れます。

フィールド

レポートには次のパラメータが表示されます。

| フィールド | 説明 |
| --- | --- |
| キャンペーン ID | レポートが表示されるキャンペーンです。 |
| エージェント ID | これらのコールを処理したエージェントのエージェント ID。 |
| エージェント名 | このレポートが生成されるエージェントの名前。 |
| Agent_Login_Name | この列にはデータが含まれていません。 |
| 結果 | エージェントが設定した結果。 |
| Outcome_Count | この結果がエージェントによって設定されたコールの数。 |

## コールバック

**メモ**: 現在のリリースでは、コールバック機能はサポートされていません。 この機能は今後のリリースで予定されています。

コールバック レポートは、選択したフィルター基準について、すべてのアクティブなパーソナル コールバック (PCB) および通常のコールバック (NCB) 通話の詳細を示します。 **レポートリスト > Callback** に移動してレポートパラメータを表示します。

レポートを表示するには:

1. 期間を **今日**、 昨日 **から選択します** 、 **今週**、 **今月** 、および **カスタム**。 選択肢 **カスタム**で開始するには、 **開始日** と **終了日** を選択します。

   **メモ**: データベースは 15 分間隔、-00 -15、-30、-45 ごとに更新されます。 概要レポートの終了日として中間の時刻 (たとえば 3:35 PM) を選択した場合、生成されるレポートには 3:30:01 から 3:44:59 (HH:MM:SS 形式) までのデータは含まれません。
2. **チャネルの種類** を **音声**、 **SMS** 、または **メール**から選択します。
3. ドロップダウンから **エージェント リスト** を選択します。 複数のエージェントを選択できます。
4. **フィルター基準**を選択します。 詳細については、「 レポート フィルタ条件」を参照してください。
5. レポートにデータを入力するには、 **[レコードを表示]** をクリックします。
6. レポートの内容を Excel (xlsx) または CSV ファイルにエクスポートするには、 **[エクスポート]** をクリックします。 デフォルトでは、レポートは XLSX としてエクスポートされます。 アプリケーション内で表示されるデータがエクスポートされます。 アプリケーション内でデータがマスクされている場合は、エクスポートされたシートでもマスクされます。

### フィールド

レポートには次のパラメータが表示されます。

| フィールド | 説明 |
| --- | --- |
| キャンペーン ID | レポートがレンダリングされるキャンペーン。 |
| エージェント ID | これらの通話を処理したエージェントのエージェント ID。 |
| エージェント名 | このレポートが生成されたエージェント名 |

| | |
|---|---|
| | erate された。 |
| エージェントログイン名 | この列にはデータが含まれていません。 |
| 連絡先 ID | コールバックが登録されている連絡先 ID。 |
| 連絡先番号 | コールバックを要求する連絡先番号。 |
| コールバック時間 | コールバック呼び出しが開始される時刻。 |
| コールバック終了時間 | コールバック呼び出しが終了する時刻。 |
| Status（ステータス） | 報告時点の連絡先ステータス。 |
| モード（Mode） | コールバックが要求されるモード。 |
| 事業分野（1-25） | 構成されたすべてのビジネス フィールドは、列ごとに 1 つのビジネス フィールドとしてリストされます。 |
| コールバック要求時間 | 顧客がコールバックを要求した日時。 これはコールバックのダイヤルアウト時間ではありません。 |
| 試行回数 | 連絡先への試行回数。 |

## グローバルリストのステータス

グローバル リスト ステータス レポートには、すべてのグローバル アップロード リストのアップロード詳細がグラフで表示されます。 グラフ上の任意のデータを選択して、さらにドリルダウンして関連する詳細情報を表示します。 レポート パラメータを表示するには、 **レポート リスト > グローバル リスト ステータス** に移動します。

すべてのリストは左側のグリッドに表示されます。 グリッドには、グローバル リスト ID、ファイル名、アップロード時間の詳細が含まれます。 チャートを最大化し、任意のパラメータをクリックしてドリルダウンします。 グラフ上の **アップロード済み** データをクリックします。 これらの連絡先がアップロードされたキャンペーンを確認できます。

成功の連絡先の内訳を表示するには、「成功」が表示されているグラフをクリックします。 データはオープンコンタクトとクローズコンタクトに分類されます。

## 右派パーティーコネクト（RPC）

RPC レポートには、RPC (Right Party Connect) 呼び出しの詳細が表示されます。 このレポートの RPC パーセンテージは、キャンペーン マネージャー コンソールの試行カウンタで RPC として設定されたすべての結果の合計に基づいて計算されます。

レポートを表示するには:

1. **期間** を **今日**、 **昨日**、 **今週**、 **今月** 、 **カスタム**から選択します。 選択肢 **カスタム**の場合は、 **開始日** と **終了日を選択します**。

   **注**: データベースは、毎時 -00、-15、-30、-45 に 15 分間隔で更新されます。 概要レポートの終了日として中間の時刻 (たとえば 3:35 PM) を選択した場合、生成されるレポートには 3:30:01 から 3:44:59 (HH:MM:SS 形式) までのデータは含まれません。
2. **チャンネルタイプ** として **音声**を選択します。
3. **フィルター基準**を選択します。 詳細については、「レポート フィルター条件」を参照してください。 選択できるキャンペーンは 1 つだけです。
   a. データが必要なリストの日付範囲を選択します。 複数のリストが許可されます。
4. レポートにデータを入力するには、 **[レコードを表示]** をクリックします。
5. レポートの内容を Excel (xlsx) または CSV ファイルにエクスポートするには、 **[エクスポート]** をクリックします。 デフォルトでは、レポートは XLSX としてエクスポートされます。

フィールド

レポートには次のパラメータが表示されます。

| フィールド | 説明 |
|---|---|
| 結果タイプ | 結果タイプ - テレフォニーまたはビジネス。 |
| 結果名 | 出力名 |
| 結果数 | この結果となった通話の数。 |
| 合計パーセンテージ | この結果となった通話の合計割合。 パーセンテージは、(この結果の数* / すべての結果の通話の数*) * 100 として計算されます。<br>アスタリスク * は結果の種類（テレフォニーまたはビジネス）を示します。 パーセンテージは、類似の結果タイプのみを考慮して計算されます。 たとえば、結果が成功でテレフォニー結果に属する場合、パーセンテージはテレフォニー結果を持つすべての通話の数を考慮して計算されます。 |
| RPC_パーセンテージ | RPC 呼び出しの割合。 パーセンテージは、(この RPC 結果の数 / このレポートで RPC としてマークされたすべての結果 (テレフォニーとビジネスの両方) の通話の数) * 100 として計算されます。 |
| ターゲット値 | 処分時にエージェントが設定した目標値。 |

# コールバック トレース

**注**: コールバック機能は現在のリリースではサポートされていません。 この機能は将来のリリースで予定されています。

コールバック トレース レポートには、選択したフィルター基準に該当するすべての終了したパーソナル コールバック (PCB) および通常コールバック (NCB) コールの詳細が表示されます。 レポート パラメータを表示するには、 **レポート リスト > コールバック トレース** に移動します。

レポートを表示するには:

1. **期間** を **今日**、 **昨日**、 **今週**、 **今月** 、 **カスタム**から選択します。 選択肢 **カスタム**の場合は、 **開始日** と **終了日**を選択します。

   **注**: データベースは、毎時 -00、-15、-30、-45 に 15 分間隔で更新されます。 概要レポートの終了日として中間の時刻 (たとえば、3:35 PM) を選択した場合、生成されるレポートには 3:30:01 から 3:44:59 (HH:MM:SS) までのデータは含まれません。
2. **コールバック タイプ** を **PCB**、 **NCB** 、または **すべて**から選択します。
3. **エージェント リスト** から **エージェント**を選択します。
4. **[ フィルタ条件] を選択します**。 詳細については、 レポートフィルタの基準を参照してください。
5. **[ ] [レコードの表示 ]** をクリックしてレポートを作成します。 録画を開いて詳細を表示します。
6. **[ エクスポート ]** をクリックして、レポートのコンテンツを Excel (xlsx) または CSV ファイルにエクスポートします。 デフォルトでは、レポートは XLSX としてエクスポートされます。 アプリケーションに表示されるデータがエクスポートされます。 アプリケーション内でデータがマスクされている場合、エクスポートされたシートでもマスクされます。

## フィールド

レポートには次のパラメータが表示されます。

| フィールド | 説明 |
|---|---|
| キャンペーン ID | コールバックが属するキャンペーンです。 |
| リスト ID | コールバック連絡先のリスト ID です。 |
| 連絡先 ID | コールバック連絡先の ID です。 |
| Callback_Registered_Type | この列には、NCB、通常のコールバックが表示されます。 |
| Callback_DateTime | エージェントが設定したコールバックのダイヤルアウト日時。 |
| Status（ステータス） | レポート時のコンタクト状況です。 |
| CallBack_RequestedTime | 顧客がコールバックを要求した日時です。 これは、コールバックのダイヤルアウト時間ではありません。 |

| | |
|---|---|
| Attempt_Number | コンタクトに対して行われた試行回数。 |
| ビジネスフィールド(1-25) | 設定済みのすべてのビジネスフィールドは、1 列に 1 つのビジネスフィールドとして一覧表示されます。 |
| **詳細レポートのフィールド** | |

| | |
|---|---|
| 試行 | コンタクトに対する試行回数。 |
| 連絡先番号 | 電話番号 |
| 配信日時 | コンタクトが配信された日時です。 |
| ダイヤル モード | 連絡先のモードです。 |
| ダイヤル日時 | 連絡先がダイヤルした日時。 |
| エージェント名（Agent Name） | コンタクトに対応したエージェントの名前です。 |
| コールバック試行タイプ | この列にはデータが含まれていません。 |
| 結果 | 連絡先に設定されたコールバック結果。 |
| コールバック/再スケジュール_DateTime | コンタクトが再スケジュールされた日時。 |

## メールの結果

**注意** : Webex Contact Center は現在メールキャンペーンに対応していません。 これは今後のリリースで予定されています。

メール結果レポートは、顧客とのメールの対話についてエージェントが設定した結果の詳細を示します。 **レポートリスト > メール結果** に移動してレポートのパラメータを確認してください。

レポートを表示するには:

1. 期間を **[ ] [ ]** ( **今日**、 **昨日**) から選択します。、 **今週**、 **今月** 、および **カスタム**。 選択肢 **カスタム**で、 **開始日** と **終了日**を選択します。
2. **フィルタ基準**を選択します。 詳細については、 レポートフィルタ基準を参照してください。
3. **[レコードの表示]** をクリックしてレポートを作成します。 録画を開いて詳細を表示します。
4. **[ エクスポート ]** をクリックしてレポートのコンテンツを Excel (xlsx) または CSV ファイルにエクスポートします。 デフォルトでは、レポートは XLSX としてエクスポートされます。

### フィールド

レポートには次のパラメータが表示されます。

| フィールド | 説明 |
|---|---|
| キャンペーングループ | この電子メールインタラクションのキャンペーン グループ。 |
| リスト ID | 電子メール連絡先のリスト ID。 |
| 連絡先 ID | 電子メール連絡先の連絡先 ID。 |
| キャンペーン ID | 電子メール連絡先のキャンペーン ID。 |

| | |
|---|---|
| 結果 | エージェントによって設定された結果。 |
| 電子メール | 連絡先のメールアドレス。 |
| メールアクティビティ日時 | エージェントが結果を設定した日時 |

| | |
|---|---|
| | この電子メールのやり取りについて。 |
| 事業分野（1-25） | 構成されたすべてのビジネス フィールドは、列ごとに 1 つのビジネス フィールドとしてリストされます。 |
| ユニーク識別子 | この特定の連絡先を識別するための追加のビジネス パラメーター。 |
| モード（Mode） | やり取りのモードは電子メールです。 |

## パスダイヤル

パス ダイヤリング レポートには、連絡先の合計数のうち、連絡先にダイヤルされた回数が表示されます。 に移動 **レポートリスト > パスダイヤル** レポートパラメータを表示します。

レポートを表示するには:

1. 選択してください **期間** から **今日**、 **昨日**、 **今週**、 **今月** そして **カスタム**。 選択した場合 **カスタム**、選択してください **開始日** そして **終了日**。

   **注記**: データベースは、システムで設定された日の終わりまでに更新されます。 設定された時間が 00:30:00 (HH:MM:SS) の場合、昨日のパス ダイヤリング レポートが生成されます。 設定された終了時刻が 23:30:00 の場合、レポートは昨日のみ生成されます。

2. 選択してください **タイムゾーン** ドロップダウンから選択します。
3. 選択してください **フィルター基準**。 詳細については、 レポートフィルター基準。
4. クリック **記録を表示** レポートに入力します。
5. クリック **輸出** レポートの内容を Excel (xlsx) または CSV ファイルにエクスポートします。 デフォルトでは、レポートは XLSX としてエクスポートされます。

### フィールド

レポートには次のパラメータが表示されます。

| フィールド | 説明 |
|---|---|
| 報告日 | レポートの日付を表示します。 |
| キャンペーン ID | キャンペーン ID を一覧表示します。 |
| 開ける % | アップロードされた連絡先の合計数のうち、まだオープン状態にあり、ダイヤル可能な連絡先の割合。 |
| 閉鎖率 | アップロードされた連絡先の合計数のうち、終了していて再試行されない連絡先の割合。 |
| 新鮮な % | アップロードされた連絡先の合計のうち、新しくダイヤル試行が行われていない連絡先の割合。 |

| | |
|---|---|
| 再スケジュールオープン % | アップロードされた連絡先の合計数のうち、ダイヤルが再スケジュールされる連絡先の割合。 |

| | |
|---|---|
| 1%をパス | 1 回の試行でダイヤルされた連絡先の割合。<br>計算 = (1 回の試行でダイヤルした連絡先 / 本日オープンしている連絡先の合計数) * 100 |
| 合格率 2% | 2 回の試行でダイヤルされた連絡先の割合。<br>計算 = (2 回ダイヤルした連絡先 / 本日オープンしている連絡先の合計数) * 100 |
| 合格率 3% | 3 回の試行でダイヤルされた連絡先の割合。<br>計算 = (3 回でダイヤルした連絡先 / 本日オープンしている連絡先の合計数) * 100 |
| 合格率 4% | 4 回の試行でダイヤルされた連絡先の割合。<br>計算 = (4 回でダイヤルした連絡先 / 本日オープンしている連絡先の合計数) * 100 |
| 合格率 5% | 5 回の試行でダイヤルされた連絡先の割合。<br>計算 = (5 回でダイヤルした連絡先 / 本日オープンしている連絡先の合計数) * 100 |
| 合格率 6% | 6 回の試行でダイヤルされた連絡先の割合。<br>計算 = (6 回でダイヤルした連絡先 / 本日オープンしている連絡先の合計数) * 100 |
| 合格率 7% | 7 回の試行でダイヤルされた連絡先の割合。<br>計算 = (7 回でダイヤルした連絡先 / 本日オープンしている連絡先の合計数) * 100 |
| 合格率 8% | 8 回の試行でダイヤルされた連絡先の割合。<br>計算 = (8 回でダイヤルした連絡先 / 本日オープンしている連絡先の合計数) * 100 |
| 合格率 9% | 9 回の試行でダイヤルされた連絡先の割合。<br>計算 = (ダイヤルした連絡先と 9 回の試行 / 本日のオープン連絡先の合計数) * 100 |
| >合格率 9% | 9 回以上ダイヤルした連絡先の割合。<br>計算 = (ダイヤルして 9 回以上試行した連絡先 / 本日オープンしている連絡先の合計数) * 100 |

# スケジュールレポート

必要なレポートを毎日、毎週、毎月、または毎年スケジュールすることで、同僚や他のユーザにレポートを自動的に送信できます。 レポート スケジューラが設定されると、指定されたレポートが電子メールの添付ファイル (XLS 形式) として受信者に配信されます。

## スケジュールレポートの追加

1. 移動先 **メニュー > レポート > スケジュールレポート**。
2. クリック **スケジュールレポートの追加**。
3. 入力してください **名前** スケジュールについては。

   **注記**: 60 文字以上、または 特殊文字 名前を追加するときに。
4. 入力してください **説明** スケジュールについては。
5. 種類を選択してください **報告** ドロップダウンから送信する項目を選択します。 クリック **+** アイコンをクリックして、選択したレポートにパラメータを追加します。 連絡試行バケットには当日のデータは含まれません。 この情報は、ユーザがドロップダウン リストからこのレポートを選択するとポップアップ表示されます。
6. 選択してください **頻度** 報告書の **毎日**、 **月次**、 **週刊** そして **特定の日**。
7. 選択した周波数が **毎週**、選択 **週の開始日**。
8. 選択した周波数が **特定の日** 日数、選択 **特定の日**。
9. 選択してください **レポート開始時刻**。 これはレポートのデータが取得される時間です。 たとえば、開始時刻が午前 11 時の場合、午前 11 時からのデータのみがレポートに入力されます。
10. 選択してください **報告時間**。 これはレポートデータが入力されるまでの時間です。 たとえば、終了時刻が 6.00 PM の場合、6.00 PM までのデータがレポートに入力されます。
11. レポートを一度に別のメールアドレスに送信するには、 **メールアドレス**を入力します。 必ずカンマで区切ってさまざまな電子メール アドレスを追加してください。
12. **[保存] をクリックします**。 スケジュール レポートがスケジュール レポート ダッシュボードに追加されます。 ユーザは、スイッチを **オン** にするとレポートが送信され、TURN **オフ** にするとレポートの送信が停止されます。

## スケジュールを編集する

1. レポートを選択し、「アクション」の下の「 **編集** 」をクリックします。

2. 必要なパラメータを更新し、 **[保存]** をクリックします。

## スケジュールを削除する

1. レポートを選択し、「 **アクション** 」の下の「 **削除**」をクリックします。
2. 確認ポップアップで **[OK]** をクリックします。

## フィールド

| フィールド | 説明 |
|---|---|
| 名前 | レポートを送信するための特定のスケジュールの名前。 |
| 頻度 | レポートを送信する頻度。 |
| 毎月 | レポートは毎月最初の暦日に送信されます。 レポートに入力されるデータは、直前の暦月に関するものです。<br>**注**: 最初のレポートはスケジュールの保存に成功したときに送信され、その後は毎月最初の暦日に送信されます。 |
| 毎週 | 毎週選択した日にレポートが送信されます。 レポートを送信する適切な日を選択します。 選択できるのは 1 日のみです。 レポートに入力されるデータは、直前の 7 日間に関するものです。 たとえば、レポートの送信日として水曜日を選択した場合、前の水曜日の 00:00 から火曜日の 23:59 までのデータがレポートに入力されます。 |
| 特定の日 | 特定の曜日にレポートが送信されます。 このレポートを送信する適切な日付のチェックボックスを選択します。 複数選択が可能です。 入力されるデータは、選択したレポート時間までの特定の 1 日分です。 たとえば、月曜日を選択し、レポート時間を 18:00 に選択した場合、レポートには月曜日の 00:00 から月曜日の 18:00 までのデータが含まれます。 |
| 毎日 | 毎日レポートが送信されます。 レポートのデータは、毎日、選択した開始時刻から選択した終了時刻/レポート時刻までです。 |
| レポート名 | このスケジュールで設定されたとおりに送信されるレポート。 |
| レポート開始時刻 | レポートの開始時刻。 これは、レポートに入力するデータが選択される時間です。 |
| 報告時間 | レポートを生成して受信者に送信する時刻を指定します。 |
| アクティブ化 | レポートを送信するにはスイッチをオンにし、レポートの送信を停止するにはスイッチ TURN をオフにします。 |

# データ抽出

レポート データベースからの生のトランザクション データと固定データのエクスポートを構成します。 ユーザは、指定した時間や選択したキャンペーン グループまたはキャンペーンの通話試行などの標準ソースからデータを抽出できます。

注: 以下は Webex Contact Center アプリケーションではサポートされていませんが、ドキュメント内に参照が含まれている可能性があります。
- メールと SMS キャンペーン
- 通知
- AEM (エージェントとエグゼクティブのマッピング) 呼び出し。
- 電子メールおよび SMS キャンペーンに関連するデータ。

抽出された列のほとんどは空白になりますが、ユーザは上記に関連する表内のデータを無視できます。

**メニュー > レポート > データ抽出**に移動

します。 **キャンペーンを選択**

1. **[データ抽出の追加]** をクリックします。
2. データ抽出の **名前** と **説明** を追加します。
3. データを抽出するファイルとして、 **マスター** または **トランザクション**を選択します。
4. ドロップダウン リストから **データ ソース** を選択します。 これはトランザクション データの抽出に対してのみアクティブになります。
5. **キャンペーン グループを選択します**。 選択したデータ ソースに基づいて、利用可能なキャンペーン グループがリストされます。
6. **キャンペーン**を選択します。 選択したデータ ソースに基づいて、利用可能なキャンペーンがリストされます。
7. **次へ**をク

リックします。

**データ ソース**

1. データ ソースは選択可能なフィールドのリストです。 選択したデータ タイプに基づいて標準データ ソースがリストされます。 **使用可能なフィールド** を **選択したフィールド**に移動します。

   例: 通話アクティビティは 1 つのデータ ソースです。 データ ソースには、実行された通話試行とその結果に関する詳細が提供されます。

2. [ **次へ** ] をクリックします。

**スケジュール設定の編集**

1. 必要な **実行タイプ** を **定期的な間隔**、 **スケジュールされた時間**、および **オンデマンド**から選択します。
2. 選択した実行タイプがオンデマンドの場合は、開始日と終了日を入力します。
3. **実行日**を選択します。 複数の日を選択できます。
4. **EOD の時間**を選択します。

5. **ファイル名**を入力します。
6. **ファイル拡張子** を **CSV** と **txt**から選択します。 選択したファイル拡張子が txt の場合は、ドロップダウンから **列区切り** を選択します。

   **注**: テーブルから抽出されたデータに JSON 文字列が含まれている場合は、txt 形式を使用してファイルを保存します。 たとえば、監査ログ テーブルには JSON 文字列のデータが含まれています。
7. **テーブル固有のファイル作成**を有効にします。 これにより、データ抽出ファイルにテーブル名が追加されます。 このスイッチを無効にすることはできません。 必要に応じて他のオプションを有効にします。 選択したデータ ソースに基づいて他のオプションが表示されます。
8. ファイル ヘッダーが必要な場合は、 **[ファイル ヘッダーが必要]** を有効にします。
9. **空のファイルが必要**オプションは、キャンペーン固有のファイル作成トグルがオンになっていると自動的に有効になります。 これにより、レコードのないファイルが書き込まれます。 空のファイルが必要ない場合は、TURN これをオフにしてください。 これは、選択したデータ型がマスターの場合にのみ表示されます。
10. 二重引用符を含めるには、 **二重引用符の追加** を有効にします。 各フィールドのデータは二重引用符で囲まれています。
11. **日付時刻の追加** を有効にすると、サーバの時刻が追加されます。 ファイルは、ファイル名にサーバ時刻が付加されて保存されます。

    **注**: 実行タイプとしてオンデマンドを選択した場合は必須です。 他の実行タイプの場合でも、「日付時刻の追加」オプションを使用することをお勧めします。 これにより、抽出されたファイルが誤って上書きされることを回避できます。
12. **[保存（Save）]** をクリックします。

# 保存先

保存先画面では、データ抽出ファイルを保存できます。 **[レポート] > [保存先]** に移動します。 デフォルトでは、共有ドライブが選択され、以下のフィールドに入力されます。

共有ドライブ、S3、Google Cloud Storage からストレージ タイプを選択します。

## S3 ストレージ

1. 抽出データを保存する **S3 パス** を入力します。 これは、抽出データを保存する Amazon S3 バケット上の絶対パスです。 例: *bucket:\DE*。
2. 必要に応じて、 **「ロールベースの認証」** チェックボックスをオンにします。
3. **AWS リージョンエンドポイントを入力します**。 これは、AWS S3 バケットが配置されているリージョンです。

4. **AWS アクセスキーを入力します。** これは AWS S3 バケットにアクセスするためのキーです。 アクセスキーは、Amazon S3 に送信するリクエストに署名するために使用されます。 AWS はこのキーを検証し、アクセスを許可します。 アクセスキーを使用して、AWS に対して行う API リクエストに署名します。

5. AWS の KMS 暗号化を使用してデータを暗号化する場合は、 **KMS 暗号化** を入力します。
6. **AWS 秘密キー**を入力します。 これは、上記で入力した AWS アクセスキーの秘密キー (パスワードのような) です。 認証にはアクセスキー ID とシークレットアクセスキーの組み合わせが必要です。
7. **サーバ側暗号化**を入力します。 これは暗号化/復号化キーであり、消去されたデータが AWS のキー管理システム (KMS) 暗号化を使用して暗号化されることを定義します。
8. **KMS キー**を入力します。 これは、S3 バケット上のデータを復号化するためのキーです。
9. アーカイブされたデータを保存する **アーカイブ パス** を入力します。 例: *bucket:\DE\archive*。

   **注意**: パスを指定する際は、先頭にスラッシュやバックスラッシュを含めないでください。 たとえば、IP、アドレス 172.20.3.74、パスが LCMArchive であるマシンの LCMArchive フォルダーにデータをアーカイブする必要がある場合。 LCMArchive の下のサブフォルダーを使用している場合は、正しいパス (LCMArchive\PurgeData) を指定します。
10. **[保存（Save）]** をクリックします。

## 共有ドライブストレージ

1. アーカイブされたデータを保存するデバイスの **IP/ホスト名** を入力します。
2. データを保存するドライブにアクセスするユーザの **ユーザ ID** と **パスワード** を入力します。 これはドメインとユーザ名の組み合わせである必要があります。 例: <domain>\ユーザ ID。
3. データを抽出する共有ドライブの **抽出パス** を入力します。
4. データをアーカイブする共有ドライブの **アーカイブ パス** を入力します。

   **注**: パスを追加するときは、先頭にスラッシュやバックスラッシュを含めないでください。 たとえば、IP アドレスが 172.xx.x.xx でパスが LCMArchive であるマシンの LCMArchive フォルダーにデータをアーカイブする必要がある場合。 LCMArchive の下のサブフォルダーを使用している場合は、正しいパス (LCMArchive\PurgeData) を指定します。
5. **[保存（Save）]** をクリックします。

## Google クラウドストレージ

抽出データを保存する Google Cloud Storage の **データ抽出パス** フィールドを入力します。 これは、抽出データを保存する Google Cloud Platform 上の絶対パスです。

1. **アカウントタイプ**を入力します。 これは、Google Cloud Storage にアクセスするために使用されるアカウントの種類です。 デフォルトのアカウントタイプとして service_account を使用します。
2. Google アカウントの **秘密鍵** を入力して、Google Cloud Storage にアクセスし、アーカイブされたデータを配置します。

3. Google Cloud Storage へのアクセスに使用する Google Cloud Platform クライアント アカウントの **クライアント メール** を入力します。
4. アプリケーションがアーカイブ データを保存する Google Cloud Storage の **アーカイブ パス** を入力します。
5. **[保存（Save）]** をクリックします。

注: ファイル名の一部として、/、\、:、*、?、<、<、| などの特殊文字を使用しないでください。

## データ抽出の編集

1. データ抽出を選択し、「アクション」の下の「 **編集 」をクリックします。**
2. パラメータを更新し、 **[保存]** をクリックします。
3. データ抽出プロセスを有効にするには、スイッチを有効化 **します** 。

## データ抽出の削除

1. データ抽出を選択し、「アクション」の下の「 **削除** 」をクリックします。
2. 確認ポップアップで **[OK]** をクリックします。

## フィールド

| フィールド | 説明 |
|---|---|
| 名前 | データ抽出構成の名前。 |
| 説明 | データ抽出構成の説明。 |
| ファイル名 | 抽出したデータを保存するファイル名。 |
| 職歴 | データ抽出構成のジョブ履歴。 ジョブ履歴の詳細にアクセスするには、隣接するボタンをクリックしてドロップダウンの履歴詳細を展開します。 |
| マスタータイプ | ソースの種類。 これにより、マスター データ ソースからデータ フィールドが抽出されます。 |
| トランザクション | ソースの種類。 これにより、トランザクション データ ソースからデータ フィールドが抽出されます。<br>注意:「トランザクション」を選択した場合のみ、キャンペーン グループ / キャンペーン、またはその両方の選択を続行します。 |
| キャンペーングループ | 選択したデータ ソースに基づくキャンペーン グループのリスト。 |

| | |
|---|---|
| キャンペーン | 選択したデータ ソースに基づくキャンペーンのリスト。 |
| データ ソース | データ ソースのリスト。 システムには標準データ ソースが用意されています。 |

| | |
|---|---|
| 定期間隔実行タイプ | 設定された間隔で定期的にデータ抽出を実行します。 数値パネルを使用するか、Enter キーを押して [時間間隔 (分)] フィールドを入力します。 30 分間隔を選択できます。 データ抽出は、ここで設定された間隔で定期的に生成されます。 |
| スケジュールされた時間実行タイプ | 毎日特定の時間にデータ抽出の生成をスケジュールします。 |
| オンデマンド実行タイプ | 要求に応じてデータ抽出を生成します。 |
| ランニング日 | データ抽出の開始日。 |
| IP/ホスト名 | アーカイブされたデータを保存するデバイスの IP アドレスまたはホスト名を表示します。 |
| ユーザー ID | 上記ドライブにアクセスしてデータを保存するユーザのユーザ ID を表示します。 ドメインとユーザ名の組み合わせである必要があります。 たとえば、<ドメイン>\ユーザ ID。 |
| パスワード | 上記のユーザが共有ドライブにアクセスするためのパスワードを表示します。 |
| 抽出パス | データが抽出される共有ドライブ上のパスを表示します。 |
| アーカイブパス | データがアーカイブされる共有ドライブ上のパスを表示します。 |
| S3 パス | 抽出データを保存する S3 パス。 これは、抽出データを保存する Amazon S3 バケット上の絶対パスです。 |
| ロールベース認証 | ロールベースの認証を許可する |
| AWS リージョンエンドポイント | これは、AWS S3 バケットが配置されているリージョンです。 |
| AWS アクセスキー | AWS S3 バケットにアクセスするためのキー。 アクセスキーは、Amazon S3 に送信するリクエストに署名するために使用されます。 AWS はこのキーを検証し、アクセスを許可します。 アクセスキーを使用して、AWS に対して行う API リクエストに署名します。 |
| KMS 暗号化 | AWS の KMS 暗号化により、データを暗号化できます |
| AWS 秘密鍵 | これは、入力した AWS アクセスキーの秘密キー (パスワードのような) です。 認証にはアクセス キー ID とシークレット アクセス キーの組み合わせが必要です。 |
| サーバ側暗号化 | これは暗号化または復号化キーであり、消去されたデータが AWS のキー管理システム (KMS) 暗号化を使用して暗号化されることを定義します。 |
| [KMS キー（WEP Key）] | これは、S3 バケット上のデータを復号化するためのキーです。 |
| アーカイブパス | アーカイブされたデータを保存するパス。 |
| アカウントの種類 | これは、Google Cloud Storage にアクセスするために使用されるアカウントの種類です。 デフォルトのアカウント タイプとして service_account を使用します。 |

| | |
|---|---|
| プライベートキー | これは、アーカイブされたデータを配置するために Google Cloud Storage にアクセスするための Google アカウントの秘密鍵です。 |
| クライアントのメールアドレス | これは、Google Cloud Storage にアクセスするために使用される Google Cloud Platform クライアント アカウントのメール アドレスです。 |
| アーカイブパス | これは、アプリケーションがアーカイブされたデータを保存する Google Cloud Storage 上のパスです。 |

**注意事項**

- レポートは、一日の初めから設定されたスケジュール時刻まで抽出され、ファイルは設定された保存場所に配置されます。
- このレポートを 2 回目に抽出すると、最初のデータ抽出を含むファイルが構成されたアーカイブ パスに移動されます。 最新の抽出は構成された保存場所に配置されます。
- このレポートを 3 回目に抽出すると、2 番目の反復を含むファイルは構成されたアーカイブパスに移動され、最初の反復ファイルは削除されます。 3 回目の反復データは、構成された保存場所に配置されます。
- 上記の 3 つの条件はすべて、キャンペーン固有のファイルの作成と日時の追加スイッチがオフの場合にのみ適用されます。
- 通話履歴

## 取引フィールドの詳細

次の表に、抽出されたフィールドとその詳細を示します。

- 通話アクティビティ
- エージェントのアクティビティ
- グローバルアップロード
- リストアップロード
- スクラブリスト情報
- 監査ログ
- 監査証跡
- 匿名インバウンド SMS
- SMS インバウンドセッション
- SMS アウトバウンドセッション
- SMS 配送状況
- アップロードエラー
- グローバルアップロードエラー
- API アップロードエラー
- 非通話アクティビティ
- ビジネスデータへのお問い合わせ
- リスト情報

- アップロード履歴
- 通話履歴

## 通話アクティビティ

| ソーステーブル | 列名 | 表示名 | データタイプ | 説明 |
|---|---|---|---|---|
| RPT_コールアクティビティ | 連絡先 ID | 連絡先 ID | ビッグインテント<br>null | キャンペーン内の連絡先の一意の識別子 |
| RPT_コールアクティビティ | カリド | CALL ID | nvarch-ar<br>(38) | コール ID は、アクティビティを追跡するための内部連絡先参照に適用できます。<br>たとえば、連絡先の選択から再スケジュール/レポートまでのトラバースを追跡します。 |
| RPT_コールアクティビティ | キャンペーングループ | キャンペーングループ | nvarch-ar<br>(64) | これはキャンペーンがマップされるキャンペーン グループです。 |
| RPT_コールアクティビティ | キャンペーン ID | キャンペーン ID | nvarch-ar<br>(64) | キャンペーン名です。例：コレクション。 |
| RPT_コールアクティビティ | グローバルリスト ID | グローバルリスト ID | bigint<br>（ヌル） | これは、システムにアップロードされたすべてのグローバルリストの実行シリアル番号です。 |

| | | | | |
|---|---|---|---|---|
| OBD_GU アクティビティ | グローバルファイル名 | グローバルファイル名 | nvarch-ar (64)（ヌル） | グローバルアップロード連絡先ファイル名。 |
| RPT_コールアクティビティ | リスト ID | LIST ID | int（ヌルではない） | これは、キャンペーンに連絡先をアップロードする際に生成される実行中のシリアル番号です。 |

| | | | | |
|---|---|---|---|---|
| OBD_リスト情報 | リストステータス | リストステータス | 整数（ヌル） | この列には、リストのステータスを表す整数 (アクティブ -0 または停止 -1) が含まれます。 |
| OBD_リスト情報 | リスト作成時刻 | リスト作成時間 | 日付時刻 (50)（ヌル） | 連絡先リスト ファイルがアップロードのために配置された日時。 |
| OBD_HD_アップロード履歴 | アップロード時間 | アップロード時間 | 日付時刻（ヌル） | リストのアップロードが完了した日時。 |
| RPT_コールアクティビティ | コール戦略 | コンタクト戦略 | nvarch-ar (64)（ヌル） | 現在の試行に適用されたコンタクト戦略。 |
| RPT_コールアクティビティ | 条件 ID | CSS 条件 | bigint（ヌル） | 連絡先の選択中に使用される CSS 条件の内部 ID。 |
| OBD_カスタムフィルターグループ | カスタムフィルターグループ | カスタムフィルターグループ | 整数 (32)（ヌル） | これは、現在使用されている CSS 条件がマップされている CSS 条件グループ ID です。 |
| OBD_カスタムフィルター | 条件文字列 | 条件文字列 | nvarch-ar（最大）（ヌル） | これは、現在使用されている CSS 条件がマップされている CSS 条件グループ ID です。 |
| RPT_コールアクティビティ | 連絡先番号 | 連絡先番号 | 整数 (64)（ヌ | 発信する連絡先番号。デジタル チャネルの場合は、電子メールアドレスを使用するこ |

| | | | | |
|---|---|---|---|---|
| | | | ル） | ともできます。 |
| RPT_コールアクティビティ | 作成時間 | 作成時間 | 日付時刻（ヌル） | このレコードがレポート データベースに挿入された日時。 |
| RPT_コールアクティビティ | 終末 | 終末 | 日付時刻 | これは通話が応答される時間です。 |

| | | | | |
|---|---|---|---|---|
| | | | （ヌル） | LCMContactRescheduler サービスによってスケジュールされます。<br>この時間は CallActivity テーブルに挿入されます。 |
| RPT_コールアクティビティ | 通話時間 | 通話時間 | 整数（ヌル） | CPA が有効になっている場合、通話時間はエージェントがパッチを当てられた時点から通話が完了するまで計算されます。 Cisco 実装の場合、通話時間は通話の開始から終了まで計算されます。 |
| RPT_コールアクティビティ | コールモード | 通話モード | nvarch-ar (4)（ヌル） | これは連絡先の連絡モード ID です。 |
| OBD_モード | モード名 | モード名 | nvarch-ar (64)（ヌル） | 連絡先がダイヤルアウトされるモード名 (例: Home または Mobile)。 |
| RPT_コールアクティビティ | コールアウトカム | 通話結果 | nvarch-ar (8)（ヌル） | ダイヤラーまたはエージェントによって連絡先に設定された通話結果。 それはテレフォニーの結果でもビジネスの結果でも構いません |

| | | | | |
|---|---|---|---|---|
| RPT_コールアクティビティ | コンタクトネイチャー | コンタクトネイチャー | nvarch-ar | 試みのために自然に接触してください。可能な値は、フレッシュ、再スケジュール、通常のコールバック、パーソナルコールバック、AEM フレッシュ、AEM-Rescheduled、AEM-Callback、Fresh-Moment、または AEM-Fresh-Moment |

| | | | | |
|---|---|---|---|---|
| OBD_BusinessOutcomeParent | アウトカムグループ | 結果グループ | int (64)（ヌル） | これはビジネス成果グループ ID ですキャンペーンにマッピングされます。 |
| OBD_BusinessOutcomeParent | 親の名前 | 結果 親名 | nvarch-ar (64)（ヌル） | 親結果の名前。 |
| OBD_結果 | 表示名 | 結果の説明 | nvarch-ar (128)（ヌル） | この試行に対して設定されたテレフォニーまたはビジネス成果の説明。 |
| OBD_結果 | RPC タイプ | RPC タイプ | nvarch-ar (8)（ヌル） | これは、この試行に対して設定された処理が RPC (Right-party connect) としてタグ付けされているか、非 RPC としてタグ付けされているかを示す分類です。 |
| OBD_結果 | ISLIVECALLOUTCOME | ライブコールアウトカム | ビット（ヌル） | この通話の結果セットが「LIveCall」としてタグ付けされているかどうかを示します。 放棄通話率を決定するのに役立ちます。 |
| RPT_コールアクティビティ | 通話開始時間 | 通話開始時間 | 日付時刻（ヌル） | CPA が有効な場合は通話接続時間です。CPA が無効な場合は、通話がエージェントにパッチされた時間です。 |

| | | | | |
|---|---|---|---|---|
| RPT_コールアクティビティ | ターゲットキャンペーン ID | ターゲットコンタクト ID | nvarch-ar（ヌル） | これは、現在の連絡先が別のキャンペーンにチェーンされている場合のターゲット キャンペーン ID を示します。 |
| RPT_コールアクティビティ | ターゲットコンタクト ID | ターゲットコンタクト ID | bigint（ヌル） | これは、現在の連絡先が別のキャンペーンに連鎖されている場合に、ターゲット キャンペーンのターゲット連絡先 ID を示します。 |

| | | | | |
|---|---|---|---|---|
| RPT_コールアクティビティ | エージェント周辺機器番号 | エージェント ID | nvarch-ar (64)（ヌル） | これは、この通話試行を処理したエージェント ID を示します。 |
| RPT_コールアクティビティ | エージェント名 | エージェント名 | nvarch-ar (64)（ヌル） | この通話を処理したエージェントの名前。 |
| RPT_コールアクティビティ | リカバリキー | 回復キー | フロート | ダイヤラーから通話結果を取得するためのダイヤラー上の識別子を示す実行番号。 |
| RPT_コールアクティビティ | 目標金額 | 目標金額 | 浮動小数点数（null） | これは、この試みにおける特定のビジネス成果の達成目標として設定された値です。 |
| RPT_コールアクティビティ | エージェントコメント | エージェントのコメント | nvarch-ar (4000)（ヌル） | この通話コメントは、連絡先のエージェントによって入力されます。 |
| RPT_コールアクティビティ | チャンネルタイプ | チャンネルタイプ | 整数（ヌル） | これはチャネル タイプです。<br>SMS に 1、VOICE に 2、<br>EMAIL の場合は 3、<br>CPAAS の場合は 4、<br>IVR の場合は 0 です。 |

| | | | | |
|---|---|---|---|---|
| OBD_チャネルタイプ | チャンネル説明 | チャンネルの説明 | nvarch-ar<br>(32)<br>（ヌル） | チャンネルの説明。例、音声、SMS、メール<br>SMS の場合は 1、VOICE の場合は 2、EMAIL の場合は 3、CPAAS の場合は 4、IVR の場合は 0。 |
| RPT_コールアクティビティ | チャイルドリスト ID | 子リスト ID | 整数<br>（ヌル） | これは、すでにアップロードされたリストに連絡先が追加されるときに割り当てられる ID です。 |
| RPT_コールアクティビティ | 配送タイプ | 配送タイプ | nvarch-ar<br>(32)<br>（ヌル） | これは、ダイヤラーへの連絡先配信タイプの性質を表します。 可能性のある値 |

| | | | | |
|---|---|---|---|---|
| | | | | ues は次のとおりです。<br>• 通常<br>• 非 PEWC レギュラー<br>• 通知<br>• AEM |
| RPT_コールアクティビティ | ターゲットキャンペーングループ | ターゲットキャンペーングループ | nvarch-ar (64)（ヌル） | 共有リストにのみ適用されます。 共有リスト キャンペーンから連絡先が配信されるキャンペーン グループを示します。 |
| RPT_コールアクティビティ | コールタイプ | コールタイプ | Varchar (8)（ヌル） | 通話の種類を説明します。 可能な値は次のとおりです。<br>• 0 – 通常の通話<br>• 1 – コールバックコール<br>• 2 – AEM コール |
| RPT_コールアクティビティ | コールバックエージェント ID | コールバックエージェント ID | nvarch-ar (128)（ヌル） | コールバック要求を処理するエージェントの ID。 |
| RPT_コールアクティビティ | コールバックエージェント名 | コールバックエージェント名 | nvarch-ar (64)（ヌル） | コールバック要求を処理するエージェントの名前。 |

| | | | | |
|---|---|---|---|---|
| RPT_コールアクティビティ | 口座番号 | 口座番号 | nvarch-ar (30)（ヌル） | アカウント番号は、ダイヤラーに連絡先が配信された時点でその連絡先に対して作成される一意の番号です。<br>パイプ区切りでキャンペーン ID、連絡先 ID などを示す 7 つの一意の ID 値が含まれます。 |
| RPT_コールアクティビティ | コンタクトトリー | コンタクトトリー | タイニーイント（ヌル） | 現在の再試行番号、つまりダイヤル番号 |

| | | | | |
|---|---|---|---|---|
| | | | | これまでに行われた連絡の試み。 |
| RPT_コールアクティビティ | 連絡先ステータス | 連絡先ステータス | 整数（ヌル） | これは連絡先の通話アクティビティのステータスです。　値は次のとおりです。<br>1 - 閉店<br>2 - 一時的にロックされています<br>3 - アップロード中<br>4 - ダイヤラーに配信<br>5 - 上書き<br>6 - リスト停止<br>7 - 管理されたコンタクトを通じて閉じられるか、フラッシュされる<br>8 - 接触が停止し、閉じられました<br>9 - コンタクトスクラブ<br>10 - 連絡先が他のキャンペーンに移動されました<br>11 - 永久停止<br>20 - 配達連絡停止<br>21 - PCB 配送のためロックされています<br>22 - CSCONTACTS |

| | | | | |
|---|---|---|---|---|
| | | | | 配信のためロックされています<br><br>23 - AEM 配信用にロックされています<br><br>24 - 再スケジュールによりロックされ、再スケジュールされます |

| | | | | |
|---|---|---|---|---|
| | | | | 接触<br>25 - 再スケジュールによりコンタクトが閉じられました<br>30 - DNC によって連絡がブロックされました<br>31 - NDNC によってブロックされた連絡先<br>32 - DNCSCRUB によってブロックされた連絡先<br>33 - 訴訟により連絡が遮断される<br>34 - 期限切れ<br>35 - キャンペーン中止 |
| OBD_<br>連絡先ステータス理由 | 連絡先ステータス理由 | 連絡先ステータス理由 | nvarch-ar<br>(128)<br>（ヌル） | これが連絡先ステータスの変更の理由です。たとえば、連絡先のステータスが「ロック」になっている場合があります。 アプリケーションは、PCB、CSS、または AEM 呼び出しを行うために、この連絡先の配信をロックします。 |
| RPT_コールアクティビティ | コールバック日時 | CALLBACKDATE TIM-E | 日付時刻<br>（ヌル） | 連絡先のエージェントによるコールバックのために設定された日時。 |
| RPT_コールアクティビティ | 配達時間 | 配達時間 | 日付時刻<br>（ヌル） | 連絡先がダイヤラーに配信される時刻。 |

| | | | | |
|---|---|---|---|---|
| RPT_コールアクティビティ | 予定配達時間 | 予定配送時間 | 日付時刻（ヌル） | 連絡先の配信の再スケジュールされた時間。 |
| RPT_コールアクティビティ | IS ワイヤレス | IS ワイヤレス | ビット（ヌル） | 現在の試行がワイヤレス接続に対して行われているかどうかを示します |

| | | | | |
|---|---|---|---|---|
| | | | | （携帯電話番号。 ワイヤレスの場合は True、固定回線の場合は False。 コンプライアンス DB から値を取得します (使用可能な場合)。 それ以外の場合、デフォルト値は True です。 |
| RPT_コールアクティビティ | 周辺機器コールキー | 周辺機器コールキー | 整数（ヌル） | これは、固有の周辺機器呼び出し ID (転送された呼び出しと同じ) を示します。 |
| RPT_コールアクティビティ | 予約時間 | 予約コール期間 | 整数（ヌル） | エージェントが予約されていた通話時間（ミリ秒単位）。 プレビュー モードでは、最後のプレビューの時間と、ダイヤル、CPA の実行、エージェントへの顧客コールの転送にかかった時間が含まれます。 予測モードでは、予約済みのエージェントが顧客に接続する前に切断された場合、エージェントはまだ顧客に関連付けられていないため、この値は NULL になります。 このような場合、対応する終了コール詳細レコードの HoldTime はエージェントの予約時間を参照します。 |
| RPT_コールアクティビティ | プレビュー時間 | プレビュー時間 | 日付時刻（ヌル） | ダイヤラーによってエージェントにプレビュー用の連絡先が提供された時間。 |

| | | | | |
|---|---|---|---|---|
| RPT_コールアクティビティ | SFUID | SFUID | nvarch-ar（最大）（ヌル） | これは、連絡先のインポートに使用される Service Cloud Voice CRM ユーザ ID です。 |

| | | | | |
|---|---|---|---|---|
| RPT_コールアクティビティ | 連絡先 | 連絡先 | nvarch-ar（最大）（ヌル） | この列には、ダイヤラーに送信される XML データ形式の連絡先情報が含まれています。たとえば、名、姓、連絡先番号などです。 |
| RPT_コールアクティビティ | SFLEADID | Salesforce キャンペーン リード ID | nvarch-ar (200)（ヌル） | これは、Service Cloud Voice で生成される一意の ID です。 |
| RPT_コールアクティビティ | SF コンタクト ID | Salesforce キャンペーンの連絡先 ID | nvarch-ar (200)（ヌル） | これはキャンペーンの Service Cloud Voice 連絡先 ID です。 |
| RPT_コールアクティビティ | SF キャンペーン ID | Salesforce キャンペーン ID | nvarch-ar (200)（ヌル） | 連絡先をインポートする際に使用する Service Cloud Voice CRM キャンペーン ID。 |
| RPT_コールアクティビティ | コールバックリクエスト | コールバックのリクエスト | nvarch-ar (64)（ヌル） | これは、コールバック要求を登録するエージェントのエージェント ID を表します。 |
| RPT_コールアクティビティ | コールバック登録タイプ | コールバック登録型 | Varchar (23)（ヌル） | エージェントによるコールバック登録時のコールバックの性質。値は次のいずれかになります。<br>0 – 通常通話<br>1 – PCB（パーソナルコールバック）<br>2 – NCB（通常のコールバック） |

| | | | | |
|---|---|---|---|---|
| RPT_コールアクティビティ | コールバック試行タイプ | コールバック試行タイプ | nvarch-ar (17)（ヌル） | ダイヤル試行時の通話タイプ。 可能な値は NCB と PCB です。 |
| RPT_コールアクティビティ | 現在のサイクル | 現在のサイクル | int | サイクル戦略が |

| | | | | |
|---|---|---|---|---|
| | | | （ヌル） | 使用する場合、このフィールドには現在のサイクル番号が含まれます。 たとえば、接触反復サイクルが 2 番目のサイクルにある場合、このフィールドには 2 が含まれます。 |
| RPT_コールアクティビティ | 現在のサイクルが完了しました | 現在のサイクルが完了しました | ビット（ヌル） | 現在のサイクルが完了したことを示すフラグ。つまり、すべてのモードがダイヤルアウトされたことを示します。 |
| RPT_コールアクティビティ | 前回のリードスコア | 前回のリードスコア | int（ヌル） | アップロード時に割り当てられたリード スコア値。 |
| RPT_コールアクティビティ | 現在のリードスコア | 現在のリードスコア | int（ヌル） | エージェントによって割り当てられたリードスコア値。 |
| RPT_コールアクティビティ | 実際の価値 | 電話番号 | nvarch-ar (225)（ヌル） | これはリードリストからアップロードされた電話番号です。 |
| RPT_コールアクティビティ | 州法グループ名 | 州法グループ名 | nvarch-ar (256)（ヌル） | これは、この試行中に使用された州法グループ名を示します。 |
| OBD_キャンペーン_カテゴリー | キャンペーンカテゴリー NA-ME | キャンペーンカテゴリー名 | nvarch-ar (64)（ヌル） | キャンペーンのカテゴリ名です。 |

| | | | | |
|---|---|---|---|---|
| RPT_コールアクティビティ | DNC キャンペーンカテゴリー名 | DNC キャンペーンカテゴリ名 | nvarch-ar（最大）（ヌル） | これは DNC キャンペーン カテゴリ名です。 |
| RPT_コールアクティビティ | 行き先 | 着信 | ビット（ヌル） | 現在の試行エントリが着信コールから作成された場合、値は 1 に設定され、それ以外の場合は 0 に設定されます。 |
| RPT_コールアクティビティ | ダイヤラー参照 ID | ダイヤラー参照 ID | nvarch-ar | これはダイヤラー プラットフォームによって生成された連絡先 ID または通話 ID です。 ダイヤラー |

| | | | | |
|---|---|---|---|---|
| | | | (64)（ヌル） | 具体的なフィールドは次のとおりです。<br>• . |
| OBD_コールアクティビティ | コンタクトネイチャー | コンタクト_ネイチャー | nvarch-ar | 試みのために自然に接触してください。可能な値は、フレッシュ、再スケジュール、通常のコールバック、パーソナルコールバック、AEM フレッシュ、AEM-Rescheduled、AEM-Callback、Fresh-Moment、または AEM-Fresh-Moment |
| RPT_コールアクティビティ | ステータス変更者 | ステータスを変更した人 | nvarch-ar<br>(128)（ヌル） | 連絡先ステータスを変更したエンティティのユーザ ID。 |
| RPT_コールアクティビティ | ステータス変更 | ステータスが変更されました | 日付時刻<br>（ヌル） | 連絡先のステータスが変更された日時。 |
| RPT_コールアクティビティ | デバイス ID | デバイス ID | nvarch-ar<br>(255)（ヌル） | 番号またはビジネス フィールドによって連絡先が DNC としてブロックされるかどうかを定義します。 |

| | | | | |
|---|---|---|---|---|
| RPT_コールアクティビティ | オーバーライド PEWC 検証 | PEWC 検証をオーバーライド | 少し（ヌルではない） | インタラクション中に、顧客が特定の連絡先を非 PEWC コールとしてマークし、自動ダイヤリングを許可する場合、エージェントはチェックボックスを選択して、この連絡先、エージェントの PEWC 検証を上書きします。 |
| RPT_コールアクティビティ | ダイヤラエージェントコールバック | ダイヤラーエージェントコールバック | 少し（ヌルではない） | この値は、結果が通常のエージェントまたはクリッカー エージェントによってコールバックとして設定されるかどうかを決定します。 値 0 は通常のエージェントによって設定されていることを示し、値 1 はクリッカー エージェントによって設定されていることを示します。 |

| | | | | |
|---|---|---|---|---|
| RPT_コールアクティビティ | DNC 開始日 | DNC 開始日 | 日付時刻（ヌル） | 時間指定の DNC を登録する場合は、登録時に開始日を指定します。 |
| RPT_コールアクティビティ | 終了日 | DNC 終了日 | 日付時刻（ヌル） | 時間指定の DNC を登録する場合、登録時に終了日を指定します。 |
| RPT_コールアクティビティ | DNC タイプ | DNC タイプ | nvarch-ar (1)（ヌル） | 連絡先に適用される DNC のタイプは、特定のキャンペーンまたはすべてのキャンペーンに適用されます。 |
| RPT_コールアクティビティ | ID 認証対応 | ID 認証が有効 | 少し（ヌルではない） | これは、IdentityAuthenticationEnabled フィールドが連絡先に対して有効または無効にします。 |
| RPT_コールアクティビティ | ID 認証成功 | 本人認証成功 | 少し（ヌルではない） | これは、ID 認証が成功したかどうかを定義します。 |
| RPT_コールアクティビティ | SMS 取引件数 | SMS トランザクション数 | int（ヌルで | カウントは、ユーザと SMS サービス間の SMS トランザクションの数です。双方向の SMS が使用される場合に適用されます。 |

| | | | | |
|---|---|---|---|---|
| | | | はない) | |
| RPT_コールアクティビティ | プレビュー期間 | プレビュー期間 | 整数（ヌル） | エージェントが通話をプレビューし、連絡先を受け入れるか、スキップするか、拒否（クローズ）するかを決定するのにかかる時間。 |
| RPT_コールアクティビティ | 次回予定日時 | 次回スケジュール日時 | 日付時刻 (50)（ヌル） | これは、スケジュールされたコールバックの次のスケジュールされた日時を示します。 |
| RPT_コールアクティビティ | 次のスケジュールモード | 次のスケジュールモード | nvarch-ar (50)（ヌル） | これは、スケジュールされたコールバックのモードを示します。 |

| | | | | |
|---|---|---|---|---|
| RPT_コールアクティビティ | 合計プライマリ認証 | 完全なプライマリ認証 | 整数（ヌル） | 単一の連絡先に対してダイヤラーに配信する前に、顧客からの発信認証（通話前認証）を取得するために ID 認証サービスに送信された要求の合計数。<br>リクエストはシステム (フィード エンジン) から開始されます。 |
| RPT_コールアクティビティ | 検証済みプライマリ認証 | 検証済みのプライマリ認証 | 整数（ヌル） | 通話認証(通話前認証)のため送信されたリクエストに対する ID 認証サービスからの顧客応答の合計数。<br>リクエストはシステム (フィード エンジン) から開始されます。 |
| RPT_コールアクティビティ | 合計セカンダリ認証 | 完全な二次認証 | 整数（ヌル） | 通話中に顧客から各 ID の認証を取得するために ID 認証サービスに送信された要求の合計数 (オンコール認証)。<br>リクエストはエージェントから開始されます。 |
| RPT_コールアクティビティ | 検証済みセカンダリ認証 | 検証済みの二次認証 | 整数（ヌル） | 通話中に各 ID に対して送信された各リクエストに対する「ID 認証サービス」からの顧客応答の合計数（オンコール認証）。 リクエストはエージェントから開始されます。 |
| RPT_コールアクティビティ | COMPUTEDDURATIONINM- | 計算された | int | 切り上げ通話 |

| | | | | |
|---|---|---|---|---|
| | S | 期間 INMS | （ヌル） | 設定された脈拍数に基づく持続時間（ミリ秒単位）の値。 請求額の計算に使用されます。 |

エージェントのアクティビティ

| ソーステーブル | 列名 | 表示名 | データタイプ | 説明 | **Platform** |
|---|---|---|---|---|---|
| RPT_AEA-ジェントアクティビティ | AgentID | AgentID | nvarchar（50）（ヌル） | エージェントの名前は、状態が変化するたびにデータベースに記録されます。 | Amazon コネクト |
| RPT_AEA-ジェントアクティビティ | AgentState | エージェントの状態 | Nvarchar (100)（ヌルではない） | エージェントの状態、例えば *準備ができてまたは準備ができていませんなど*、発生する可能性のあるさまざまな状態を表します。 | Amazon コネクト |
| RPT_AEA-ジェントアクティビティ | 活動日 | 活動日 | varchar (30) (ヌル) | アクティビティの日時を表示します。 | Amazon コネクト |
| RPT_AEA-ジェントアクティビティ | 挿入時間 | 挿入時間 | 日時（null） | エージェントの変更状態がデータベースに挿入された日時を表示します。 | Amazon コネクト |

| | | | | | |
|---|---|---|---|---|---|
| RPT_AEA-ジェントアクティビティ | LCM キー | LCM キー | nvarchar（60）（ヌル） | ContactID、ModeID、CampaignKey、ContactRetries、ModeRetries、TimeZoneID で構成されています。 | Amazon コネクト |

| | | | | | |
|---|---|---|---|---|---|
| | | | | および TenantID を区切り文字で区切ります。 | |
| RPT_AEA-ジェントアクティビティ | ブレンディング状態 | ブレンディング状態 | varchar (10) (ヌル) | エージェントのブレンディング状態は、インバウンドかアウトバウンドかによって決まります。 | Amazon コネクト |
| RPT_AEA-ジェントアクティビティ | 開始時間 | 開始時間 | 日時 （null） | アクティビティの開始日時が表示されます。 | Amazon コネクト |
| RPT_AEA-ジェントアクティビティ | 終末 | 終末 | 日時 （null） | アクティビティの完了日時を表示します。 | Amazon コネクト |
| RPT_AEA-ジェントアクティビティ | 期間(秒) - S | 期間(秒) - S | int （ヌル） | アクティビティの継続時間を表示します。 | Amazon コネクト |
| RPT_AEA-ジェントアクティビティ | ISINCALL | ISINCALL | int （ヌルではない） | アクティビティが現在通話中であるかどうかを示します。 | Amazon コネクト |
| RPT_AEA-ジェントアクティビティ | テナント ID | テナント ID | ビッグインテント （ヌル） | テナント ID です。 | Amazon コネクト |
| RPT_AEA-ジェントアクティビティ | サブテナント ID | サブテナント ID | ビッグインテント （ヌル） | サブテナント ID です。 | Amazon コネクト |

## 匿名インバウンド SMS

| ソーステーブル | 列名 | 表示名 | データ タイプ | 説明 |
|---|---|---|---|---|

| | | | | |
|---|---|---|---|---|
| RPT_ITR_IncomingMessageLog | ID | ID | bigint（null ではない） | 受信メッセージの自動生成された一意の識別子。 |
| RPT_ITR_IncomingMessageLog | ソース（Source） | ソース（Source） | nvarchar (20) (ヌル) | SMS メッセージの送信元デバイス (連絡先番号)。 |

| | | | | |
|---|---|---|---|---|
| RPT_ITR_IncomingMessageLog | Destination | Destination | nvarchar (20) (ヌル) | SMS メッセージの宛先デバイス (連絡先番号)。 |
| RPT_ITR_IncomingMessageLog | メッセージ | メッセージ | nvarchar（256）（ヌル） | SMS メッセージの内容。 |
| RPT_ITR_IncomingMessageLog | 入場時間 | 入場時間 | 日時（null） | アプリケーションがこのログエントリを作成した日時。 |
| RPT_ITR_IncomingMessageLog | テナント ID | テナント ID | 整数（ヌル） | 新しいテナントが作成されるときにアプリケーションによって自動生成されるテナント ID。 |
| RPT_ITR_IncomingMessageLog | サブテナント ID | サブテナント ID | 整数（ヌル） | 新しいテナントが作成されるときにアプリケーションによって自動生成されるサブテナント ID。 |

## API アップロードエラー

| ソーステーブル | 列名 | 表示名 | データ タイプ | 説明 |
|---|---|---|---|---|
| RPT_AddContact_エラー | エラー ID | エラー ID | ビッグインテント（ヌル） | このエラーに対して自動生成されたエラー ID。 |
| RPT_AddContact_エラー | メソッド名 | メソッド名 | nvarchar（100）（ヌル） | このエラーの原因となった API メソッド。 |

| | | | | |
|---|---|---|---|---|
| RPT_AddContact_エラー | 結果 | 結果 | nvarchar (16) (ヌル) | API 応答の結果 (失敗または成功)。 |
| RPT_AddContact_エラー | 結果の説明 | 結果の説明 | nvarchar（512）（ヌル） | API レスポンスの説明。 |
| RPT_連絡先の追加_ | ログ日付 | ログ日付 | datetime | 日付と |

| | | | | |
|---|---|---|---|---|
| エラー（Error） | | | （ヌル） | エラーレコードがログに書き込まれた時刻。 |
| RPT_AddContact_エラー | キャンペーン ID | キャンペーン ID | nvarchar（64）（ヌル） | このエラーを報告したキャンペーン ID。 |
| RPT_AddContact_エラー | コールタイプ | コールタイプ | varchar (8) (ヌル) | 通話の種類を説明します。値は次のいずれかになります。<br>0 – 通常の通話<br>1 – コールバックコール 2 – AEM コール |
| RPT_AddContact_エラー | 通話開始日時 | 通話開始日時 | nvarchar（32）（ヌル） | アップロード時に定義された連絡先の通話開始時刻。 |
| RPT_AddContact_エラー | 通話終了日時 | 通話終了日時 | nvarchar（32）（ヌル） | 通話が終了した日時。 |
| RPT_AddContact_エラー | ビジネスフィールド XML | ビジネスフィールド XML | nvarchar (2000) (ヌル) | パラメータ内の XML データ。これにはビジネス フィールドが含まれます。 |
| RPT_AddContact_エラー | Priority | Priority | varchar (8) (ヌル) | ダイヤラーに配信される連絡先の優先度 |

| | | | | |
|---|---|---|---|---|
| RPT_AddContact_ エラー | モード XML | モード XML | nvarchar (2000) (ヌル) | 携帯電話、Home 電話、職場の電話などの通話モードを含む XML データ。 |
| RPT_AddContact_ エラー | ユーザー ID | ユーザー ID | nvarchar（32）（ヌル） | API を使用するエンティティのユーザ ID。 |
| RPT_連絡先の追加_ | SMS データ | SMS データ | nvarchar | メッセージ |

| | | | | |
|---|---|---|---|---|
| エラー（Error） | | | （128）（ヌル） | SMS 経由で送信されるテキスト。 |
| RPT_AddContact_エラー | メール件名 | メール件名 | nvarchar（128）（ヌル） | 電子メール キャンペーンの一環としてメッセージが送信されるときの電子メールの件名。 |
| RPT_AddContact_エラー | メールメッセージ | メールメッセージ | nvarchar（128）（ヌル） | 電子メール メッセージの内容。 |
| RPT_AddContact_エラー | メール添付ファイル | メール添付ファイル | nvarchar（128）（ヌル） | 電子メール メッセージの一部である添付ファイル (ファイル名)。 |
| RPT_AddContact_エラー | 郵便番号 | 郵便番号 | nvarchar（32）（ヌル） | 連絡先の郵便番号。 |
| RPT_AddContact_エラー | 連絡先 | 連絡先 | nvarchar (2000) (ヌル) | この列にはダイヤラーに送信される XML データ形式の連絡先情報が含まれます。 たとえば、名、姓、連絡先番号などです。 |
| RPT_AddContact_エラー | リスト ID | リスト ID | nvarchar（50）（ヌル） | 連絡先が属するリスト ID。 |

| | | | | |
|---|---|---|---|---|
| RPT_AddContact_エラー | ロックコンタクト | ロックコンタクト | ビット（ヌル） | これは、連絡先の配信をロックする必要があるかどうかを示します。 連絡先がロックされている場合は 1、ロックされていない場合は 0 になります。 |
| RPT_AddContact_エラー | 重複除去バスフィールド | 重複除去バスフィールド | nvarchar（32）（ヌル） | 重複排除事業分野 |
| RPT_AddContact_エラー | 無視する閉じる連絡先 | 無視する閉じる連絡先 | 少し | アプリケーションが |

| | | | | |
|---|---|---|---|---|
| | | | （ヌル） | 閉じた接触を無視します。 |
| RPT_AddContact_エラー | エラーの説明 | エラーの説明 | varchar（512）（ヌル） | API 応答エラーの説明。 |
| RPT_AddContact_エラー | 連絡先 ID | 連絡先 ID | nvarchar (16) (ヌル) | この連絡先に対して生成された連絡先 ID。 |
| RPT_AddContact_エラー | エラー XML | エラー XML | nvarchar (1024) (ヌル) | エラーの詳細を含む XML のファイル名。 |
| RPT_AddContact_エラー | リードスコア | リードスコア | nvarchar (16) (ヌル) | この連絡先のリード スコア。 |
| RPT_AddContact_エラー | テナント ID | テナント ID | 整数（ヌル） | 新しいテナントが作成されるときにアプリケーションによって自動生成されるテナント ID。 |
| RPT_AddContact_エラー | サブテナント ID | サブテナント ID | 整数（ヌル） | 新しいテナントが作成されるときにアプリケーションによって自動生成されるサブテナント ID。 |

## 監査ログ

| ソーステーブル | 列名 | 表示名 | データ タイプ | 説明 |
|---|---|---|---|---|
| RPT_監査ログ | ID | ID | int（ヌルではない） | ログ エントリの自動生成された一意の識別子。 |

| | | | | |
|---|---|---|---|---|
| RPT_ユーザ | ユーザー ID | ユーザー ID | nvarchar（100）（ヌル） | アクティビティを実行したユーザ ID (ユーザの名前)。 |
| RPT_監査ログ | モジュール | モジュール | nvarchar（64）（ヌル） | アプリケーションモジュールまたはコンポーネント |

| | | | | |
|---|---|---|---|---|
| | | | | このアクティビティが実行されます。 たとえば、キャンペーン、グローバルアップローダーなどです。 |
| RPT_監査ログ | 操作 | 操作 | nvarchar（64）（ヌル） | ユーザが実行した操作。 たとえば、作成、更新、削除などです。 |
| RPT_監査ログ | データ | データ | nvarchar (最大) (null) | 開始されたアクティビティに対してユーザが要求したデータ。 |
| RPT_監査ログ | 作成日 | 作成日 | 日時（null） | アプリケーションがこのログエントリを作成した日時。 |
| RPT_監査ログ | テナント ID | テナント ID | 整数（ヌル） | 新しいテナントが作成されるときにアプリケーションによって自動生成されるテナント ID。 |
| RPT_監査ログ | サブテナント ID | サブテナント ID | 整数（ヌル） | 新しいテナントが作成されるときにアプリケーションによって自動生成されるサブテナント ID。 |

## 監査証跡

| ソーステーブル | 列名 | 表示名 | データ タイプ | 説明 |
|---|---|---|---|---|

| | | | | |
|---|---|---|---|---|
| RPT_監査証跡 | ID | ID | ビッグインテント<br>（ヌルではない） | ログ エントリの自動生成された一意の識別子。 |
| RPT_ユーザ | ユーザー ID | ユーザー ID | nvarchar<br>（100）（ヌル） | ユーザ ID（ユーザ名） |

| | | | | |
|---|---|---|---|---|
| | | | | 活動を実行しました。 |
| RPT_監査証跡 | 操作 | 操作 | nvarchar（50）（ヌル） | ユーザが実行した操作。 たとえば、作成、更新、削除などです。 |
| RPT_監査証跡 | データ | データ | varbinary (max) (null) | 開始されたアクティビティに対してユーザが要求したデータ。 |
| RPT_監査証跡 | 作成日 | 作成日 | 日時（null ではない） | アプリケーションがこのログエントリを作成した日時。 |
| RPT_監査証跡 | ページ名 | ページ名 | varchar（50）（ヌル） | このアクティビティが実行されるアプリケーション ページまたはコンポーネント。 たとえば、キャンペーン、グローバル アップローダーなどです。 |
| RPT_監査証跡 | エンタープライズ ID | エンタープライズ ID | int（ヌルではない） | エンタープライズの一意の識別子。 |
| RPT_監査証跡 | アクティブ | アクティブ | 少し（ヌルではない） | アクティブエントリを示し、デフォルトは 1 に設定されています |

| | | | | |
|---|---|---|---|---|
| RPT_監査証跡 | 削除済み | 削除済み | 少し（ヌルではない） | エントリがソフト削除され、デフォルトが 0 に設定されていることを示します。 |
| RPT_監査証跡 | テナント ID | テナント ID | 整数（ヌル） | 新しいテナントが作成されるときにアプリケーションによって自動生成されるテナント ID。 |

| | | | | |
|---|---|---|---|---|
| RPT_監査証跡 | サブテナント ID | サブテナント ID | 整数（ヌル） | 新しいテナントが作成されるときにアプリケーションによって自動生成されるサブテナント ID。 |

## SMS 配送状況

| ソーステーブル | 列名 | 表示名 | データタイプ | 説明 |
|---|---|---|---|---|
| RPT_ITR_配送状況 | ソース（Source） | ソース（Source） | Nvarchar (36)（ヌル） | SMS ソースのデバイス番号 (連絡先番号)。 |
| RPT_ITR_配送状況 | Destination | Destination | Nvarchar (36)（ヌル） | SMS 宛先のデバイス番号 (連絡先番号)。 |
| RPT_ITR_配送状況 | メッセージ | メッセージ | nvarchar（最大）（ヌル） | SMS テキスト メッセージの内容。 |
| RPT_ITR_配送状況 | 配送状況 | 配送状況 | Nvarchar (50)（ヌル） | SMS メッセージの配信ステータス。たとえば、成功、失敗などです。 |
| RPT_ITR_配送状況 | ゲートウェイメッセージ ID | ゲートウェイメッセージ ID | nvarchar (100)（ヌル） | これはゲートウェイ メッセージ ID です。 |
| RPT_ITR_配送状況 | 実際の応答 | 実際の応答 | nvarchar（最大）（ヌル） | これが応答です。 |

| | | | | |
|---|---|---|---|---|
| RPT_ITR_<br>配送状況 | エントリー日時 | エントリー日時 | datetime<br>（ヌルではない） | 記録された日時 |

| | | | | |
|---|---|---|---|---|
| | | | | テーブルに作成されます。 |
| RPT_ITR_配送状況 | キャンペーン ID | キャンペーン ID | nvarchar (64)（ヌル） | SMS の送信元キャンペーン ID。 |
| RPT_ITR_配送状況 | 連絡先 ID | 連絡先 ID | 整数（ヌル） | SMS が送信される一意の連絡先 ID。 |
| RPT_ITR_配送状況 | プロバイダータイプ | プロバイダータイプ | nvarchar (128)（ヌル） | SMS は SMPP などのタイプを提供します。 |
| RPT_ITR_配送状況 | 配送状況更新日時 | 配送状況更新日時 | 日時（null） | このレコードの配送ステータスが更新された日時。 |
| RPT_ITR_配送状況 | [ErrorCode] | [ErrorCode] | nvarchar (10)（ヌル） | これはエラーコードです。 |
| RPT_ITR_配送状況 | テナント ID | テナント ID | 整数（ヌル） | 新しいテナントが作成されるときにアプリケーションによって自動生成されるテナント ID。 |
| RPT_ITR_配送状況 | サブテナント ID | サブテナント ID | 整数（ヌル） | 新しいテナントが作成されるときにアプリケーションによって自動 |

| | | | | |
|---|---|---|---|---|
| | | | | 生成されるサブテナント ID。 |

## SMS インバウンドセッション

| ソーステーブル | 列名 | 表示名 | データ タイプ | 説明 |
|---|---|---|---|---|

| | | | | |
|---|---|---|---|---|
| RPT_ITR_セッション詳細 | ID | ID | nvarchar（36）（ヌル） | 受信メッセージに対して自動生成された一意の識別子。 |
| RPT_ITR_セッション詳細 | テキスト | テキスト | nvarchar（最大）（ヌル） | SMS 経由で送信されたメッセージのテキスト。 |
| RPT_ITR_セッション詳細 | 送信済み | 送信済み | 少し（ヌルではない） | メッセージが連絡先に送信されたかどうかを示します。 |
| RPT_ITR_セッション詳細 | 日付 | 日付 | datetime（ヌルではない） | SMS メッセージが送信された日付。 |
| RPT_ITR_セッション詳細 | [役職（Title）] | [役職（Title）] | varchar（100）（ヌル） | SMS メッセージの件名 |
| RPT_ITR_セッション詳細 | 応答 | 応答 | nvarchar (最大) (null) | メッセージの受信者から受信した応答。 |
| RPT_ITR_セッション詳細 | シーケンス ID | シーケンス ID | 整数（ヌル） | アプリケーションによって受信されたメッセージの自動生成された ID。 |
| RPT_ITR_セッション詳細 | ゲートウェイメッセージ ID | ゲートウェイメッセージ ID | nvarchar（128）（ヌル） | このメッセージに対して SMS ゲートウェイによって生成された ID |
| RPT_ITR_セッション詳細 | AccountNumber | AccountNumber | nvarchar（256）（ヌル） | アカウント番号（LCMKey / CAID）連絡先の。 |

| | | | | |
|---|---|---|---|---|
| RPT_ITR_セッション詳細 | キャンペーン ID | キャンペーン ID | nvarchar（128）（ヌル） | インバウンド SMS を受信するキャンペーン ID。 |
| RPT_ITR_セッション詳細 | 参照ゲートウェイメッセージ ID | 参照ゲートウェイメッセージ ID | nvarchar（100）（ヌル） | SMS ゲートウェイによって生成されたメッセージ ID。 |

| | | | | |
|---|---|---|---|---|
| RPT_ITR_セッション詳細 | 連絡先 ID | 連絡先 ID | 整数（ヌル） | 受信メッセージの送信元となる一意の連絡先 ID。 |
| RPT_ITR_セッション詳細 | テナント ID | テナント ID | 整数（ヌル） | 新しいテナントが作成されるときにアプリケーションによって自動生成されるテナント ID。 |
| RPT_ITR_セッション詳細 | サブテナント ID | サブテナント ID | 整数（ヌル） | 新しいテナントが作成されるときにアプリケーションによって自動生成されるサブテナント ID。 |

### SMS アウトバウンドセッション

| ソーステーブル | 列名 | 表示名 | データ タイプ | 説明 |
|---|---|---|---|---|
| RPT_ITR_セッション | ソース（Source） | ソース（Source） | nvarchar（36）（ヌル） | 発信 SMS メッセージのソース連絡先 (短縮コード)。 |
| RPT_ITR_セッション | Destination | Destination | nvarchar（36）（ヌル） | 送信 SMS メッセージの宛先連絡先番号。 |

| | | | | |
|---|---|---|---|---|
| RPT_ITR_セッション | 結果 | 結果 | nvarchar (20) (ヌル) | SMS コンタクトの結果セット。 結果は、スクリプト デザイナー、SMS サービス プロバイダーの配信ステータス、または受信者からの返信を待つことによって設定できます。 |

| | | | | |
|---|---|---|---|---|
| RPT_ITR_セッション | タイムアウト | タイムアウト | ビット（ヌル） | これは、SMS メッセージが送信前にタイムアウトしたか、正常に送信されたかを示します。 |
| RPT_ITR_セッション | 日付 | 日付 | 日時（null ではない） | メッセージが送信された日時。 |
| RPT_ITR_セッション | ID | ID | nvarchar (36) (ヌルではない) | 送信メッセージに対して自動生成された一意の識別子。 |
| RPT_ITR_セッション | AccountNumber | AccountNumber | nvarchar（64）（ヌルではない） | アカウント番号（LCMKey / CAID）連絡先の。 |
| RPT_ITR_セッション | エラー（Error） | エラー（Error） | varchar（100）（ヌル） | これは、アプリケーションのスクリプトデザイナー機能による呼び出しガイドに関連しています。 |
| RPT_ITR_セッション | フォーム ID | フォーム ID | 整数（ヌル） | 送信 SMS メッセージの送信元のフォーム ID。 |

| | | | | |
|---|---|---|---|---|
| RPT_ITR_セッション | 結果タイプ | 結果タイプ | varchar (20) (ヌル) | 結果の種類。結果セットが構成どおりに成功または失敗に属するかどうか。 |
| RPT_ITR_セッション | 更新日 | 更新日 | 日時（null） | このエントリが最後に更新された日時。 |
| RPT_ITR_セッション | エージェント ID | エージェント ID | nvarchar（64）（ヌル） | このインタラクションを処理するエージェントのエージェント ID。 |

| | | | | |
|---|---|---|---|---|
| RPT_ITR_セッション | 状態 | 状態 | nvarchar（32）（ヌル） | 送信 SMS メッセージのステータス (送信済み、処理中、失敗など)。 |
| RPT_ITR_セッション | コミット者 | コミット者 | nvarchar（32）（ヌル） | これをデータベースにコミットしたユーザのユーザ詳細。 |
| RPT_ITR_セッション | キャンペーン ID | キャンペーン ID | nvarchar (ヌル) | インバウンド SMS を受信するキャンペーン ID。 |
| RPT_ITR_セッション | 連絡先 ID | 連絡先 ID | 整数（ヌル） | 受信メッセージの送信元となる一意の連絡先 ID。 |
| RPT_ITR_セッション | テナント ID | テナント ID | 整数（ヌル） | 新しいテナントが作成されるときにアプリケーションによって自動生成されるテナント ID。 |
| RPT_ITR_セッション | サブテナント ID | サブテナント ID | 整数（ヌル） | 新しいテナントが作成されるときにアプリケーションによって自動生成されるサブテナント ID。 |

## アップロードエラー

| ソーステーブ | 列名 | 表示名 | データ タイプ | 説明 |
|---|---|---|---|---|

| | | | | |
|---|---|---|---|---|
| ル | | | | |
| RPT_エラー | エラー ID | エラー ID | ビッグインテント<br>（ヌル） | このエラーに対して自動生成されたエラー ID。 |
| RPT_エラー | エラータイプ | エラータイプ | nvarchar<br>（32）（ヌル） | アプリケーションによってスローされるエラーの種類。 以下の値は、 |

| | | | | |
|---|---|---|---|---|
| | | | | プレイした:<br>- 不良<br>- 無効<br>- 不一致<br>- 市外局番<br>- Priority<br>- 接触の瞬間<br>- BussFldValidation<br>- タイム ゾーン<br>- 無効な状態<br>- 民主党全国大会<br>- NDNC<br>- 重複<br>- 郵便番号（Zip Code）<br>- 連絡に失敗しました<br>- 訴訟<br>- BTTC に失敗<br>- コンプライアンス DNC スクラブ<br>- 悪い CPT<br>- 悪い PEWC |
| RPT_エラー | 説明 | 説明 | nvarchar（255）（ヌル） | エラーの説明。 |
| RPT_エラー | エラー時間 | エラー時間 | datetime（ヌル） | アプリケーションによってエラーが報告された日時。 |
| RPT_エラー | エラーレコード | エラーレコード | text（ヌル） | エラー レコード – ログにあるエラーの詳細。 |

| | | | | |
|---|---|---|---|---|
| RPT_エラー | アップローダータイプ | アップローダータイプ | char<br>(1) (ヌル) | このエラーを報告したアップローダー – 連絡先、グローバル、スクラブ、コンプライアンスなどがアップローダーの種類です。 次の値が表示されます。<br>• U - 自動アップロード |

| | | | | |
|---|---|---|---|---|
| | | | | • W - ウェブサービス経由でアップロード |
| RPT_エラー | キャンペーン ID | キャンペーン ID | nvarchar（64）（ヌル） | このエラーを報告したキャンペーン ID。 |
| RPT_エラー | リスト ID | リスト ID | int（ヌル） | エラーが関係するリスト ID。 |
| RPT_エラー | ファイル ID | ファイル ID | int（ヌル） | このエラーが関係するファイル ID (ファイル経由でアップロードする場合)。 |
| RPT_エラー | ファイル名 | ファイル名 | nvarchar（1000）（ヌル） | このエラーの原因となったアップロード ファイルのファイル名。 |
| RPT_エラー | 予約フィールド 1 | 予約フィールド 1 | nvarchar（128）（ヌル） | 将来使用するために。 |
| RPT_エラー | 予約フィールド 2 | 予約フィールド 2 | nvarchar（128）（ヌル） | 将来使用するために。 |
| RPT_エラー | 予約フィールド 3 | 予約フィールド 3 | nvarchar（128）（ヌル） | 将来使用するために。 |
| RPT_エラー | 予約フィールド 4 | 予約フィールド 4 | nvarchar（128）（ヌル） | 将来使用するために。 |
| RPT_エラー | 予約フィールド 5 | 予約フィールド 5 | nvarchar（128）（ヌル） | 将来使用するために。 |
| RPT_エラー | テナント ID | テナント ID | 整数（ヌル） | 新しいテナントが作成されるときにアプリケーションによって自動生成されるテナント ID。 |
| RPT_エラー | サブテナント ID | サブテナント ID | 整数（ヌ | 新しいテナントが作成されるときにアプリケーションによって自動生成されるサ |

| | | | | |
|---|---|---|---|---|
| | | | ル) | ブテナント ID。 |

エラーコードの詳細

| エラーの種類 | 説明 | 連絡先はアップロード/ブロックされていますか? |
|---|---|---|
| 不良 | 無効な番号 | 他のモードが有効な場合はアップロードが許可されます。 |

| | | |
|---|---|---|
| 無効 | 無効なメールアドレス | 他のモードが有効な場合はアップロードが許可されます。 |
| 不一致 | ヘッダーの不一致 | [ブロック(Blocked)] |
| 市外局番 | 市外局番ではタイムゾーンが利用できません | アップロードが許可された連絡先。 |
| Priority | 無効な優先度 | [ブロック(Blocked)] |
| 接触の瞬間 | 日付と時刻の形式が無効です | [ブロック(Blocked)] |
| BussFldValidation | ビジネスフィールドの検証に失敗しました | [ブロック(Blocked)] |
| タイム ゾーン | タイムゾーンが無効 | [ブロック(Blocked)] |
| 無効な状態 | 州名が無効です | [ブロック(Blocked)] |
| 民主党全国大会 | ビジネス分野が DNC としてマークされています | [ブロック(Blocked)] |
| 民主党全国大会 | DNC としてマークされた連絡先 | [ブロック(Blocked)] |
| 民主党全国大会 | DNC としてマークされたモード | モードがブロックされました |
| NDNC | NDNC としてマークされた連絡先 | [ブロック(Blocked)] |
| NDNC | NDNC としてマークされたモード | モードがブロックされました |
| 重複 | ファイルに重複があります | [ブロック(Blocked)] |
| タイム ゾーン | 郵便番号とタイムゾーンが無効です | [ブロック(Blocked)] |
| 連絡に失敗しました | すべてのモードが無効の場合 | [ブロック(Blocked)] |
| 市外局番 | 無効な市外局番 | 他のモードが有効な場合はアップロードが許可されます。 |
| 市外局番 | 市外局番が無効のため連絡に失敗しました | [ブロック(Blocked)] |
| モード失敗 | 市外局番と番号が無効のため連絡に失敗しました | [ブロック(Blocked)] |
| 無効なメール CC | 無効なメール CC | 他のメール アドレスが有効であれば、連絡先のアップロードが許可されます。 |
| 無効なメール BCC | 無効なメール BCC | 他のメール アドレスが有効であれば、連絡先のアップロードが許可されます。 |
| リードスコア | 無効なリードスコア | [ブロック(Blocked)] |
| 郵便番号（Zip Code） | 郵便番号が無効または欠落しているため、連絡に失敗しました。 | [ブロック(Blocked)] |
| 訴訟 | 訴訟関連の制限またはコンプライアンスの問題により、連絡先にフラグが付けら | [ブロック(Blocked)] |

| | | |
|---|---|---|
| | れました。 | |
| BTTC に失敗 | BTTC 検証中に接続に失敗しました。 | [ブロック(Blocked)] |
| コンプライアンス DNC スクラブ | 連絡先は Do Not Call (DNC) スクラブのコンプライアンス チェックに失敗しました。 | [ブロック(Blocked)] |
| 悪い CPT | 無効な CPT のため接続に失敗しました | [ブロック(Blocked)] |

| | | |
|---|---|---|
| 悪い PEWC | PEWC の不良により接続に失敗しました | [ブロック(Blocked)] |

**注記**: エラー レコードは、アーカイブおよびパージ プロセスによって削除されます。 保持期間は設定可能です。

## アップロード履歴

| ソーステーブル | 列名 | 表示名 | データタイプ | 説明 |
|---|---|---|---|---|
| RPT_AE_キャンペーングループ | キャンペーングループ | キャンペーングループ | nvarcha - r (64)（ヌル） | 連絡先がアップロードされるキャンペーン グループの名前。 |
| RPT_AE_キャンペーン | キャンペーン ID | キャンペーン ID | int（64）（ヌルではない） | アップロードされた連絡先のキャンペーン ID。 |
| RPT_AE_リスト情報 | リスト開始日 | リスト開始日 | 日付時刻（ヌル） | リストの開始日 |
| OBD_HD_アップロード履歴 | 子リスト ID | 子リスト ID | 整数（ヌル） | アップロード時にアプリケーションによって生成された子リスト ID。 |
| OBD_HD_アップロード履歴 | 連絡先のアップロードに失敗しました | 連絡先のアップロードに失敗しました | 整数（ヌル） | アップロードに失敗した連絡先の数。 |

| | | | | |
|---|---|---|---|---|
| OBD_HD_アップロード履歴 | 連絡先 - sBlockedINCorporateDNC | 連絡先 - sBlockedINCorporateDNC | 整数（ヌル） | 企業 DNC によりブロックされた連絡先の数。 |
| OBD_HD_アップロード履歴 | 連絡先ブロック INNDNC | 連絡先ブロック INNDNC | int（ヌル） | ブロックされた連絡先の数 |

| | | | | |
|---|---|---|---|---|
| | | | | 企業 NDNC のアカウント。 |
| OBD_HD_アップロード履歴 | 連絡先アップロード済み | 連絡先アップロード済み | int（ヌル） | アップロードされた連絡先の数。 |
| OBD_HD_アップロード履歴 | 重複した連絡先 | 重複した連絡先 | int（ヌル） | 重複する連絡先の数。 |
| OBD_HD_アップロード履歴 | リスト | リスト | **int**（ヌル） | 生成されたリスト ID アプリケーションによって。 |
| OBD_HD_アップロード履歴 | アップロードに失敗しました | アップロードに失敗しました | 整数（ヌル） | モード障害のためアップロードに失敗した連絡先の数。 |
| OBD_HD_アップロード履歴 | モード B - ロックされた INCorateDNC | モード B - ロックされた INCorateDNC | nvarcha - r（ヌル） | 企業 DNC によりブロックされた連絡先の数。 |
| OBD_HD_アップロード履歴 | モードブロック INNDNC | モードブロック INNDNC | nvarcha - r（ヌル） | 企業 DNC によりブロックされた連絡先の数。 |
| OBD_HD_アップロード履歴 | レポート時間 | レポート時間 | 日付時刻（ヌル） | レポートが生成された日時。 |

| | | | | |
|---|---|---|---|---|
| OBD_HD_アップロード履歴 | サブテナント ID | サブテナント ID | 整数（ヌル） | サブテナント ID が自動生成されました アプリケーションによって 新しい 10 |

| | | | | |
|---|---|---|---|---|
| | | | | アリが作成されます。 |
| OBD_HD_アップロード履歴 | テナント ID | テナント ID | 整数（ヌル） | 新しいテナントが作成されるときにアプリケーションによって自動生成されるテナント ID。 |
| OBD_HD_アップロード履歴 | 処理された連絡先の合計数 | 処理された連絡先の合計数 | 整数（ヌル） | アップロードファイルから処理された連絡先の総数 |
| OBD_HD_アップロード履歴 | アップロードサブタイプ | アップロードサブタイプ | nvarcha - r (1) (ヌル) | アップロードのサブタイプ。値は、新しいファイルの場合は N、既存のファイルの更新の場合は U、別のファイルのコピーの場合は C です。 |
| OBD_HD_アップロード履歴 | アップロード時間 | アップロード時間 | 日付時刻（ヌル） | アップロードの日時。 |

| | | | | |
|---|---|---|---|---|
| OBD_HD_アップロード履歴 | アップロードタイプ | アップロードタイプ | nvarcha - r (12) (ヌルではない) | アップロードタイプ（JSON、API など）（以下、同様） |
| OBD_HD_アップロード履歴 | モード B - コンプライアンス違反 DNC | モード B - コンプライアンス違反 DNC | 整数（ヌル） | Do Not Call (DNC)規制に準拠しているためブロックされたモードを示します。 |

| | | | | |
|---|---|---|---|---|
| | | | | ulations。 |
| OBD_HD_アップロード履歴 | 連絡先 B- コンプライアンス違反 DNC | 連絡先 B- コンプライアンス違反 DNC | 整数（ヌル） | DNC コンプライアンスによりブロックされた連絡先の数。 |
| OBD_HD_アップロード履歴 | モード B - コンプライアンス訴訟にロック | モード B - コンプライアンス訴訟にロック | 整数（ヌル） | 準拠によりブロックされたモードを示します訴訟規制。 |
| OBD_HD_アップロード履歴 | 連絡先 B- コンプライアンス違反訴訟 | 連絡先 B- コンプライアンス違反訴訟 | 整数（ヌル） | 訴訟コンプライアンスのためにブロックされた連絡先の数。 |
| OBD_HD_アップロード履歴 | src 詳細 | src 詳細 | nvarcha - r (512)（ヌル） | アップロードに関するソースの詳細または追加情報。 |
| OBD_HD_アップロード履歴 | アップロード時間 | アップロード時間 | 時刻 (7) (ヌル) | アップロードされたコンテンツに関連する期間。 |
| OBD_HD_アップロード履歴 | 更新されたリスト ID | 更新されたリスト ID | 整数（ヌル） | アップロードに関連付けられた更新されたリストの ID。 |
| OBD_HD_アップロード履歴 | 更新された連絡先 | 更新された連絡先 | 整数（ヌ | アップロードの一環として更新された連絡先 |

| | | | | |
|---|---|---|---|---|
| | | | ル) | の数。 |
| OBD_HD_アップロード履歴 | プロフィール名 | プロフィール名 | nvarcha - r (512) | 関連付けられているプロファイルの名前 |

| | | | | |
|---|---|---|---|---|
| | | | （ヌル） | アップロードとともに。 |

## スクラブリスト情報

| ソーステーブル | 列名 | 表示名 | データ タイプ | 説明 |
|---|---|---|---|---|
| RPT_AE_ SCrubListInfo | スクラブリスト ID | スクラブリスト ID | 整数（ヌル） | リストがアップロード用に配置されるときにアプリケーションによって自動生成されるスクラブ リスト ID。 |
| RPT_AE_ SCrubListInfo | キャンペーン ID | キャンペーン名 | nvarchar（64）（ヌル） | このリストがアップロードされるキャンペーン名。 |
| RPT_AE_ SCrubListInfo | ソース詳細 | ソース詳細 | nvarchar（512）（ヌル） | 拡張子付きのアップロードファイル名。 |
| RPT_AE_ SCrubListInfo | ソースタイプ | ソースタイプ | nvarchar (8) (ヌル) | ファイル ソースの種類。 値は、Web の場合は W、メディアの場合は M、ファイルの場合は F、リストの場合は L です。 |
| RPT_AE_ SCrubListInfo | 処理時間 | 処理時間 | 日時（null） | 連絡先ファイルが処理対象として取得された日時。 |
| RPT_AE_ SCrubListInfo | スクラブの詳細 | スクラブの詳細 | nvarchar（4000）（ヌル） | アップロードスクラブファイル名（拡張子付き） |

| | | | | |
|---|---|---|---|---|
| RPT_AE_ SCrubListInfo | スクラブステータス | スクラブステータス | 整数（ヌル） | 成功、失敗、処理中などのスクラブ ステータス。 |
| RPT_AE_ SCrubListInfo | テナント ID | テナント ID | int（ヌル） | アプリケーションによって自動生成されたテナント ID |

| | | | | |
|---|---|---|---|---|
| | | | | 新しいテナントが作成されたときの通知。 |
| RPT_AE_SCrubListInfo | サブテナント ID | サブテナント ID | 整数（ヌル） | 新しいテナントが作成されるときにアプリケーションによって自動生成されるサブテナント ID。 |

## 非通話アクティビティ

| ソーステーブル | 列名 | 表示名 | データ タイプ | 説明 |
|---|---|---|---|---|
| RPT_非通話アクティビティ | ID | ID | ビッグインテント（ヌルではない） | このテーブル内の各エントリに対して自動生成された ID。 |
| RPT_非通話アクティビティ | キャンペーン ID | キャンペーン ID | nvarchar（64）（ヌル） | この非通話アクティビティのキャンペーン ID。 |
| RPT_非通話アクティビティ | 連絡先 ID | 連絡先 ID | int（ヌル） | この非通話アクティビティの連絡先 ID。 |
| RPT_非通話アクティビティ | モード ID | モード ID | int（ヌル） | この非呼び出しアクティビティが発生したモード ID。 |
| RPT_AE_モード | モード名 | モード名 | nvarchar (50) (ヌルではない) | この非呼び出しアクティビティのモード名。 |
| RPT_非通話アクティビティ | リスト ID | リスト ID | int（ヌル） | 連絡先が属するリスト ID。 |

| | | | | |
|---|---|---|---|---|
| RPT_非通話アクティビティ | 連絡先バージョン | 連絡先バージョン | 整数（ヌル） | 非通話アクティビティ時のこの連絡先の連絡先バージョン。 連絡先ステータスが変更された回数を示します。 |
| RPT_非通話アクティビティ | Bussfld26 | Bussfld26 | nvarchar（128）（ヌル） | ビジネス分野 26 - ユニークなビジネスの説明 |

| | | | | |
|---|---|---|---|---|
| | | | | 分野。 |
| RPT_非通話アクティビティ | Bussfld27 | Bussfld27 | nvarchar（128）（ヌル） | ビジネス分野 27（追加ビジネス分野）の説明。 |
| RPT_非通話アクティビティ | Bussfld28 | Bussfld28 | nvarchar（128）（ヌル） | ビジネス分野 28（追加ビジネス分野）の説明。 |
| RPT_非通話アクティビティ | Bussfld29 | Bussfld29 | nvarchar（128）（ヌル） | ビジネス分野 29（追加ビジネス分野）の説明。 |
| RPT_非通話アクティビティ | Bussfld30 | Bussfld30 | nvarchar（128）（ヌル） | ビジネス フィールド 30 (追加ビジネス フィールド) の説明。 |
| RPT_非通話アクティビティ | Status（ステータス） | Status（ステータス） | varchar (6) (ヌル) | 変更ごとの各連絡先の連絡先ステータス。 |
| RPT_非通話アクティビティ | ステータス理由 ID | ステータス理由 ID | int（ヌル） | 連絡先ステータスの変更に対して自動生成された ID。 |
| RPT_AE_連絡先ステータス理由 | ステータス理由 | ステータス理由 | nvarchar（128）（ヌル） | これが連絡先ステータスの変更の理由です。 たとえば、連絡先のステータスが「ロック」になっている場合があります。アプリケーションは、PCB、CSS、または AEM を作成するためにこの連絡先を配信用にロックします。電話。 |
| RPT_非通話アクティビティ | 有効モード | 有効モード | nvarchar（256）（ヌル） | この非呼び出しアクティビティの有効なモード。 |

| | | | | |
|---|---|---|---|---|
| RPT_非通話アクティビティ | 作成日時 | 作成日時 | datetime<br>（ヌル） | このエントリがテーブルに作成された日時。 |
| RPT_非通話アクティビティ | テナント ID | テナント ID | int<br>（ヌル） | テナント ID は、 |

| | | | | |
|---|---|---|---|---|
| | | | | 新しいテナントが作成された場合にアプリケーションを実行します。 |
| RPT_非通話アクティビティ | サブテナント ID | サブテナント ID | 整数（ヌル） | 新しいテナントが作成された場合にアプリケーションによって自動生成されるサブテナント ID。 |
| RPT_非通話アクティビティ | ルール名 | ルール名 | nvarchar（128）（ヌル） | 連絡先の配信がブロックされたコンプライアンス グループ内のルールの名前。 |
| RPT_非通話アクティビティ | コンプライアンス グループ | コンプライアンス グループ | nvarchar（128）（ヌル） | 連絡先の配信がブロックされたコンプライアンス グループの名前。 |

| | | | | |
|---|---|---|---|---|
| RPT_非通話アクティビティ | 説明 | 説明 | nvarchar<br>（128）<br>（ヌル） | ブロックされた連絡先のエラー メッセージや失敗メッセージ、または理由を定義します。以下はエラーまたは失敗メッセージの一覧です。<br>• StateLaw モード レベルのタイミング チェックに失敗しました。 ルール名をキャプチャできません。<br>• StateLaw モードが無効です。 ルール名をキャプチャできません。<br>• キャプテン DayOfWeek が失敗しました - 再スケジュールしてください。 ルール名は |

| | | | | |
|---|---|---|---|---|
| | | | | 捕らえられる。<br>- CPT 時間失敗 - 再スケジュール。ルール名をキャプチャできません。<br>- 拡張グリーンゾーンタイムゾーンランタイム検証に失敗しました。ルール名をキャプチャできません。<br>- 強化されたグリーンゾーンタイムゾーン検証失敗した。ルール名をキャプチャできません。<br>- 強化されたグリーンゾーン州法の休日が失敗しました。ルール名をキャプチャできません。<br>- 拡張グリーンゾーン州 |

| | | | | |
|---|---|---|---|---|
| | | | | 法の時間検証に失敗しました。 ルール名をキャプチャできません。<br>- ルール失敗 - 濃厚接触。ルール名をキャプチャできます。 |

| | | | | |
|---|---|---|---|---|
| | | | | • ルールが失敗しました - スケジュールを変更してください。 ルール名をキャプチャできます。<br>• ルールが失敗しました - 自動的に再スケジュールされます。 ルール名をキャプチャできます。<br>• すでにレコードが配信されており、結果を待っています。 ルール名をキャプチャできます。 |

## ビジネスデータへのお問い合わせ

| ソーステーブル | 列名 | 表示名 | データ タイプ | 説明 |
|---|---|---|---|---|
| RPT_Contact_BusinessData | ID | ID | bigint（null ではない） | このテーブル内のエントリの自動生成された ID。 |

| | | | | |
|---|---|---|---|---|
| RPT_Contact_BusinessData | キャンペーン ID | キャンペーン ID | nvarchar（64）（ヌル） | この非通話アクティビティのキャンペーン ID。 |
| RPT_Contact_BusinessData | 連絡先 ID | 連絡先 ID | int（ヌル） | この非通話アクティビティの連絡先 ID。 |
| RPT_Contact_BusinessData | リスト ID | リスト ID | int（ヌル） | 連絡先が属するリスト ID。 |
| RPT_Contact_BusinessData | 連絡先バージョン | 連絡先バージョン | 整数（ヌル） | 非通話アクティビティ時のこの連絡先の連絡先バージョン。これは、接続の回数を示します。 |

| | | | | |
|---|---|---|---|---|
| | | | | タクトステータスが修正されました。 |
| RPT_Contact_BusinessData | Bussfld1 | Bussfld1 | nvarchar（128）（ヌル） | 事業分野 1 の説明です。 |
| RPT_Contact_BusinessData | バスフィールド 2 | バスフィールド 2 | nvarchar（128）（ヌル） | ビジネス分野 2 の説明です。 |
| RPT_Contact_BusinessData | Bussfld3 | Bussfld3 | nvarchar（128）（ヌル） | ビジネス分野 3 の説明です。 |
| RPT_Contact_BusinessData | Bussfld4 | Bussfld4 | nvarchar（128）（ヌル） | ビジネス分野 4 の説明です。 |
| RPT_Contact_BusinessData | Bussfld5 | Bussfld5 | nvarchar（128）（ヌル） | ビジネス分野 5 の説明です。 |
| RPT_Contact_BusinessData | Bussfld6 | Bussfld6 | nvarchar（128）（ヌル） | ビジネス分野 6 の説明。 |
| RPT_Contact_BusinessData | Bussfld7 | Bussfld7 | nvarchar（128）（ヌル） | ビジネス分野 7 の説明。 |
| RPT_Contact_BusinessData | Bussfld8 | Bussfld8 | nvarchar（128）（ヌル） | ビジネス分野 8 の説明。 |
| RPT_Contact_BusinessData | Bussfld9 | Bussfld9 | nvarchar（128）（ヌル） | ビジネス分野 9 の説明。 |
| RPT_Contact_BusinessData | Bussfld10 | Bussfld10 | nvarchar（128）（ヌル） | ビジネス分野 10 の説明。 |
| RPT_Contact_BusinessData | Bussfld11 | Bussfld11 | nvarchar（128）（ヌ | ビジネス分野 11 の説明。 |

| | | | | |
|---|---|---|---|---|
| | | | ル） | |
| RPT_Contact_BusinessData | Bussfld12 | Bussfld12 | nvarchar（128）（ヌル） | ビジネス分野 12 の説明。 |
| RPT_Contact_BusinessData | Bussfld13 | Bussfld13 | nvarchar（128）（ヌル） | ビジネス分野 13 の説明。 |

| | | | | |
|---|---|---|---|---|
| RPT_Contact_BusinessData | Bussfld14 | Bussfld14 | nvarchar（128）（ヌル） | ビジネス分野 14 の説明。 |
| RPT_Contact_BusinessData | Bussfld15 | Bussfld15 | nvarchar（128）（ヌル） | ビジネス分野 15 の説明。 |
| RPT_Contact_BusinessData | Bussfld16 | Bussfld16 | nvarchar（128）（ヌル） | ビジネス分野 16 の説明。 |
| RPT_Contact_BusinessData | Bussfld17 | Bussfld17 | nvarchar（128）（ヌル） | ビジネス分野 17 の説明。 |
| RPT_Contact_BusinessData | Bussfld18 | Bussfld18 | nvarchar（128）（ヌル） | ビジネス分野 18 の説明。 |
| RPT_Contact_BusinessData | Bussfld19 | Bussfld19 | nvarchar（128）（ヌル） | ビジネス分野 19 の説明。 |
| RPT_Contact_BusinessData | Bussfld20 | Bussfld20 | nvarchar（128）（ヌル） | ビジネス分野 20 の説明。 |
| RPT_Contact_BusinessData | Bussfld21 | Bussfld21 | nvarchar（最大）（ヌル） | ビジネス分野 21 の説明。 |
| RPT_Contact_BusinessData | Bussfld22 | Bussfld22 | nvarchar（最大）（ヌル） | ビジネス分野 22 の説明。 |
| RPT_Contact_BusinessData | Bussfld23 | Bussfld23 | nvarchar（最大）（ヌル） | ビジネス分野 23 の説明。 |
| RPT_Contact_BusinessData | Bussfld24 | Bussfld24 | nvarchar（最大）（ヌル） | ビジネスフィールド 24 の説明。 |
| RPT_Contact_BusinessData | Bussfld25 | Bussfld25 | nvarchar（最大）（ヌ | ビジネス分野 25 の説明。 |

| | | | | |
|---|---|---|---|---|
| | | | ル) | |
| RPT_Contact_BusinessData | Bussfld26 | Bussfld26 | nvarchar<br>(最大)<br>(null) | ビジネス分野 26 - ユニークなビジネス分野の説明。 |

| | | | | |
|---|---|---|---|---|
| RPT_Contact_BusinessData | Bussfld27 | Bussfld27 | nvarchar (最大) (null) | 事業分野 27（追加事業分野）の説明。 |
| RPT_Contact_BusinessData | Bussfld28 | Bussfld28 | nvarchar (最大) (null) | 事業分野 28（追加事業分野）の説明。 |
| RPT_Contact_BusinessData | Bussfld29 | Bussfld29 | nvarchar (最大) (null) | 事業分野 29（追加事業分野）の説明。 |
| RPT_Contact_BusinessData | Bussfld30 | Bussfld30 | nvarchar (最大) (null) | 事業分野 30（追加事業分野）の説明。 |
| RPT_Contact_BusinessData | 連絡先 | 連絡先 | nvarchar (最大) (null) | この列にはダイヤラーに送信される XML データ形式の連絡先情報が含まれます。 たとえば、名、姓、連絡先番号などです。 |
| RPT_Contact_BusinessData | 更新者 | 更新者 | nvarchar（128）（ヌル） | このエントリを最後に更新したエンティティのユーザ ID。 |
| RPT_Contact_BusinessData | テナント ID | テナント ID | 整数（ヌ | 新しいテナントが作成されるときにアプリケーションによって自動生成されるテ |

| | | | | |
|---|---|---|---|---|
| | | | ル) | ナント ID。 |
| RPT_Contact_BusinessData | サブテナント ID | サブテナント ID | int | サブテナント ID は自動的に |

| | | | | |
|---|---|---|---|---|
| | | | （ヌル） | 新しいテナントが作成されるときにアプリケーションによって生成されます。 |
| RPT_Contact_BusinessData | 最終アクセス時刻 | 最終アクセス時刻 | 日時<br>（null） | 連絡先に最後にアクセスした日時。 |

リストアップロード

| ソーステーブル | 列名 | 表示名 | データタイプ | 説明 |
|---|---|---|---|---|
| RPT_AE_リスト情報 | リストタイプ | リストタイプ | nvarcha - r<br>(10)<br>（ヌル） | リストの種類。 API 経由でアップロードするか、ファイル経由でアップロードするかを定義します。 |
| RPT_AE_リスト情報 | リスト ID | リスト ID | 整数<br>（ヌル） | このリストに対してアプリケーションによって自動生成されたリスト ID。 |
| RPT_AE_リスト情報 | 開始時間 | 開始時間 | 日付時刻<br>（ヌル） | リストのアップロードが開始された日時。 |

| | | | | |
|---|---|---|---|---|
| RPT_AE_リスト情報 | 終末 | 終末 | 日付時刻（ヌル） | リストのアップロードが完了した日時。 |
| RPT_AE_リスト情報 | レコード挿入 | レコード挿入 | bigint（ヌル） | このリストからアップロードされたレコードの数。 |
| RPT_AE_リスト情報 | 記録失敗 | 記録失敗 | ビッグインテント（ヌル） | 失敗したレコードの数 |

| | | | | |
|---|---|---|---|---|
| | | | | このリストからアップロードしてください。 |
| RPT_AE_リスト情報 | レコード SDNC | レコード SDNC | bigint（ヌル） | このリストからの DNC レコードの数。 |
| RPT_AE_リスト情報 | レコードが重複しています | レコードが重複しています | bigint（ヌル） | このリストの重複レコードの数。 |
| RPT_AE_リスト情報 | レコードスクラブ | レコードスクラブ | bigint（ヌル） | このリストから削除された連絡先の数 |
| RPT_AE_リスト情報 | ソースタイプ | ソースタイプ | **varchar** (18)（ヌルではない） | ファイルソースの種類。 値の例としては、Web の場合は W、メディアの場合は M、ファイルの場合は F、リストの場合は L などがあります。 |
| RPT_AE_リスト情報 | ユーザ ID | ユーザ ID | **varchar** (50)（ヌル） | 連絡先をアップロードしたユーザの名前。 |

| | | | | |
|---|---|---|---|---|
| RPT_AE_リスト情報 | 位置 | 位置 | nvarcha - r (32)（ヌル） | 処理するファイルが配置される場所。 |
| RPT_AE_リスト情報 | レコード移動 | レコード移動 | bigint（ヌル） | このリストから移動されたレコードの数。 |
| RPT_AE_リスト情報 | リストストップフラグ | リストストップフラグ | 少し（ヌル） | リストが |

| | | | | |
|---|---|---|---|---|
| | | | | 停止状態。 |
| RPT_AE_リスト情報 | リスト開始日 | リスト開始日 | 日付時刻（ヌル） | このリストの連絡先がキャンペーンにアップロードを開始した日時。 |
| RPT_AE_リスト情報 | リスト終了日 | リスト終了日 | 日付時刻（ヌル） | リストが停止された日時。 |
| RPT_AE_リスト情報 | グローバルリスト ID | グローバルリスト ID | bigint（ヌル） | 生成されたリスト ID グローバルアップロード用に配置された各リストのアプリケーションによって。 |
| RPT_AE_リスト情報 | リストステータス | リストステータス | 整数（ヌル） | 成功、失敗、エラーなどのリストのステータス。 |
| RPT_AE_リスト情報 | リスト処理日 | リスト処理日 | 日付時刻（ヌル） | 連絡先ファイルが処理対象として取得された日時。 |

| | | | | |
|---|---|---|---|---|
| RPT_AE_リスト情報 | リストタイムトゥライブ | リストタイムトゥライブ | 整数（ヌル） | このリストから連絡先をアップロードできなくなるまでの、リストの有効日数 |

| | | | | |
|---|---|---|---|---|
| | | | | リスト。 |
| RPT_AE_リスト情報 | TTL ビジネスデイズ | TTL ビジネスデイズ | ビット（ヌル） | リストの有効期間が営業日で計算されるかどうかを示すフラグ。 |
| RPT_AE_リスト情報 | 処理予定のレコード合計数 | 処理予定のレコード合計数 | 整数（ヌル） | アップロード処理されるレコードの合計数。 |
| RPT_AE_リスト情報 | ユニークタイムゾーン | ユニークタイムゾーン | nvarcha - r (128)（ヌル） | これは、リストが一意のタイムゾーンでアップロードされるかどうかを定義します。 連絡先は連絡先のタイムゾーンに従って処理されます。 |
| RPT_AE_リスト情報 | テナント ID | テナント ID | 整数（ヌル） | 新しいテナントが作成されるときにアプリケーションによって自動生成されるテナント ID。 |

| | | | | |
|---|---|---|---|---|
| RPT_AE_リスト情報 | サブテナント ID | サブテナント ID | 整数（ヌル） | サブテナント ID が自動生成されました アプリケーションによって新しいテナントが作成されます。 |
| RPT_AE_アップロード His- | アップロードタイプ | アップロードタイプ | varchar | アップロードの種類（例： |

| | | | | |
|---|---|---|---|---|
| トーリー | | | (17)（ヌルではない） | JSON、API、（以下、同様） |
| RPT_AE_アップロード履歴 | アップロードサブタイプ | アップロードサブタイプ | Varchar (26)（ヌルではない） | アップロードのサブタイプ。 値は、新しいファイルの場合は N、既存のファイルの更新の場合は U、別のファイルのコピーの場合は C です。 |
| RPT_AE_アップロード履歴 | 最終アクセス | 最終アクセス | 日付時刻（ヌル） | テーブルが最後に変更された日時。 |
| RPT_AE_アップロード履歴 | 子リスト ID | 子リスト ID | 整数（ヌル） | このリストのアプリケーションによって自動生成された子リスト ID。 |
| RPT_AE_アップロード履歴 | モード B - コンプライアンス違反 DNC | モード B - コンプライアンス違反 DNC | 整数（ヌル） | DNC 要件によってブロックされるモード。 |

| | | | | |
|---|---|---|---|---|
| RPT_AE_アップロード履歴 | 連絡先 B- コンプライアンス違反 DNC | 連絡先 B- コンプライアンス違反 DNC | 整数（ヌル） | NDNC によってブロックされるモード要件。 |
| RPT_AE_アップロード履歴 | モード B - コンプライアンス訴訟にロック | モード B - コンプライアンス訴訟にロック | 整数（ヌル） | 訴訟要件によってブロックされるモード。 |

| | | | | |
|---|---|---|---|---|
| RPT_AE_アップロード履歴 | 連絡先 B- コンプライアンス違反訴訟 | 連絡先 B- コンプライアンス違反訴訟 | 整数（ヌル） | 訴訟要件によってブロックされている連絡先の数。 |
| RPT_AE_アップロード履歴 | ソース詳細 | ソース詳細 | nvarcha- r (512)（ヌル） | 拡張子付きのアップロードファイル名。 |
| RPT_AE_アップロード履歴 | プロフィール名 | プロフィール名 | nvarcha- r (512)（ヌル） | 連絡先がアップロードされたプロフィール。 |
| RPT_AE_アップロード履歴 | 更新されたリスト ID | 更新されたリスト ID | 整数（ヌル） | アプリケーションによって生成された更新されたリスト ID。 |
| RPT_AE_アップロード履歴 | アップロード時間 | アップロード時間 | 整数 (7)（ヌル） | アプリケーションがリストのアップロードを完了するまでにかかる時間。 |

## リスト情報

| ソーステーブル | 列名 | 表示名 | データ タイプ | 説明 |
|---|---|---|---|---|
| RPT_AE_キャンペーン | キャンペーン ID | キャンペーン名 | nvarchar（64）（ヌルではない） | このリストがアップロードされるキャンペーン名。 |

| | | | | |
|---|---|---|---|---|
| RPT_AE_<br>リスト情報 | リスト ID | リスト ID | 整数<br>（ヌル） | このリストに対してアプリケーションによって自動生成されたリスト ID。 |
| RPT_AE_ | リスト開始日 | リスト開始日 | datetime | 日付と |

| | | | | |
|---|---|---|---|---|
| リスト情報 | | | （ヌル） | このリストの連絡先がキャンペーンへのアップロードを開始した時刻。 |
| RPT_AE_<br>リスト情報 | リストステータス | リストステータス | nvarchar<br>(18) (ヌルではない) | リストのステータス（成功、失敗、エラーなど）。 |
| RPT_AE_<br>リスト情報 | 性同一性障害 | 性同一性障害 | 整数<br>（ヌル） | グローバルアップロード用に配置された各リストに対してアプリケーションによって生成されるリスト ID。 |
| RPT_AE_<br>リスト情報 | 挿入時間 | 挿入時間 | datetime<br>（ヌル） | レコードが挿入された日時 |
| RPT_AE_<br>リスト情報 | ソース名 | ソース名 | nvarchar<br>（512）（ヌル） | アップロードファイル名（拡張子付き） |
| RPT_AE_<br>リスト情報 | リスト開始日時 | リスト開始日時 | 日時（null） | このリストの連絡先がキャンペーンへのアップロードプロセスを開始した具体的な日時 |
| RPT_AE_<br>リスト情報 | テナント ID | テナント ID | 整数<br>（ヌル） | 新しいテナントが作成されるときにアプリケーションによって自動生成されるテナント ID。 |

| | | | | |
|---|---|---|---|---|
| RPT_AE_<br>リスト情報 | サブテナント ID | サブテナント ID | 整数<br>（ヌル） | 新しいテナントが作成されるときにアプリケーションによって自動生成されるサブテナント ID。 |

グローバルアップロード

| ソーステーブル | 列名 | 表示名 | データタイプ | 説明 |
|---|---|---|---|---|
| RPT_AE_GU アクティビティ | グローバルリスト ID | グローバルリスト ID | int（ヌルではない） | 生成されたリスト ID グローバルアップロード用に配置された各リストのアプリケーションによって。 |
| RPT_AE_GU アクティビティ | グローバルファイル名 | グローバルファイル名 | nvarchar (1024)（ヌル） | アップロード用に配置されたファイル連絡先の名前。 |
| RPT_AE_GU アクティビティ | Status（ステータス） | Status（ステータス） | nvarchar (16)（ヌルではない） | アップロードファイルのステータス（成功、エラーなど） |
| RPT_AE_GU アクティビティ | 処理時間 | 処理時間 | 日付時刻（ヌルで | 連絡先ファイルが処理された日時 |

| | | | | |
|---|---|---|---|---|
| | | | はない) | |
| RPT_AE_GU アクティビティ | エラーの説明 | エラーの説明 | nvarcha- r（最大）（ヌル） | アップロードされていない連絡先の場合のエラーの説明。たとえば、失敗しました。 |
| RPT_AE_GU アクティビティ | 合計レコード数 | 合計レコード数 | bigint（ヌル） | アップロードされたレコードの総数 |

| | | | | |
|---|---|---|---|---|
| | | | | 連絡先リストから。 |
| RPT_AE_GU アクティビティ | 悪い記録 | 悪い記録 | bigint（ヌル） | 連絡先リストからの不良レコード（アップロードに失敗したレコード）の数。 |
| RPT_AE_GU アクティビティ | 一致しないレコード | 一致しないレコード | bigint（ヌル） | どのキャンペーンにもアップロードできなかった、つまり一致しないままになったレコードの総数。 |
| RPT_AE_GU アクティビティ | キャンペーンレベルレコード | キャンペーンレベルレコード | nvarcha - r（最大）（ヌル） | このアップロードを通じて各キャンペーンにアップロードされたレコードの合計数。 |
| RPT_AE_GU アクティビティ | アップロードされたファイル名 | アップロードされたファイル名 | nvarcha - r (700)（ヌル） | アップロード用に配置されたファイルの名前。 |
| RPT_AE_GU アクティビティ | リストステータス | リストステータス | nvarcha - r (16)（ヌル） | リストのステータス（成功、失敗、エラーなど） |

| | | | | |
|---|---|---|---|---|
| RPT_AE_GU アクティビティ | テナント ID | テナント ID | 整数（ヌル） | 新しいテナントが作成された場合にアプリケーションによって自動生成されるテナント ID |

| | | | | |
|---|---|---|---|---|
| | | | | した。 |
| RPT_AE_GU アクティビティ | サブテナント ID | サブテナント ID | 整数（ヌル） | サブテナント ID が自動生成されました アプリケーションによって新しいテナントが作成されます。 |
| RPT_AE_アップロード履歴 | アップロード時間 | アップロード時間 | 日付時刻（ヌル） | 連絡先がアップロードされた日時。 |
| RPT_AE_アップロード履歴 | 処理された連絡先の合計数 | 処理された連絡先の合計数 | 整数（ヌル） | アップロード用に処理された連絡先の合計数。 |
| RPT_AE_アップロード履歴 | 連絡先アップロード済み | 連絡先アップロード済み | 整数（ヌル） | さまざまなキャンペーンにアップロードされた連絡先の合計数。 |
| RPT_AE_アップロード履歴 | 連絡先のアップロードに失敗しました | 連絡先のアップロードに失敗しました | 整数（ヌル） | 失敗し、どのキャンペーンにもアップロードされなかった連絡先の合計数。 |
| RPT_AE_アップロード履歴 | 重複した連絡先 | 重複した連絡先 | 整数（ヌル） | 重複する連絡先の合計数。 |

| | | | | |
|---|---|---|---|---|
| RPT_AE_アップロード履歴 | NDNC でブロックされた連絡先 | NDNC でブロックされた連絡先 | 整数（ヌル） | 全国連絡拒否規制によってブロックされた連絡先の総数は、 |

| | | | | |
|---|---|---|---|---|
| | | | | 比喩。 |
| RPT_AE_アップロード履歴 | 連絡先 - sBlockedInCorporateDNC | 連絡先 - sBlockedInCorporateDNC | 整数（ヌル） | この企業により「連絡拒否」設定でブロックされた連絡先の合計数。 |
| RPT_AE_アップロード履歴 | NDNC でブロックされたモード | NDNC でブロックされたモード | 整数（ヌル） | Do Not Call 設定により連絡先のアップロードがブロックされたモード。 |
| RPT_AE_アップロード履歴 | ModesBlockedInCorporateDNC | ModesBlockedInCorporateDNC | 整数（ヌル） | Do Not Call 設定により企業による連絡先のアップロードがブロックされるモード。 |
| RPT_AE_アップロード履歴 | 更新された連絡先 | 更新された連絡先 | 整数（ヌル） | アップロード機能を使用して更新された連絡先の数。 |
| RPT_AE_アップロード履歴 | アップロードタイプ | アップロードタイプ | varchar (17)（ヌルではな | アップロードタイプ（JSON、API など）（以下、同様） |

| | | | | |
|---|---|---|---|---|
| | | | い<br>) | |
| RPT_AE_<br>アップロード履歴 | アップロードサブタイプ | アップロードサブタイプ | Varchar<br>(26)<br>（<br>ヌ<br>ル<br>で<br>は<br>な<br>い<br>) | アップロードのサブタイプ。 値は ***北*** 新しいファイルの場合、 ***あなた*** 更新のために |

| | | | | |
|---|---|---|---|---|
| | | | | すでに利用可能なファイル、および C 別のファイルのコピーである場合。 |
| RPT_AE_アップロード履歴 | 最終アクセス | 最終アクセス | 日付時刻（ヌル） | テーブルが最後に変更された日時。 |
| RPT_AE_アップロード履歴 | 子リスト ID | 子リスト ID | 整数（ヌル） | このリストのアプリケーションによって自動生成された子リスト ID。 |
| RPT_AE_アップロード履歴 | モード B - コンプライアンス違反 DNC | モード B - コンプライアンス違反 DNC | 整数（ヌル） | DNC 要件によってブロックされるモード。 |
| RPT_AE_アップロード履歴 | 連絡先 B- コンプライアンス違反 DNC | 連絡先 B- コンプライアンス違反 DNC | 整数（ヌル） | NDNC によってブロックされるモード要件。 |
| RPT_AE_アップロード履歴 | モード B - コンプライアンス訴訟にロック | モード B - コンプライアンス訴訟にロック | 整数（ヌル） | 訴訟要件によってブロックされるモード。 |

| | | | | |
|---|---|---|---|---|
| RPT_AE_アップロード履歴 | 連絡先 B- コンプライアンス違反訴訟 | 連絡先 B- コンプライアンス違反訴訟 | 整数（ヌル） | 訴訟要件によってブロックされている連絡先の数。 |
| RPT_AE_アップロード履歴 | ソース詳細 | ソース詳細 | nvarcha - r | アップロードファイル名には拡張子 |

| | | | | |
|---|---|---|---|---|
| | | | (512)（ヌル） | ション。 |
| RPT_AE_アップロード履歴 | プロフィール名 | プロフィール名 | nvarcha - r (512)（ヌル） | 連絡先がアップロードされたプロフィール。 |
| RPT_AE_アップロード履歴 | 更新されたリスト ID | 更新されたリスト ID | 整数（ヌル） | アプリケーションによって生成された更新されたリスト ID。 |
| RPT_AE_アップロード履歴 | アップロード時間 | アップロード時間 | 時間 (7)（ヌル） | アプリケーションがリストのアップロードを完了するまでにかかる時間。 |
| RPT_AE_GU アクティビティ | 作成時間 | 作成時間 | 日付時刻（ヌルではない） | レコードまたはリストが作成された日時。 |
| RPT_AE_GU アクティビティ | Bussfld26 | Bussfld26 | varchar (1) (NULL ではない) | ビジネス固有のフィールド 26 用に予約されています。 |
| RPT_AE_GU アクティビティ | Bussfld27 | Bussfld27 | varchar (1) (NULL | ビジネス固有のフィールド 27 用 |

| | | | | |
|---|---|---|---|---|
| | | | ではない) | に予約されています。 |
| RPT_AE_GU アクティビティ | Bussfld28 | Bussfld28 | varchar (1) (NULL ではない) | ビジネス固有のフィールド 28 用に予約されています。 |
| RPT_AE_GU アクティビティ | Bussfld29 | Bussfld29 | varchar (1) (NULL ではない) | ビジネス固有のフィールド 29 用に予約されています。 |
| RPT_AE_GU アクティビティ | Bussfld30 | Bussfld30 | varchar (1) (NULL ではない) | ビジネス固有のフィールド 30 用に予約されています。 |

| | | | | |
|---|---|---|---|---|
| RPT_AE_GU アクティビティ | 有効モード | 有効モード | varchar (1) (NULL ではない) | リストまたは操作に適用可能な有効なモードを示します。 |
| RPT_AE_GU アクティビティ | 連絡先バージョン | 連絡先バージョン | varchar (1) (NULL ではない) | 処理中の連絡先またはリストのバージョンを表します。 |

## 通話履歴

| ソーステーブル | 列名 | 表示名 | データ タイプ | 説明 |
|---|---|---|---|---|
| RPT_GU_エラー | エラー ID | エラー ID | ビッグインテント（ヌル） | このエラーに対して自動生成されたエラー ID。 |
| RPT_GU_エラー | エラータイプ | エラータイプ | nvarchar（32）（ヌル） | アプリケーションによってスローされるエラーの種類。 |
| RPT_GU_エラー | 説明 | 説明 | nvarchar（255）（ヌル） | エラーの説明。 |
| RPT_GU_エラー | エラー時間 | エラー時間 | 日時（null） | アプリケーションによってエラーが報告された日時。 |
| RPT_GU_エラー | エラーレコード | エラーレコード | テキスト（null） | エラー レコード、ログ内のエラーの詳細。 |

| | | | | |
|---|---|---|---|---|
| RPT_GU_エラー | アップローダータイプ | アップローダータイプ | char<br>(1) (ヌル) | このエラーを報告したアップローダー – アップローダーの種類には、連絡先、グローバル、スクラブ、コンプライアンスなどがあります。 |

| | | | | |
|---|---|---|---|---|
| RPT_GU_エラー | キャンペーン ID | キャンペーン ID | nvarchar（64）（ヌル） | このエラーを報告したキャンペーン ID。 |
| RPT_GU_エラー | リスト ID | リスト ID | int（ヌル） | エラーが関係するリスト ID。 |
| RPT_GU_エラー | ファイル ID | ファイル ID | 整数（ヌル） | このエラーが関係するファイル ID (ファイル経由でアップロードする場合)。 |
| RPT_GU_エラー | ファイル名 | ファイル名 | nvarchar (1000) (ヌル) | このエラーの原因となったアップロードファイルのファイル名。 |
| RPT_GU_エラー | 予約フィールド 1 | 予約フィールド 1 | nvarchar（128）（ヌル） | 将来使用するために。 |
| RPT_GU_エラー | 予約フィールド 2 | 予約フィールド 2 | nvarchar（128）（ヌル） | 将来使用するために。 |
| RPT_GU_エラー | 予約フィールド 3 | 予約フィールド 3 | nvarchar（128）（ヌル） | 将来使用するために。 |
| RPT_GU_エラー | 予約フィールド 4 | 予約フィールド 4 | nvarchar（128）（ヌル） | 将来使用するために。 |
| RPT_GU_エラー | 予約フィールド 5 | 予約フィールド 5 | nvarchar（128）（ヌル） | 将来使用するために。 |
| RPT_GU_エラー | テナント ID | テナント ID | 整数（ヌル） | 新しいテナントが作成されるときにアプリケーションによって自動生成されるテナント ID。 |

| | | | | |
|---|---|---|---|---|
| RPT_GU_エラー | サブテナント ID | サブテナント ID | 整数（ヌル） | 新しいテナントが作成されるときにアプリケーションによって自動生成されるサブテナント ID。 |
| RPT_GU_エラー | ファイルヘッダー | ファイルヘッダー | nvarchar（最大）（ヌル） | ファイルのヘッダー情報。 |

## 通話履歴

| ソーステーブル | 列名 | 表示名 | 表示タイプ | 説明 | プラットフォーム |
|---|---|---|---|---|---|
| AE コールトレース | カリド | CALL ID | nvarchar (38)（ヌル） | 「コール ID は、アクティビティを追跡するための内部連絡先参照に適用できます。 たとえば、連絡先の選択から再スケジュール/レポートまでのトラバーサルを追跡します。 | すべて（All） |
| AE コールトレース | キャンペーングループ | キャンペーングループ | nvarchar (64)（ヌル） | これは、キャンペーンがマップされるキャンペーン グループです。 | すべて（All） |
| AE コールトレース | キャンペーン ID | キャンペーン ID | nvarchar (64)（ヌル） | キャンペーン名です。例：コレクション。 | すべて（All） |
| AE コールトレース | グローバルリスト ID | グローバルリスト ID | bigint（ヌル） | これは、システムにアップロードされたすべてのグローバルリストの実行シリアル番号です。 | すべて（All） |
| AE コールトレース | 連絡先 ID | 連絡先 ID | int（ヌル） | キャンペーン内の連絡先の一意の識別子。 | すべて（All） |
| AE コールトレース | リスト ID | LIST ID | 整数（ヌル） | これは、キャンペーンへの連絡先のアップロード中に生成される実行中のシリアル番号です。 | すべて（All） |

| | | | | | |
|---|---|---|---|---|---|
| AE コールトレース | CONTACTSTRATEGYNA-ME | コンタクト戦略名 | nvarc-har (64)（ヌル） | 現在の試行に適用されたコンタクト戦略。 | すべて（All） |
| AE コールトレース | 条件 ID | 条件 ID | ビッグインテント（ヌル） | 使用される CSS 条件の内部 ID | すべて（All） |

| | | | | | |
|---|---|---|---|---|---|
| | | | | 連絡先の選択中。 | |
| AE コールトレース | 挿入時間 | 挿入時間 | 日付時刻（ヌル） | このレコードがレポート データベースに挿入された日時。 | すべて（All） |
| AE コールトレース | 会話終了時間-E | 会話終了時間-E | 日付時刻（ヌル） | これは、LCMContactRescheduler サービスによって通話が再スケジュールされる時刻です。この時間は CallActivity テーブルに挿入されます。 | すべて（All） |
| AE コールトレース | モード ID | モード ID | int（ヌル） | これは連絡先の連絡モード ID です。 | すべて（All） |
| AE コールトレース | アウトカム ID | アウトカム ID | 整数（ヌル） | ダイヤラーまたはエージェントによって連絡先に設定された通話結果。 それは電話による成果でもビジネスによる成果でも構いません | すべて（All） |
| AE コールトレース | コネクテッドエージェント | コネクテッドエージェント | nvarc-har (64)（ヌル） | これは、通話の試行を処理したエージェントの名前を示します。 | すべて（All） |
| | | | | ダイヤル モード フィールドには、通話のキャンペーン モードを示す値が入力されます。 | すべて（All） |

| | | | | | |
|---|---|---|---|---|---|
| AE コールトレース | ペーシングモード | ペーシングモード | 整数（ヌル） | 次のペーシングモードは、Cisco CCE および Cisco CCX に適用されます。 | Cisco CCE, Cisco CCX |
| | | | | 予測のみの場合は 1 | |
| | | | | 予測ブレンド 2 | |
| | | | | プレビューのみの 3 | |
| | | | | プレビューブレンダー 4 | |

| | | | | | |
|---|---|---|---|---|---|
| | | | | デッド | |
| | | | | プログレッシブのみ 5 | |
| | | | | プログレッシブブレンドの場合は 6 | |
| | | | | 7 直接プレビューのみ | |
| | | | | 直接プレビューブレンドの場合は 8。 | |
| | | | | その他のプラットフォームの場合、値は -1 です。 | |
| AE コールトレース | 目標金額 | 目標金額 | 浮動小数点数（null） | これは、この試みにおける特定のビジネス成果の達成目標として設定された値です。 | すべて（All） |
| AE コールトレース | エージェントコメント | エージェントのコメント | nvarchar (4000)（ヌル） | エージェントは、この通話中に連絡先に関するコメントを入力します。 | すべて（All） |
| AE コールトレース | チャンネルタイプ | チャンネルタイプ | 整数（ヌル） | これはチャネル タイプです。 | すべて（All） |
| | | | | 1 は SMS、2 は VOICE、3 は EMAIL、CPAAS の場合は 4、IVR の場合は 0 です。 | |
| AE コールトレース | DIALERRESULTRECEIVED- 時間 | DIALERRESULTRECEIVED- 時間 | 日付時刻（ヌル） | これは、HDS データベースに通話試行が記録される時刻です。 | Cisco CCE |

| | | | | | |
|---|---|---|---|---|---|
| AE コールトレース | チャイルドリスト ID | 子リスト ID | 整数（ヌル） | これは、すでにアップロードされたリストに連絡先が追加されるときに割り当てられる ID です。 | すべて（All） |
| AE コールトレース | 配送タイプ | 配送タイプ | varchar (32)（ヌル） | これはダイヤラーへの連絡先配信タイプの性質を表します。 可能な値は次のとおりです。 | すべて（All） |

| | | | | | |
|---|---|---|---|---|---|
| | | | | 通常<br>非 PEWC レギュラー<br>通知<br>AEM | |
| AE コールトレース | コールタイプ | コールタイプ | tinyint<br>(ヌル) | 通話の種類を説明します。 値は次のいずれかになります。<br>0 – オープン<br>1 – コールバック<br>2 – AEM | すべて（All） |
| AE コールトレース | LCM キー | LCM キー | varchar<br>(64)<br>（ヌル） | アカウント番号は、ダイヤラーに連絡先が配信された時点でその連絡先に対して作成される一意の番号です。 キャンペーン ID、連絡先 ID などをパイプ区切りで示す 7 つの一意の ID 値が含まれます。 | すべて（All） |
| AE コールトレース | 実際の配達時間 | 実際の配達時間 | 日付時刻<br>（ヌル） | 連絡先がダイヤラーに実際に配信される時刻。 | すべて（All） |

| | | | | | |
|---|---|---|---|---|---|
| AE コールトレース | 通話予約期間 | 通話予約期間 | 整数（ヌル） | アプリケーションは、通話期間 (ミリ秒単位) にわたってエージェントを予約します。 プレビュー モードでは、これには最後のプレビュー、ダイヤル、CPA の実行、およびエージェントへの顧客コールの転送の時間が含まれます。 予測モードでは、予約エージェントが | Cisco CCE |

| | | | | | |
|---|---|---|---|---|---|
| | | | | 顧客に接続する前に切断された場合、エージェントはまだ顧客に関連付けられていないため、この値は NULL になります。 このような場合、対応する終了コール詳細レコードの HoldTime はエージェントの予約時間を示します。 | |
| AE コールトレース | コールバックリクエスト DB-Y | コールバックのリクエスト | nvarc-har (64)（ヌル） | これは、コールバック要求を登録するエージェントのエージェント ID を表します。 | すべて（All） |
| AE コールトレース | コールタイプ | コールバック登録型 | 整数（ヌル） | コールバック登録時に、エージェントがコールバックの性質を決定します。 可能な値は次のとおりです。 | すべて（All） |
| | | | | CallType = 2 の場合、「エージェントエグゼクティブマッピング」 | |
| | | | | CallType = 1 かつ ScheduledAgent <> 'LCM' – PCB (Per-ソーシャルコールバック） | |
| | | | | CallType = 1 かつ ScheduledAgent = 'LCM' – NCB（通常のコールバック） | |

| | | | | | |
|---|---|---|---|---|---|
| AE コールトレース | コールバック試行タイプ | コールバック試行タイプ | varch-ar (4)（ヌル） | ダイヤル試行時の通話タイプ。 可能な値は次の通りです: CallBack-AttemptType='PCB' then 'Personal Call- back' CallBack- | すべて（All） |

| | | | | | |
|---|---|---|---|---|---|
| | | | | AttemptType='NCB' の次に '通常のコールバック' | |
| AE コールトレース | ランニングサイクルカウント | ランニングサイクルカウント | 整数（ヌル） | サイクル戦略が使用される場合、このフィールドには現在のサイクル番号が含まれます。 たとえば、接触反復サイクルが 2 番目のサイクルにある場合、このフィールドには 2 が含まれます。 | すべて（All） |
| AE コールトレース | ランニングサイクル完了 | 実行サイクルが完了しました | ビット（ヌル） | 現在のサイクルが完了したことを示すフラグ。つまり、すべてのモードがダイヤルアウトされたことを示します。 | すべて（All） |
| AE コールトレース | 現在のリードスコア | 現在のリードスコア | int（ヌル） | エージェントはリード スコア値を割り当てます。 | すべて（All） |
| AE コールトレース | ダイヤラー参照 ID | ダイヤラー参照 ID | varchar(64)（ヌル） | ダイヤラー　プラットフォームは、この連絡先 ID または通話 ID を生成します。　ダイヤラ固有のフィールドが含まれます。 | すべて（All） |
| | | | | Avaya POM: EnrichedAttemptEvent の pimSessionID に POM によって割り当てられた自動生成 ID。 | |

| | | | | | |
|---|---|---|---|---|---|
| | | | | Cisco CCE: ダイヤラ テーブルの呼び出し GUID フィールドの値。 | |
| | | | | Amazon Connect: これはダイヤラーによって生成される通話 UUID (Universal Unique Identifier) です。 | |
| | | | | Twilio Flex: これはダイヤラーによって生成された CallSID です。 | |
| | | | | ナイス CXone： | |

| | | | | | |
|---|---|---|---|---|---|
| | | | | Nice CXone アプリケーションによって生成された NICE 連絡先 ID。 | |
| OBD_ 通話アクティビティ | コンタクトネイチャー | コンタクト_ネイチャー | varch-ar (64)（ヌル） | 試みのために自然に接触してください。 可能な値は、Fresh、Rescheduled、Normal Callback、Personal Callback、AEM-Fresh、AEM-再スケジュール、AEM コールバック、フレッシュモーメント、または AEM フレッシュモーメント | すべて（All） |
| AE コールトレース | ID 認証対応 | ID 認証が有効 | ビット（ヌル） | これは、連絡先の IdentityAuthenticationEnabled フィールドが有効になっているか無効になっているかを示します。 | すべて（All） |
| AE コールトレース | アイデンティティ認証成功 | アイデンティティ認証成功 | ビット（ヌル） | これはアイデンティティが認証が成功したかどうか。 | すべて（All） |
| AE コールトレース | CALLPREVIEWDURATION- N | CALLPREVIEWDURATION- N | 整数（ヌル） | エージェントが通話をプレビューし、連絡先を受け入れるか、スキップするか、拒否（クローズ）するかを決定するのにかかる時間。 | すべて（All） |

| | | | | | |
|---|---|---|---|---|---|
| AE コールトレース | 通話の再スケジュール時間 | 通話の再スケジュール時間 | 日付時刻（ヌル） | これは、スケジュールされたコールバックの次のスケジュールされた日時を示します。 | すべて（All） |
| AE コールトレース | 次のスケジュールモード ID | 次のスケジュールモード ID | nvarc-har（ヌル） | これはスケジュールされたコールバックのモードを示します。 | すべて（All） |
| AE コールトレース | 合計プライマリ認証 | 完全なプライマリ認証 | 整数（ヌル） | 発信許可を得るために ID 認証サービスに送信されたリクエストの総数 | すべて（All） |

| | | | | | |
|---|---|---|---|---|---|
| | | | | 単一の連絡先に対してダイヤラーに送信する前に、顧客からの認証（通話前認証）を実行します。リクエストはシステム (フィード エンジン) から開始されます。 | |
| AE コールトレース | 検証済みプライマリ認証 | 検証済みプライマリ認証 | 整数（ヌル） | 発信認証（通話前認証）のため送信された要求に対する、ID 認証サービスからの顧客応答の合計数。リクエストはシステム (フィード エンジン) から開始されます。 | すべて（All） |
| AE コールトレース | 合計セカンダリ認証 | 完全な二次認証 | 整数（ヌル） | 通話中に顧客から各 ID の認証を取得するために ID 認証サービスに送信された要求の合計数 (オンコール認証)。リクエストはエージェントから開始されます。 | すべて（All） |
| AE コールトレース | 検証済み二次認証 | 検証済みの二次認証 | 整数（ヌル） | 通話中に各 ID に対して送信されたリクエストごとに「ID 認証サービス」からの顧客応答の合計数（オンコール認証）。リクエストはエージェントから開始されます。 | すべて（All） |
| RPT_AEC_ | ACW 開始タイムスタンプ | ACW 開始タイムスタンプ | dat- | 日付と時刻 | 素晴らし |

| | | | | | |
|---|---|---|---|---|---|
| | | | | | い |

| | | | | | |
|---|---|---|---|---|---|
| 顧客コールアクティビティ | | | イータイム（ヌル） | エージェントはアフターコールワーク（ACW）を開始しました。 | コネクト |
| RPT_AEC_顧客コール活動 | ACWEND タイムスタンプ | ACWEND タイムスタンプ | 日付時刻（ヌル） | エージェントがアフターコールワーク (ACW) を完了した日時。 | アマゾンコネクト |
| RPT_AEC_顧客コール活動 | 活動期間 | ACW 期間 | 整数（ヌル） | エージェントがアフターコールワーク（ACW）を完了するのに要した時間。 | アマゾンコネクト |
| RPT_AEC_顧客コール活動 | 切断された | 切断された | nvarc-har (64)（ヌル） | 通話を切断したエンティティ。　可能な値は、顧客: 1 です。エージェント（Agent）<br>2. 放棄された切断 (エージェント不足のためキャンペーンマネージャーによって放棄されました): | アマゾンコネクト |
| RPT_AEC_顧客コール活動 | | | | TimeoutAbandoned（設定された待機時間内にエージェントが見つからない場合、アプリケーションによって中止されます） | |
| RPT_AEC_顧客コールアクティビティ | | | | WatchDog (技術的な理由により連絡先がアプリケーション内でスタックしている場合、ウォッチドッグはこれらの通話を切断します)。 | |

| | | | | | |
|---|---|---|---|---|---|
| RPT_AEC_顧客コールアクティビティ | テナント ID | テナント ID | int（ヌル） | テナントの一意の ID | すべて（All） |
| RPT_AEC_顧客コールアクティビティ | サブテナント ID | サブテナント ID | int（ヌル） | サブテナントの一意の ID | すべて（All） |
| RPT_AEC_ | コールディレクション | コールディレクション | ヴァーチ | 方向を示す | 素晴らしい |

| | | | | | |
|---|---|---|---|---|---|
| 顧客コールアクティビティ | | | ar (16)（ヌル） | 通話のセクション | コネクト |

## マスターフィールドの詳細

### エージェント

| ソーステーブル | 列名 | 表示名 | データ タイプ | 説明 |
|---|---|---|---|---|
| OBD_BSFTAgentList | ID | ID | int（ヌルではない） | 各レコードに固有の ID 列。 |
| OBD_BSFTAgentList | AgentID | AgentID | nvarchar（64）（ヌル） | 同期時にダイヤラーから取得されたエージェントの一意の ID。 |
| OBD_BSFTAgentList | エージェント名 | エージェント名 | nvarchar（最大）（ヌル） | ログインしているエージェントの名前。 |
| OBD_BSFTAgentList | テナント ID | テナント ID | 整数（ヌル） | 新しいテナントが作成されるときにアプリケーションによって自動生成されるテナント ID。 |
| OBD_BSFTAgentList | サブテナント ID | サブテナント ID | 整数（ヌル） | 新しいテナントが作成されるときにアプリケーションによって自動生成されるサブテナント ID。 |

| | | | | |
|---|---|---|---|---|
| OBD_BSFTAgentList* | チーム ID | チーム ID | int | 同期時にダイヤラーから取得されたチームの一意の ID。<br>注記: Webex Contact Center 1.0 では、チームとチーム I は異なっていました。 |

| | | | | |
|---|---|---|---|---|
| | | | | 異なる価値観。しかし、2.0 では両方のフィールドで同じ値が得られます。 |
| OBD_BSFTAgentList* | チーム名 | チーム名 | nvarchar | チーム名。 |
| OBD_BSFTAgentList* | チーム（Team） | チーム（Team） | nvarchar（最大）（ヌル） | ダイヤラーで受信したチームの一意の ID。 |

* OBD_BSFTTeamList テーブル内のすべてのフィールドは、Teams の 1 つの列に XML 値として入力されます。

## キャンペーン

| ソーステーブル | 列名 | 表示名 | データタイプ | 説明 |
|---|---|---|---|---|
| AE_キャンペーン | キャンペーングループ | キャンペーングループ | Nvarchar (64)（ヌル） | このキャンペーンにマップされたキャンペーン グループの名前。 |
| AE_キャンペーン | キャンペーン ID | キャンペーン ID | int（64）（ヌルではない） | キャンペーン ID は作成時に自動生成されます |
| AE_キャンペーン | 説明 | 説明 | nvarchar (255)（ヌルではない | キャンペーンの説明。 |

| | | | | |
|---|---|---|---|---|
| | | | ) | |
| AE_キャンペーン | キャンペーンタイプ | キャンペーンタイプ | int（ヌルではない） | キャンペーンの種類 - 音声または非音声。 |
| AE_キャンペーン | コールクラシファイ | コールクラシファイ | int（ヌル） | 使用されていません。 |
| AE_キャンペーン | パムドハンガップ | パムドハンガップ | int（ヌル） | 使用されていません。 |
| AE_キャンペーン | アプリ名 | アプリ名 | nvarchar(16) | 使用されていません。 |

| | | | | |
|---|---|---|---|---|
| | | | （ヌル） | |
| AE_キャンペーン | マックスコンタクト | マックスコンタクト | int（ヌルではない） | 連絡先の最大数。 |
| AE_キャンペーン | 迷惑タイムアウト | 迷惑タイムアウト | ビッグインテント（ヌル） | 使用されていません。 |
| AE_キャンペーン | キャンペーンステータス | キャンペーンステータス | int（ヌルではない） | 作成済み、実行中、停止済み、時間停止中などのキャンペーンのステータス。 |
| AE_キャンペーン | ゾーン名 | ゾーン名 | nvarchar (128)（ヌル） | キャンペーンのタイムゾーン。 |
| AE_キャンペーン | アウトカムグループ | アウトカムグループ | nvarchar (32)（ヌル） | このキャンペーンにマッピングされた結果グループ。 |
| AE_キャンペーン | 補助理由グループ | 補助理由グループ | nvarchar (16)（ヌル） | 使用されていません。 |
| AE_キャンペーン | ログアウトグループ | ログアウトグループ | nvarchar (16)（ヌル） | 使用されていません。 |

| | | | | |
|---|---|---|---|---|
| AE_キャンペーン | 開始日 | 開始日 | 日付時刻（ヌル） | キャンペーンの開始日。 |
| AE_キャンペーン | 終了日 | 終了日 | 日付時刻（ヌル） | キャンペーンの終了日。 |
| AE_キャンペーン | 開始時間 | 開始時間 | 日付時刻（ヌル） | キャンペーンの開始時間。 |
| AE_キャンペーン | 終末 | 終末 | 日付時刻 | キャンペーン終了時間。 |

| | | | | |
|---|---|---|---|---|
| | | | （ヌル） | |
| AE_キャンペーン | ユーザ作成 | ユーザ作成 | nvarchar (16) （ヌル） | このキャンペーンを作成したユーザの名前。 |
| AE_キャンペーン | クリエイトタイム | クリエイトタイム | 日付時刻 （ヌル） | このキャンペーンが作成された日時。 |
| AE_キャンペーン | コンタクトタイムアウト | コンタクトタイムアウト | ビッグインテント （ヌル） | 使用されていません。 |
| AE_キャンペーン | オートストップデイズ | オートストップデイズ | int （ヌルではない） | キャンペーンが自動的に停止する曜日。 たとえば、土曜日と日曜日。 |
| AE_キャンペーン | 重複フィルター | 重複フィルター | int （ヌルではない） | 重複フィルターを使用して重複した連絡先を確認します。 無効の場合は 0、有効の場合は 1（デフォルト）。 |
| AE_キャンペーン | ITRANSFERQ | ITRANSFERQ | int （ヌル） | 使用されていません。 |
| AE_キャンペーン | OTRANSFERQ | OTRANSFERQ | int （ヌル） | 使用されていません。 |

| | | | | |
|---|---|---|---|---|
| AE_キャンペーン | IROUTEPOINT | IROUTEPOINT | int（ヌル） | 使用されていません。 |
| AE_キャンペーン | ODN | ODN | int（ヌル） | 使用されていません。 |
| AE_キャンペーン | 無応答タイムアウト | 無応答タイムアウト | bigint（ヌル） | アプリケーションが |

| | | | | |
|---|---|---|---|---|
| | | | | 応答なしのアカウントの再スケジュールに連絡先を移動する前に待機します。 |
| AE_キャンペーン | DP タイプ | DP タイプ | int（ヌル） | ダイヤル プランの種類。 |
| AE_キャンペーン | ダイヤルプラン名 | ダイヤルプラン名 | nvarchar (32)（ヌル） | このキャンペーンに割り当てられたダイヤル プラン。 |
| AE_キャンペーン | ドプレトリーズ | ドプレトリーズ | int（ヌル） | 設定された再試行回数。 |
| AE_キャンペーン | DPRETRIESCLOSE | DPRETRIESCLOSE | 整数（ヌル） | コンタクトを閉じるまでの再試行回数。 |
| AE_キャンペーン | DNCFILTER | DNCFILTER | char (1) (ヌル) | 連絡先を DNC (電話番号またはビジネス フィールド) としてマークするために適用されるフィルター。 |
| AE_キャンペーン | エリアタイムゾーン | エリアタイムゾーン | char (1) (ヌル) | このキャンペーンにマップされているエリアのタイムゾーン。 |
| AE_キャンペーン | チェーンを有効にする | チェーンを有効にする | int（ヌル） | チェーンが有効かどうかを |

| | | | | |
|---|---|---|---|---|
| | | | | 示します。 |
| AE_キャンペーン | キャンペーンキー | キャンペーンキー | int（ヌルではない） | 固有のキャンペーン キー。 これはレポートのキャンペーンフィルターに使用されます。 |
| AE_キャンペーン | ファイルパス | ファイルパス | nvarchar(256)（ない | アップロードファイルのパス |

| | | | | |
|---|---|---|---|---|
| | | | ヌル) | 配置されます。 |
| AE_キャンペーン | 最近の連絡先 ID | 最近の連絡先 ID | 整数（ヌル) | このキャンペーンの最後に作成された/最新の連絡先 ID。 |
| AE_キャンペーン | 最近のリスト ID | 最近のリスト ID | 整数（ヌル) | このキャンペーンの最後にアップロードされた/最新のリスト。 |
| AE_キャンペーン | DPRETRIESTYPE | DPRETRIESTYPE | char (1) (ヌル) | 使用されていません。 |
| AE_キャンペーン | 保持 PCB | 保持 PCB | ビット（ヌル) | このフィールドは、接点の PCB を保持する必要があるかどうかを示します。 |
| AE_キャンペーン | サイクル再試行有効 | サイクル再試行有効 | ビット（ヌル) | これは、このキャンペーンでサイクル再試行が有効になっているかどうかを示します。 |
| AE_キャンペーン | サイクルオフセット | サイクルオフセット | 整数（ヌル) | これは、サイクル オフセットがあるかどうか、つまり、サイクル内で何日後に連絡が再試行されるかを示します。 無効の場合は |

| | | | | |
|---|---|---|---|---|
| | | | | 0、有効の場合は 1。 |
| AE_キャンペーン | サイクルカウント | サイクルカウント | 整数（ヌル） | 完了したダイヤルサイクルの数。 設定されたすべてのモードを一度ダイヤルすると、サイクルが完了します。 |
| AE_キャンペーン | サイクル再試行を閉じる | サイクル再試行を閉じる | 少し | この旗 |

| | | | | |
|---|---|---|---|---|
| | | | （ヌル） | サイクル再試行の完了時に接点を閉じるかどうかを決定します。 |
| AE_キャンペーン | 州法フォロータイプ | 州法フォロータイプ | char (1) (ヌル) | 連絡先にダイヤルアウトするときに従わなければならない州法の種類。 |
| AE_キャンペーン | 毎日の再試行 | 毎日の再試行 | 整数（ヌル） | 1 日あたりに連絡先に許可されるダイヤル再試行回数。 |
| AE_キャンペーン | リストタイムトゥライブ | リストタイムトゥライブ | 整数（ヌル） | 連絡先リストの存続時間。これは日数で表されます。 |
| AE_キャンペーン | タイムゾーン使用タイプ | タイムゾーン使用タイプ | Nvarchar (16)（ヌル） | このキャンペーンのタイムゾーン使用タイプ。 オプションは<br>なし – システムで構成されたタイムゾーンを使用します。継承 – グループで選択されたタイムゾーンを使用します。上書き – グループで設定された時間を上書き |

| | | | | |
|---|---|---|---|---|
| | | | | し、このキャンペーンにのみ指定された時間を使用します。 |
| AE_キャンペーン | Prefix | Prefix | nvarchar (10)（ヌル） | アップロードされた連絡先の先頭に文字列が付けられ、 |

| | | | | |
|---|---|---|---|---|
| | | | | 配達時間。 |
| AE_キャンペーン | サフィックス | サフィックス | Nvarchar (10)（ヌル） | 配信時にアップロードされた連絡先に付加される文字列。 |
| AE_キャンペーン | IsUL キャンペーン | IsUL キャンペーン | 少し（ヌルではない） | これによって、キャンペーンが共有リスト キャンペーンであるかどうかが決まります。 |
| AE_キャンペーン | 作成日時 | 作成日時 | nvarchar (ヌル) | キャンペーンが作成された日時。 |
| AE_キャンペーン | 更新日時 | 更新日時 | 日付時刻（ヌル） | キャンペーンが最後に更新された日時。 |
| AE_キャンペーン | ICMID | ICMID | int（ヌル） | ICM ID 通話に使用されます。 |
| AE_キャンペーン | メールしきい値 | メールしきい値 | 整数（ヌル） | このキャンペーンで 1 日あたりに配信できるメールの数、またはグローバル制限。 |
| AE_キャンペーン | IsPostCallScript | IsPostCallScript | ビット | このフラグは、通話後に実行する必要がある通話後スクリプトがあるかどうか |

| | | | | |
|---|---|---|---|---|
| | | | （ヌル） | を示します。 |
| AE_キャンペーン | ウィンドウ再試行 | ウィンドウ再試行 | ビット（ヌル） | このフラグはキャンペーンが設定されているかどうかを決定します |

| | | | | |
|---|---|---|---|---|
| | | | | ウィンドウ再試行付き。 |
| AE_キャンペーン | ウィンドウ試行 | ウィンドウ試行 | 整数（ヌル） | 特定の通話ウィンドウに設定された通話試行回数。 |
| AE_キャンペーン | ウィンドウ期間 | ウィンドウ期間 | int（ヌル） | int 呼び出しウィンドウの期間（日数）。 |
| AE_キャンペーン | 複数の郵便番号 | 複数の郵便番号 | ビット（ヌル） | これにより、キャンペーンがダイヤル時に複数の郵便番号を処理できるかどうかが決まります。 |
| AE_キャンペーン | 予測結果 | 予測結果 | 日付時刻（ヌル） | このキャンペーンの結果が得られると予測される時間。 |
| AE_キャンペーン | オープンレコードの予測 | オープンレコードの予測 | 整数（ヌル） | 予測された時間に返されるレコードの数。 |
| AE_キャンペーン | TTL ビジネスデイズ | TTL ビジネスデイズ | ビット（ヌル） | 存続期間が営業日として設定されている場合は、営業日数。 |

| | | | | |
|---|---|---|---|---|
| AE_キャンペーン | P2P | P2P | 少し（ヌルではない） | 支払い性向が有効かどうかを決定するフラグ。 |
| AE_キャンペーン | BTTC | BTTC | 少し（ヌルではない） | ベストかどうかを判断するフラグ<br>通話時間が有効になっています。 |
| AE_キャンペーン | 無効なデバイス ID を許可する | 無効なデバイス ID を許可する | 少し | 決定するためのフラグ |

| | | | | |
|---|---|---|---|---|
| | | | （ヌルではない） | 無効なデバイス ID 経由でのアクセスを提供できるかどうかを確認します。 |
| AE_キャンペーン | アイデンティティ認証 | アイデンティティ認証 | Nvarchar (64)（ヌル） | SSN、納税者番号など、認証する ID。 |
| AE_キャンペーン | アイデンティティ認証 | アイデンティティ認証 | 少し（ヌルではない） | ID 認証機能が有効かどうかを決定するフラグ。 |
| AE_キャンペーン | 常にクリックする | 常にクリックする | 少し（ヌルではない） | ダイヤルする前に連絡先を常にクリッカー エージェントに送信する必要があるかどうかを決定するフラグ。 |
| AE_キャンペーン | IVRTemplateEnable かどうか | IVRTemplateEnable かどうか | ビット（ヌル） | IVR テンプレートが有効かどうかを決定するフラグ。 |

| | | | | |
|---|---|---|---|---|
| AE_キャンペーン | IVRTemplateID | IVRTemplateID | 整数（ヌル） | この IVR テンプレート用に生成された IVR テンプレート。 |
| AE_キャンペーン | IVRTemplateName | IVRTemplateName | nvarchar (128)（ヌル） | IVR テンプレート名。 |
| AE_キャンペーン | 州法グループ | 州法グループ | nvarchar (128)（ヌル） | 州法グループ名。 |
| AE_キャンペーン | チャットボットアカウント | チャットボットアカウント | nvarchar (256)（ヌル） | |
| AE_キャンペーン | キャンペーンカテゴリ ID | キャンペーンカテゴリ ID | int（ヌル） | カメラの自動生成された ID は、 |

| | | | | |
|---|---|---|---|---|
| | | | | ペインカテゴリー。 |
| AE_キャンペーン | テナント ID | テナント ID | int（ヌル） | テナント ID |
| AE_キャンペーン | サブテナント ID | サブテナント ID | int（ヌル） | サブテナント ID |
| OBD_キャンペーン_パラメータ | キャンペーン ID | キャンペーン ID | nvarchar（64）（ヌルではない） | 作成時に自動生成されるキャンペーン ID。 |
| OBD_キャンペーン_パラメータ | 連絡先の優先順位 | 連絡先の優先順位 | int（ヌル） | 使用されていません。 |
| OBD_キャンペーン_パラメータ | パムスクリプト | パムスクリプト | nvarchar (16)（ヌル） | 使用されていません。 |
| OBD_キャンペーン_パラメータ | 認証コード | 認証コード | nvarchar (16)（ヌル） | 使用されていません。 |
| OBD_キャンペーン_パラメータ | 平日休業 | 平日休業 | nvarchar (32)（ヌル） | キャンペーンが実施されない曜日。 |
| OBD_キャンペーン_パラメータ | コールガイド | コールガイド | Nvarchar (16)（ヌル） | エージェントが従うためにこのキャンペーン用に設定されたコールガイド。 |

| | | | | |
|---|---|---|---|---|
| OBD_キャンペーン_パラメータ | エージェントコール分類 | エージェントコール分類 | 整数（ヌル） | 着信コールを分類/以前のコールと照合する必要があるかどうか。 0 は分類が無効、1 は有効です。 NULL も有効です。 |

| | | | | |
|---|---|---|---|---|
| OBD_キャンペーン_パラメータ | エージェント応答タイムアウト | エージェント応答タイムアウト | 整数（ヌル） | エージェントが通話に応答しない場合のタイムアウト（秒単位）。 |
| OBD_キャンペーン_パラメータ | 送信元アドレス | 送信元アドレス | Nvarchar (255)（ヌル） | キャンペーンから電子メールが送信されるときに [送信元] フィールドに入力される電子メール アドレス。 |
| OBD_キャンペーン_パラメータ | 返信先アドレス | 返信先アドレス | Nvarchar (255)（ヌル） | 顧客に送信されたキャンペーン メールへの返信を受信するメールアドレス。 |
| OBD_キャンペーン_パラメータ | バルクメール | バルクメール | 整数（ヌル） | 設定された電子メール サーバが大量の電子メールの送信をサポートしているかどうか。 |
| OBD_キャンペーン_パラメータ | メール連絡なし | メール連絡なし | 整数（ヌル） | この電子メール キャンペーンの電子メール受信者の数。 |
| OBD_キャンペーン_パラメータ | ブレンディングを有効にする | ブレンディングを有効にする | 整数（ヌル） | このフラグは、このキャンペーンでブレンディングが有効かどうかを決定しま |

| | | | | |
|---|---|---|---|---|
| | | | | す。 |
| OBD_キャンペーン_パラメータ | VD 番号 | VD 番号 | nvarchar (16)（ヌル） | 電子メールサーバが使用するポート番号。 |
| OBD_キャンペーン_ | VDN タイムアウト | VDN タイムアウト | int | タイムアウト（秒単位） |

| | | | | |
|---|---|---|---|---|
| パラメータ | | | （ヌル） | ポートが利用できません。 |
| OBD_キャンペーン_パラメータ | キュータイムアウト | キュータイムアウト | 整数（ヌル） | 連絡先が放棄されるまでにキュー内で過ごす時間。 |
| OBD_キャンペーン_パラメータ | 放棄者 | 放棄者 | 数値 (5,2)（ヌル） | 放棄された通話の割合。 |
| OBD_キャンペーン_パラメータ | 比率閾値 | 比率閾値 | 数値 (5,2)（ヌル） | このキャンペーンにアップロードできる連絡先の割合。 |
| OBD_キャンペーン_パラメータ | 特定のチャンネル | 特定のチャンネル | int（ヌル） | 使用されていません。 |
| OBD_キャンペーン_パラメータ | 永続性を有効にする | 永続性を有効にする | nvarchar (16)（ヌル） | 使用されていません。 |
| OBD_キャンペーン_パラメータ | 事前接続を有効にする | 事前接続を有効にする | Nvarchar (16)（ヌル） | これは大量のメールを送信するための事前接続です。メールがない場合は切断されます。 デフォルト値は -1 です。 |
| OBD_キャンペーン_パラメータ | 最終連絡先 ID | 最終連絡先 ID | int（ヌル） | 最後に更新された連絡先 ID。 |

| | | | | |
|---|---|---|---|---|
| OBD_キャンペーン_パラメータ | 予約済み 1 | 予約済み 1 | Nvarchar (16)（ヌル） | コンタクト配信時にキャンペーン用に予約されたフィールド。 |
| OBD_ | 予約済み 2 | 予約済み 2 | nvarchar | 予約済みの |

| | | | | |
|---|---|---|---|---|
| キャンペーン_パラメータ | | | (16)（ヌル） | コンタクト配信時にキャンペーンのフィールドを入力します。 |
| OBD_キャンペーン_パラメータ | 予約済み 3 | 予約済み 3 | Nvarchar (16)（ヌル） | コンタクト配信時にキャンペーン用に予約されたフィールド。 |
| OBD_キャンペーン_パラメータ | 予約済み 4 | 予約済み 4 | Nvarchar (16)（ヌル） | コンタクト配信時にキャンペーン用に予約されたフィールド。 |
| OBD_キャンペーン_パラメータ | 予約済み 5 | 予約済み 5 | Nvarchar (16)（ヌル） | コンタクト配信時にキャンペーン用に予約されたフィールド。 |
| OBD_キャンペーン_パラメータ | シスコキャンペーン ID | シスコキャンペーン ID | Nvarchar (32)（ヌル） | この（キャンペーン グループ）に対して Cisco によって生成されたキャンペーン ID。 |
| OBD_キャンペーン_パラメータ | シスコアップロードファイルパス | シスコアップロードファイルパス | nvarchar (256)（ヌル） | ダイヤラーに配信された連絡先をアップロードするためのパス。 |
| OBD_キャンペーン_パラメータ | シスコアラームタイム | シスコアラームタイム | nvarchar (32)（ヌル） | 使用されていません |

| | | | | |
|---|---|---|---|---|
| OBD_キャンペーン_パラメータ | シスコ初期コンタクト | シスコ初期コンタクト | bigint（ヌル） | 最初の反復でダイヤラーに配信される連絡先の数。 |
| OBD_ | シスコ還元因子 | シスコ還元因子 | int | 要因による |

| | | | | |
|---|---|---|---|---|
| キャンペーン_パラメータ | | | （ヌル） | ダイヤル速度が予想どおりでない場合は、コンタクトの配信を減らす必要があります。 |
| OBD_キャンペーン_パラメータ | シスコアップロードファイルフォーマット | シスコアップロードファイルフォーマット | Nvarchar (512)（ヌル） | 連絡先ファイルのアップロード ファイル形式 – txt、CSV、JSON など。 |
| OBD_キャンペーン_パラメータ | シスコ増加率 | シスコ増加率 | 整数（ヌル） | ダイヤルが予想よりも遅くなった場合に連絡先配信を増やす係数。 |
| OBD_キャンペーン_パラメータ | CISCODECREMENTPERCENT | CISCODECREMENTPERCENT | 整数（ヌル） | ダイヤルが予想よりも遅くなった場合に連絡先配信を減らす係数。 |
| OBD_キャンペーン_パラメータ | シスコ代替 EVDN | シスコ代替 EVDN | Nvarchar (32)（ヌル） | 何らかの障害が発生した場合に連絡先を配信するための代替キャンペーン ID Cisco。 |
| OBD_キャンペーン_パラメータ | シスコペリフェラリド | シスコペリフェラリド | int（ヌル） | スイッチの Cisco 内のポート番号。 |

| | | | | |
|---|---|---|---|---|
| OBD_キャンペーン_パラメータ | しきい値を下げる | しきい値を下げる | 整数（ヌル） | ダイヤルが予想よりも遅い場合、連絡先配信の上限しきい値が引き下げられます。 |
| OBD_キャンペーン_パラメータ | シスコしきい値増加-D | シスコしきい値増加-D | int（ヌル） | 上限の引き上げ |

| | | | | |
|---|---|---|---|---|
| | | | | ダイヤルが予想よりも遅い場合は、配信にお問い合わせください。 |
| OBD_キャンペーン_パラメータ | 州法を有効にする | 州法を有効にする | nvarchar (8) (ヌル) | 州法を有効にするかどうかを決定するフラグ。 |
| OBD_キャンペーン_パラメータ | キャンペーンの割合 | キャンペーンの割合 | 整数（ヌル） | このキャンペーンのダイヤラーに配信する連絡先の割合。 |
| OBD_キャンペーン_パラメータ | シーケンス ID | シーケンス ID | 整数（ヌル） | 共有リストまたはグループ内のキャンペーンの場合の連絡先配信の順序。 |
| OBD_キャンペーン_パラメータ | アラートしきい値 | アラートしきい値 | 整数（ヌル） | ダイヤラーで利用可能な連絡先が減少したときにアラートを送信するしきい値。 |
| OBD_キャンペーン_パラメータ | アラート（Alert） | アラート（Alert） | ビット（ヌル） | アラート通知が有効になっているかどうかを示します。 |
| OBD_キャンペーン_パラメータ | DNC を有効にする | DNC を有効にする | 少し（ヌル） | DNC を有効にする必要があるかどうかを決定するフラグ。 |

| | | | | |
|---|---|---|---|---|
| OBD_キャンペーン_パラメータ | グローバル DNC | グローバル DNC | ビット（ヌル） | アプリケーション内のすべてのキャンペーンにわたって連絡先に対して DNC を有効にする必要があるかどうかを決定するフラグ。 |

| | | | | |
|---|---|---|---|---|
| OBD_キャンペーン_パラメータ | 通知 | 通知 | ビット（ヌル） | 連絡先がコールバック連絡先であるかどうかを判断するためのフラグ。 |
| OBD_キャンペーン_パラメータ | PCB 再試行 | PCB 再試行 | 整数（ヌル） | 個人コールバックに許可される再試行回数。 |
| OBD_キャンペーン_パラメータ | PCB オフセット | PCB オフセット | 整数（ヌル） | パーソナルコールバックを再試行する必要があるまでの日数。 |
| OBD_キャンペーン_パラメータ | コールバック戦略 | コールバック戦略 | nvarchar (64)（ヌル） | キャンペーンにマップされたコールバック戦略。 |
| OBD_キャンペーン_パラメータ | 事前呼び出しスクリプトを使用する | 事前呼び出しスクリプトを使用する | 少し（ヌルではない） | このキャンペーンがダイヤル前に事前通話スクリプトを実行する必要があるかどうかを示すフラグ。 |
| OBD_キャンペーン_パラメータ | コールバック戦略タイプ | コールバック戦略タイプ | char (1) (ヌル) | ダイヤルに使用するコールバック戦略のタイプ（シンプル、詳細、またはコー |

| | | | | |
|---|---|---|---|---|
| | | | | ルバック）。 |
| OBD_キャンペーン_パラメータ | グローバル再試行回数のリセット | グローバル再試行回数のリセット | ビット（ヌル） | グローバル再試行カウントをリセットできるかどうかを決定するフラグ。 |
| OBD_キャンペーン_パラメータ | PEWC | PEWC | ビット（ヌル） | この連絡先が PEWC 連絡先であるかどうかを判断するためのフラグ。 |
| OBD_キャンペーン_パラメータ | 事前呼び出しスクリプト値 | 事前呼び出しスクリプト値 | 整数（ヌル） | 有効になっている場合に使用される呼び出し前スクリプト |

| | | | | |
|---|---|---|---|---|
| | | | | 連絡先にダイヤルする前に。 |
| OBD_キャンペーン_パラメータ | ポストコールスクリプト値 | ポストコールスクリプト値 | 整数（ヌル） | 連絡先にダイヤルした後、有効になっている場合に使用される通話後スクリプト。 |
| OBD_キャンペーン_パラメータ | キャンペーンタイプ | キャンペーンタイプ | 整数（ヌル） | キャンペーンの種類（音声、非音声など）。 |
| OBD_キャンペーン_パラメータ | ブロックエリア郵便番号 | ブロックエリア郵便番号 | 少し（ヌルではない） | ブロックされているエリアまたは郵便番号のため、連絡先にダイヤルできません。 |
| OBD_キャンペーン_パラメータ | 低接触警告通知 | 低接触警告通知 | ビット（ヌル） | 管理者にアラート通知が送信されるときにダイヤルアウトする残りの連絡先の下限。 |
| OBD_キャンペーン_パラメータ | 数分以内に通知 | 数分以内に通知 | 整数（ヌル） | 個人的なコールバックを事前に通知する時間。 |

| | | | | |
|---|---|---|---|---|
| OBD_キャンペーン_パラメータ | 最小連絡先 | 最小連絡先 | 整数（ヌル） | キャンペーンで配信する連絡先の最小数。 |
| OBD_キャンペーン_パラメータ | 所要時間（分） | 所要時間（分） | 整数（ヌル） | キャンペーンのコンタクト配信期間。 |
| OBD_ | 予測平均 ACW 時間 | 予測平均 ACW 時間 | int | 平均 |

| | | | | |
|---|---|---|---|---|
| キャンペーン_パラメータ | | | （ヌル） | 予測通話にかかるアフターコールワーク（ACW）時間。 |
| OBD_キャンペーン_パラメータ | 予測サンプル呼び出し数 | 予測サンプル呼び出し数 | 整数（ヌル） | この予測キャンペーンのサンプルコールの数。 |
| OBD_キャンペーン_パラメータ | 予測最大放棄率 | 予測最大放棄率 | 整数（ヌル） | 予測キャンペーンに許可される最大放棄率。 |
| OBD_キャンペーン_パラメータ | 予測通話状況カテゴリ | 予測通話状況カテゴリ | nvarchar (20)（ヌル） | このキャンペーンの予測通話カテゴリ。 |
| OBD_キャンペーン_パラメータ | 予測放棄通話ステータス | 予測放棄通話ステータス | nvarchar (100)（ヌル） | 予測通話が放棄されたかどうかを判断するためのフラグ。 |
| OBD_キャンペーン_パラメータ | 予測 AMD コールステータス | 予測 AMD コールステータス | Nvarchar (100)（ヌル） | 予測通話の留守番電話検出ステータス。 |
| OBD_キャンペーン_パラメータ | 予測平均接続時間 | 予測平均接続時間 | 整数（ヌル） | 予測コールをエージェントに接続するまでにかかる平均時間。 |

| | | | | |
|---|---|---|---|---|
| OBD_キャンペーン_パラメータ | AMD | AMD | ビット（ヌル） | このフラグは留守番電話検出が有効かどうかを決定します。 |
| OBD_キャンペーン_パラメータ | 予測最大同時通話数 | 予測最大同時通話数 | int（ヌル） | 最大同時通話数 |

| | | | | |
|---|---|---|---|---|
| | | | | 予測ペース設定モードで調整できます。 |
| OBD_キャンペーン_パラメータ | エージェントあたりの予測最大ライン数 | エージェントあたりの予測最大ライン数 | 整数（ヌル） | 予測キャンペーン用に設定されたエージェントあたりの最大行数。この値が 3 でエージェントが 3 人いる場合、反復ごとの連絡先の数は 9 になります。 |
| OBD_キャンペーン_パラメータ | タスクタイムアウト | タスクタイムアウト | 整数（ヌル） | 顧客がキューに留まる時間。<br>エージェントに接続されずに通話が放棄されます。 |
| OBD_キャンペーン_パラメータ | プレビュー自動承認時間 | プレビュー自動承認時間 | 整数（ヌル） | プレビュー通話を自動で受け入れるために設定された時間。 |
| OBD_キャンペーン_パラメータ | 予約タイムアウト | 予約タイムアウト | 整数（ヌル） | これは、エージェントが通話のために予約されている秒数です。<br>これはキャンペーン マネージャーでは編集できません。 |

| | | | | |
|---|---|---|---|---|
| OBD_キャンペーン_パラメータ | 自動ラップアップ時間 | 自動ラップアップ時間 | 整数（ヌル） | 通話を終了するために許可された時間。 |
| OBD_キャンペーン_ | メールチェーン日数 | メールチェーン日数 | int | 経過日数 |

| | | | | |
|---|---|---|---|---|
| パラメータ | | | （ヌルではない） | 電子メール連絡先を別のキャンペーンに連鎖させることができます。 |
| OBD_キャンペーン_パラメータ | メールチェーン時間 | メールチェーンインアワーズ | int（ヌルではない） | 電子メール連絡先を別のキャンペーンに連鎖できるようになるまでの時間数。 |
| OBD_キャンペーン_パラメータ | 必須配置 | 必須配置 | ビット（ヌル） | このフィールドは、通話の処理が必須かどうかを決定します。 |
| OBD_キャンペーン_パラメータ | DNC 期間タイプ | DNC 期間タイプ | varchar (32)（ヌル） | DNC タイプ – 永久または有効期間。 |
| OBD_キャンペーン_パラメータ | DNC 期間（日数） | DNC 期間（日数） | 整数（ヌル） | 連絡先が DNC としてマークされている日数。 |

| | | | | |
|---|---|---|---|---|
| OBD_キャンペーン_パラメータ | DNCEOD | DNCEOD | ビット（ヌル） | EOD 操作中に連絡先を DNC としてマークする必要があるかどうか。 |
| OBD_キャンペーン_パラメータ | DNCCustTZ が有効 | DNCCustTZ が有効 | ビット（ヌル） | このフラグは、顧客のタイムゾーンに基づいて連絡先を DNC としてマークできるかどうかを決定します。 |
| OBD_キャンペーン_ | DNC タイプ | DNC タイプ | varchar | DNC タイプ |

| | | | | |
|---|---|---|---|---|
| パラメータ | | | (32)（ヌル） | この連絡先について。オプションは、キャンペーン固有、キャンペーン カテゴリ、複数のカテゴリ、およびグローバルです。 |
| OBD_キャンペーン_パラメータ | 同意連絡先配布 | 同意連絡先配布 | 整数（ヌル） | 同意コールに配分されるコンタクトの割合。 |
| OBD_キャンペーン_パラメータ | 非同意コンタクト配信 | 非同意コンタクト配信 | 整数（ヌル） | 同意のない通話に配分される連絡先の割合。 |
| OBD_キャンペーン_パラメータ | 非同意タスクタイムアウト | 非同意タスクタイムアウト | 整数（ヌル） | 同意しない通話が放棄されるまでキュー内で待機する期間（秒）。 |
| OBD_キャンペーン_パラメータ | テナント ID | テナント ID | 整数（ヌル） | 新しいテナントが作成されるときにアプリケーションによって自動生成されるテナント ID。 |

| | | | | |
|---|---|---|---|---|
| OBD_キャンペーン_パラメータ | サブテナント ID | サブテナント ID | 整数（ヌル） | 新しいテナントが作成されるときにアプリケーションによって自動生成されるサブテナント ID。 |
| OBD_ | ProgIVRMax コンタクト | ProgIVRMax コンタクト | int | 最大 |

| | | | | |
|---|---|---|---|---|
| キャンペーン_パラメータ | | | （ヌル） | 設定された反復間隔でダイヤルするためにダイヤラに送信できる連絡先の数。 |
| OBD_キャンペーン_パラメータ | ダイヤル反復間隔 | ダイヤル反復間隔 | 整数（ヌル） | ダイヤラーに連絡先を配信するためのキャンペーンスレッドを実行する間隔(秒)。 |
| OBD_キャンペーン_ビジネス分野 | キャンペーン ID | キャンペーン ID | nvarchar（64）（ヌルではない） | 作成時に自動生成されるキャンペーン ID。 |
| OBD_キャンペーン_ビジネス分野 | フィールド名 | フィールド名 | nvarchar（64）（ヌルではない） | ビジネス フィールド名。 |
| OBD_キャンペーン_ビジネス分野 | データ型 | データ型 | nvarchar (32) (ヌルではない) | このビジネス フィールドのデータ型。 たとえば、文字列、数値、日時などです。 |
| OBD_キャンペーン_ビジネス分野 | 形式 | 形式 | nvarchar (32) (ヌルではない) | ビジネス フィールドの日付形式。 これは、ビジネス フィールドのデータ型が日付の場合 |

| | | | | |
|---|---|---|---|---|
| | | | | にのみアクティブになります。 |
| OBD_キャンペーン_ビジネス分野 | ビジネスフィールド | ビジネスフィールド | nvarchar (32) (ヌルではない) | ビジネス分野の位置づけは、 |

| | | | | |
|---|---|---|---|---|
| | | | | 25 が許可されました。 |
| OBD_キャンペーン_ビジネス分野 | SQL 式 | SQL 式 | nvarchar（64）（ヌルではない） | ビジネスパラメータの論理式値。連絡先を取得するために使用されます。報告目的にも使用されます。 |
| OBD_キャンペーン_ビジネス分野 | メールがマッピングされているか | メールがマッピングされているか | ビット（ヌル） | このフラグは、このビジネス フィールドが電子メール キャンペーンを通じて送信される電子メールのコンテンツにマップされているかどうかを示します。 |
| OBD_キャンペーン_ビジネス分野 | SMS マッピング済み | SMS マッピング済み | ビット（ヌル） | このフラグは、このビジネス フィールドが、SMS キャンペーンを通じて送信される SMS のコンテンツにマップされているかどうかを示します。 |
| OBD_キャンペーン_ビジネス分野 | DNCMapped かどうか | DNCMapped かどうか | ビット（ヌ | このフラグは、このビジネス フィールドが連絡先 DNC をマークする |

| | | | | |
|---|---|---|---|---|
| | | | ル） | ためにマップされているかどうかを示します。 |
| OBD_キャンペーン_ビジネス分野 | ビジネスタイプ ID | ビジネスタイプ ID | 整数（ヌル） | ビジネス タイプ ID。 ユーザが作成した場合は 0、Cisco ビジネス フィールドの場合は 1。 |
| OBD_キャンペーン_ビジネス分野 | 編集可能 | 編集可能 | 少し（ヌル） | このフラグは、ビジネスが |

| | | | | |
|---|---|---|---|---|
| | | | | フィールドはエージェントが編集可能です。 |
| OBD_キャンペーン_ビジネス分野 | シーケンス ID | シーケンス ID | 整数（ヌル） | 注文のためのビジネスパラメータのシーケンス ID。 |
| OBD_キャンペーン_ビジネス分野 | IsMax | IsMax | 少し（ヌルではない） | このフラグは、ビジネスフィールドが大きなデータ長を受け入れるように構成されているかどうかを決定します。 |
| OBD_キャンペーン_ビジネス分野 | 閲覧可能 | 閲覧可能 | 少し（ヌルではない） | このフラグは、ビジネス フィールドがエージェントに表示可能かどうかを決定します。 |
| OBD_キャンペーン_ビジネス分野 | IVRMapped かどうか | IVRMapped かどうか | 少し（ヌルではない | このフィールドは、ビジネス フィールドが IVR 構成にマップされるかどうかを決定します。 |

| | | | | |
|---|---|---|---|---|
| | | | ) | |
| OBD_キャンペーン_ビジネス分野 | SNS マップ済み | SNS マップ済み | ビット（ヌル） | このフィールドは、ビジネスフィールドが SNS にマッピングされるかどうかを決定します。(SendGrid) 構成。 |
| OBD_キャンペーン_ビジネス分野 | 文字長 | 文字長 | nvarchar (3) (ヌル) | このビジネスフィールドに許可される最大長。 |
| OBD_キャンペーン_ビジネス分野 | 顧客マスター | 顧客マスター | Nvarchar (250)（ヌル） | ビジネス パラメータに渡されるデフォルトの顧客データ。 |

| | | | | |
|---|---|---|---|---|
| OBD_キャンペーン_ビジネス分野 | テナント ID | テナント ID | 整数（ヌル） | 新しいテナントが作成されるときにアプリケーションによって自動生成されるテナント ID。 |
| OBD_キャンペーン_ビジネス分野 | サブテナント ID | サブテナント ID | 整数（ヌル） | 新しいテナントが作成されるときにアプリケーションによって自動生成されるサブテナント ID。 |
| AE_BSFTA-ジェントマッピング | ID | ID | int（ヌルではない） | キャンペーンをチームにマッピングするときに入力する ID 列。 |
| AE_BSFTA-ジェントマッピング | テナント ID | テナント ID | Nvarchar (50)（ヌル） | 新しいテナントが作成されるときにアプリケーションによって自動生成されるテナント ID。 |

| | | | | |
|---|---|---|---|---|
| AE_BSFTA-ジェントマッピング | エントリーポイント | エントリーポイント | nvarchar（最大）（ヌル） | エントリ ポイントは、プレビュー キャンペーンがマップされるキャンペーングループです。 |
| AE_BSFTA-ジェントマッピング | キャンペーン ID | キャンペーン ID | nvarchar（最大）（ヌル） | キャンペーン名 |
| AE_BSFTA-ジェントマッピング | AgentID | AgentID | nvarchar (64)（ヌル） | 使用されていません。 |
| AE_BSFTA-ジェントマッピング | エージェント名 | エージェント名 | nvarchar | 使用されていません。 |

| | | | | |
|---|---|---|---|---|
| | | | （最大）（ヌル） | |
| AE_BSFTA-ジェントマッピング | ユーザ ID | ユーザ ID | nvarchar（最大）（ヌル） | 管理コンソールでプレビューキャンペーンを作成したユーザのユーザ ID。 |
| AE_BSFTA-ジェントマッピング | チーム ID | チーム ID | nvarchar (64)（ヌル） | キャンペーンにマップされたチームの一意の ID。 |
| AE_BSFTA-ジェントマッピング | チーム名 | チーム名 | nvarchar（最大）（ヌル） | チーム名。 |
| AE_BSFTA-ジェントマッピング | サブテナント ID | サブテナント ID | 整数（ヌル） | 新しいテナントが作成されるときにアプリケーションによって自動生成されるサブテナント ID。 |

*OBD_CampaignBusinessFields テーブルのすべてのフィールドは、1 つの列 (CampaignBusinessParameter) に XML 値として入力されます。 これはすべてのダイヤラーに適用されます。

## キャンペーングループ

| ソーステーブル | 列名 | 表示名 | データタイプ | 説明 |
|---|---|---|---|---|

| | | | | |
|---|---|---|---|---|
| OBD_キャンペーン_グループ | キャンペーングループ ID | キャンペーングループ ID | int（ヌルではない） | 作成時に自動生成されるキャンペーン グループ ID。 |
| OBD_キャンペーン_グループ | キャンペーングループ | キャンペーングループ | nvarchar（64）（ヌル） | キャンペーングループ名。 |
| OBD_キャンペーン_ | 説明 | 説明 | nvarchar | キャンペーングループは、 |

| | | | | |
|---|---|---|---|---|
| グループ | | | (256)（ヌル） | ション。 |
| OBD_キャンペーン_グループ | シスコアップロードファイルパス | シスコアップロードファイルパス | nvarchar (250)（ヌル） | 連絡先のアップロード ファイルを配置するファイルアップロードパス。 |
| OBD_キャンペーン_グループ | シスコアラームタイム | シスコアラームタイム | nvarchar (16) (ヌル) | 使用されていません。 |
| OBD_キャンペーン_グループ | シスコイニシャル NOOF コンタクト-S | シスコイニシャル NOOF コンタクト-S | bigint（ヌル） | ダイヤラーに配信される連絡先の初期数。 |
| OBD_キャンペーン_グループ | シスコ還元因子 | シスコ還元因子 | bigint（ヌル） | ダイヤルのペースが予想どおりでない場合、コンタクトの配信を減らす必要がある要因。 |
| OBD_キャンペーン_グループ | シスコアップロードファイルフォーマット | シスコアップロードファイルフォーマット | Nvarchar (512)（ヌル） | テキスト、JSON などの連絡先ファイルのアップロード形式。 |
| OBD_キャンペーン_グループ | シスコ増加率 | シスコ増加率 | bigint（ヌル） | ダイヤルが予想よりも速かった場合の連絡先アップロード増加率。 |
| OBD_キャンペーン_グループ | CISCODECREMENTPERCENT | CISCODECREMENTPERCENT | bigint（ヌル） | ダイヤルが予想よりも速い場合の連絡先アップロードの減少率。 |

| | | | | |
|---|---|---|---|---|
| OBD_キャンペーン_グループ | ISCISCOGROUP | ISCISCOGROUP | int<br>（ヌル） | これが Cisco キャンペーン (グループ) であるかどうかを指定します。 |
| OBD_ | ゾーン名 | ゾーン名 | nvarchar | タイムゾーン |

| | | | | |
|---|---|---|---|---|
| キャンペーン_グループ | | | (128)（ヌル） | このキャンペーングループのために。 |
| OBD_キャンペーン_グループ | シスコ代替 EVDN | シスコ代替 EVDN | nvarchar（32）（ヌル） | 何らかの障害が発生した場合に連絡先を配信するための代替 Cisco キャンペーン ID。 |
| OBD_キャンペーン_グループ | シスコペリフェラリド | シスコペリフェラリド | int（ヌル） | スイッチの Cisco 内のポート番号。 |
| OBD_キャンペーン_グループ | しきい値を下げる | しきい値を下げる | 整数（ヌル） | ダイヤル速度に基づいて、最初の配信から削減される連絡先の数。 |
| OBD_キャンペーン_グループ | シスコのしきい値増加 | シスコのしきい値増加 | 整数（ヌル） | ダイヤル速度に基づいて、最初の配信から増加する連絡先の数。 |
| OBD_キャンペーン_グループ | 構成データ | 構成データ | Nvarchar (4000)（ヌル） | これは、グループとそのパラメータの詳細な構成データが利用可能かどうかを示します。 |
| OBD_キャンペーン_グループ | 削除済み | 削除済み | nvarchar (2) (ヌル) | キャンペーングループを削除するかどうかを指定します。 |

| | | | | |
|---|---|---|---|---|
| OBD_キャンペーン_グループ | 無効 | 無効 | nvarchar (2) (ヌル) | キャンペーングループがアクティブかどうかを指定します。 |
| OBD_キャンペーン_グループ | テナント ID | テナント ID | int （ヌル） | テナント ID の自動生成 |

| | | | | |
|---|---|---|---|---|
| | | | | 新しいテナントが作成されるときにアプリケーションによって実行されます。 |
| OBD_キャンペーン_グループ | IsUL グループ | IsUL グループ | 少し<br>（ヌルではない） | 共有リストキャンペーンかどうかを指定します。 |
| OBD_キャンペーン_グループ | UL グループマップ済み | UL グループマップ済み | 少し<br>（ヌルではない） | このキャンペーン グループが共有リストにマッピングされているかどうかを指定します。 |
| OBD_キャンペーン_グループ | 反復間隔 | 反復間隔 | int<br>（ヌルではない） | 2 回のコンタクト配信反復間の反復間隔。 |
| OBD_キャンペーン_グループ | 作成日時 | 作成日時 | 日時<br>（null） | このキャンペーン グループが作成された日時。 |
| OBD_キャンペーン_グループ | 更新日時 | 更新日時 | 日時<br>（null） | このキャンペーン グループが最後に更新された日時。 |
| OBD_キャンペーン_グループ | API 生成 | API 生成 | char<br>(1) (ヌル) | API を使用して作成されたキャンペーングループであるかどうかを指定します。 |

| | | | | |
|---|---|---|---|---|
| OBD_キャンペーン_グループ | スロットリングの有効化 | スロットリングの有効化 | ビット（ヌル） | このキャンペーン グループに対して IVR スロットルが有効になっているかどうかを指定します。 |
| OBD_キャンペーン_グループ | キャンペーン目的タイプ | キャンペーン目的タイプ | 整数（ヌル） | キャンペーンの目的の種類。 1 は API 音声キャンペーンを示します。2 は |

| | | | | |
|---|---|---|---|---|
| | | | | キャンペーンマネージャーグループ。 |
| OBD_キャンペーン_グループ | 予約タイムアウト | 予約タイムアウト | int（ヌル） | 使用されていません。 |
| OBD_キャンペーン_グループ | WxCC 参照 ID | WxCC 参照 ID | nvarchar（64）（ヌル） | キャンペーングループとして Campaign Manager に同期される Webex Contact Center エントリ ポイントの一意の ID |
| OBD_キャンペーン_グループ | IsWxCC グループ | IsWxCC グループ | ビット（ヌル） | このキャンペーン グループが Cisco Webex Contact Center ダイヤラーに属しているかどうかを指定します。 |
| OBD_キャンペーン_グループ | プラットフォームプロバイダー ID | プラットフォームプロバイダー ID | 整数（ヌル） | Campaign Manager で作成されたプラットフォームプロバイダーに対して自動生成された ID。 たとえば、CCaaS プロバイダープラットフォームが作成され、キャンペーンがこのプロバイダーに |

| | | | | |
|---|---|---|---|---|
| | | | | マップされている場合、このフィールドが使用されます。 |

キャンペーンフィルターグループ

| ソーステーブル | 列名 | 表示名 | データ | 説明 |
|---|---|---|---|---|

| | | | Type | |
|---|---|---|---|---|
| OBD_CAMPAIGN_カスタムフィルター | キャンペーン ID | キャンペーン ID | nvarchar（64）（ヌルではない） | これはキャンペーン名です。たとえば、コレクション。 |
| OBD_CAMPAIGN_カスタムフィルター | 曜日 | 曜日 | int（ヌルではない） | この値は、カスタム フィルタ グループを適用するように構成された曜日を示します。 |
| OBD_CAMPAIGN_カスタムフィルター | 時間から | 時間から | nvarchar（64）（ヌルではない） | アップロードされた連絡先を配信用にフィルタリングする開始時刻。 デフォルト値は 00:00 時間です。 |
| OBD_CAMPAIGN_カスタムフィルター | ホルト | ホルト | nvarchar (8) (ヌルではない) | アップロードされた連絡先を配信用にフィルタリングする終了時間。 デフォルト値は 23:59 時間です。 |
| OBD_CAMPAIGN_カスタムフィルター | カスタムフィルターグループ | カスタムフィルターグループ | nvarchar (32) (ヌルではない) | 連絡先配信のキャンペーンに適用されたカスタム フィルター グループの名前。 |
| OBD_CAMPAIGN_カスタムフィルター | ID | ID | int（ヌルではない） | 各レコードに固有の ID 列。 |

| | | | | |
|---|---|---|---|---|
| OBD_CAMPAIGN_カスタムフィルター | テナント ID | テナント ID | 整数（ヌル） | 新しいテナントが作成されるときにアプリケーションによって自動生成されるテナント ID。 |

| | | | | |
|---|---|---|---|---|
| OBD_CAMPAIGN_カスタムフィルター | サブテナント ID | サブテナント ID | 整数（ヌル） | 新しいテナントが作成されるときにアプリケーションによって自動生成されるサブテナント ID。 |
| OBD_カスタムフィルター | カスタムフィルターグループ ID | カスタムフィルターグループ ID | int（ヌルではない） | 新しいフィルタグループが作成されるときに自動生成されるカスタム フィルタ グループ ID。 |
| OBD_カスタムフィルター | カスタムフィルターグループ | カスタムフィルターグループ | nvarchar (32) (ヌルではない) | 作成されたカスタム フィルター グループの名前。 |
| OBD_カスタムフィルター | 説明 | 説明 | nvarchar（32）（ヌル） | カスタム フィルター グループの説明。 |
| OBD_カスタムフィルター | キャンペーン ID | キャンペーン ID | nvarchar（64）（ヌルではない） | これは、このカスタム フィルター グループが属するキャンペーン名です。 たとえば、コレクション。 |
| OBD_カスタムフィルター | デフォルト | デフォルト | ビット（ヌル） | これがキャンペーンのデフォルトのカスタム フィルター グループであるかどうかを指定します。 |

| | | | | |
|---|---|---|---|---|
| OBD_カスタムフィルター | テナント ID | テナント ID | 整数（ヌル） | 新しいテナントが作成されるときにアプリケーションによって自動生成されるテナント ID。 |
| OBD_カスタムフィルター | サブテナント ID | サブテナント ID | 整数（ヌル） | 新規テナントが登録された際にアプリケーションによって自動生成されるサブテナント ID |

| | | | | |
|---|---|---|---|---|
| | | | | テナントが作成されます。 |
| OBD_カスタムフィルターグループ | カスタムフィルターグループ | カスタムフィルターグループ | nvarchar (32) (ヌルではない) | カスタム フィルター グループの名前。 |
| OBD_カスタムフィルターグループ | キャンペーン ID | キャンペーン ID | nvarchar（64）（ヌルではない） | これは、このカスタム フィルター グループが属するキャンペーン名です。 たとえば、コレクション。 |
| OBD_カスタムフィルター | 条件 ID | 条件 ID | int（ヌルではない） | 条件が作成されたときにアプリケーションによって自動生成される条件 ID。 |
| OBD_カスタムフィルター | 条件名 | 条件名 | nvarchar（64）（ヌル） | このフィルター グループの条件部分の条件名。 |
| OBD_カスタムフィルター | 条件 STR | 条件 STR | nvarchar（最大）（ヌル） | 条件の一部となる文字列。 |
| OBD_カスタムフィルター | 条件 QRY | 条件 QRY | nvarchar（最大）（ヌル） | 条件の一部となるクエリ。 |
| OBD_カスタムフィルター | 有効 | 有効 | int（ヌル） | この条件が有効かどうかを指定します。 |
| OBD_カスタムフィルター | 割合 | 割合 | 数値 (5, 2)（ヌル） | 各条件で処理される連絡先の割合を定義します。 |

| | | | | |
|---|---|---|---|---|
| OBD_カスタムフィルター | シーケンス ID | シーケンス ID | int<br>（ヌル） | このコンに対して生成されたシーケンス ID は、 |

| | | | | |
|---|---|---|---|---|
| | | | | 編集。 |
| OBD_カスタムフィルター | システム条件 | システム条件 | nvarchar（64）（ヌル） | 連絡先をフィルタリングするためのシステム条件。 |
| OBD_カスタムフィルター | 並べ替え | 並べ替え | Nvarchar (2048)（ヌル） | 条件を満たすデータを表示する順序。 |
| OBD_カスタムフィルター | ターゲットグループ名 | ターゲットグループ名 | nvarchar（64）（ヌル） | 使用されていません。 |
| OBD_カスタムフィルター | 削除済み | 削除済み | ビット（ヌル） | この条件が削除され、使用できないかどうかを指定します。 |
| OBD_カスタムフィルター | 条件タイプ | 条件タイプ | int（ヌル） | 使用されていません。 |
| OBD_カスタムフィルター | ゾーン名マップ | ゾーン名マップ | nvarchar（最大）（ヌル） | この条件にマップされたゾーン名。 |
| OBD_カスタムフィルター | エクスポートされた条件 ID | エクスポートされた条件 ID | int（ヌル） | 使用されていません。 |
| OBD_カスタムフィルター | 条件 STR 情報 | 条件 STR 情報 | nvarchar（最大）（ヌル） | 連絡先をフィルタリングする条件。 |
| OBD_カスタムフィルターグループ | テナント ID | テナント ID | 整数（ヌル） | 新しいテナントが作成されるときにアプリケーションによって自動生成されるテナント ID。 |

| | | | | |
|---|---|---|---|---|
| OBD_カスタムフィルターグループ | サブテナント ID | サブテナント ID | 整数（ヌル） | 新しいテナントが作成されるときにアプリケーションによって自動生成されるサブテナント ID |

| | | | | |
|---|---|---|---|---|
| | | | | した。 |

*OBD_CustomFilters テーブルのすべてのフィールドは、XML 値として 1 つの列に入力されます。 **カスタムフィルタグループ**。 これはすべてのダイヤラーに適用されます。
**OBD_CustomFilterGroup テーブルのすべてのフィールドは、1 つの列に XML 値として入力されます。 **キャンペーンカスタムフィルター**。 これはすべてのダイヤラーに適用されます。

## カテゴリ

| ソーステーブル | 列名 | 表示名 | データタイプ | 説明 |
|---|---|---|---|---|
| OBD_キャンペーン_カテゴリー | キャンペーンカテゴリ ID | キャンペーンカテゴリ ID | int（ヌルではない） | 作成時にキャンペーン カテゴリに対して自動生成された ID。 |
| OBD_キャンペーン_カテゴリー | キャンペーンカテゴリ名 | キャンペーンカテゴリ名 | nvarchar（64）（ヌルではない） | 割り当てられたキャンペーン カテゴリ名。 |
| OBD_キャンペーン_カテゴリー | キャンペーンカテゴリ説明 | キャンペーンカテゴリ説明 | nvarchar (255)（ヌル） | キャンペーンカテゴリの説明。 |
| OBD_キャンペーン_カテゴリー | グループ ID | グループ ID | int（ヌルではない） | これが属するキャンペーンカテゴリ グループ。 |
| OBD_キャンペーン_カテゴリー | 作成日時 | 作成日時 | 日時（null ではない） | キャンペーンカテゴリが作成された日時。 |

| | | | | |
|---|---|---|---|---|
| OBD_キャンペーン_カテゴリー | 更新日時 | 更新日時 | 日時（null ではない） | キャンペーンカテゴリが最後に更新された日時。 |
| OBD_キャンペーン_カテゴリー | エクスポートされたカテゴリ ID | エクスポートされたカテゴリ ID | 整数（ヌル） | これは特定の購読解除グループ ID を示します。 |

| | | | | |
|---|---|---|---|---|
| | | | | 専門カテゴリー。 |
| OBD_キャンペーン_カテゴリー | テナント ID | テナント ID | 整数（ヌル） | 新しいテナントが作成されるときにアプリケーションによって自動生成されるテナント ID。 |
| OBD_キャンペーン_カテゴリー | サブテナント ID | サブテナント ID | 整数（ヌル） | 新しいテナントが作成されるときにアプリケーションによって自動生成されるサブテナント ID。 |

## チャネル

| ソーステーブル | 列名 | 表示名 | データ タイプ | 説明 |
|---|---|---|---|---|
| OBD_チャンネルタイプ | チャンネル ID | チャンネル ID | int（ヌルではない） | 作成時に自動生成されたチャンネル ID。 |
| OBD_チャンネルタイプ | チャンネル説明 | チャンネル説明 | nvarchar（32）（ヌル） | チャンネルの説明。 |
| OBD_チャンネルタイプ | カスタムモード | カスタムモード | ビット（ヌル） | このチャネル用にカスタム作成されたモードであるかどうかを指定します。 |

| | | | | |
|---|---|---|---|---|
| OBD_チャンネルタイプ | ダイヤラー名 | ダイヤラー名 | nvarchar（80）（ヌル） | ダイヤラー名。これは、アプリケーションが連絡先を配信するダイヤラーです。 |
| OBD_チャンネルタイプ | テナント ID | テナント ID | 整数（ヌル） | 新しいテナントが作成されるときにアプリケーションによって自動生成されるテナント ID。 |

| | | | | |
|---|---|---|---|---|
| OBD_チャンネルタイプ | サブテナント ID | サブテナント ID | 整数（ヌル） | 新しいテナントが作成されるときにアプリケーションによって自動生成されるサブテナント ID。 |
| OBD_チャンネルタイプ | サブダイヤラー名 | サブダイヤラー名 | nvarchar（64）（ヌル） | サブダイヤラーの名前。 |

## 連絡先ステータス

| ソーステーブル | 列名 | 表示名 | データ タイプ | 説明 |
|---|---|---|---|---|
| OBD_連絡先_ステータス_マッピング | ステータス ID | ステータス ID | nvarchar (3) (NULL ではない) | これは、ユーザに対して自動生成された一意の識別子です。 |
| OBD_連絡先_ステータス_マッピング | ステータス説明 | ステータス説明 | nvarchar（256）（ヌル） | キャンペーン用に設定されたビジネス　フィールド。すべての事業分野を一覧表示します。 |
| OBD_連絡先_ステータス_マッピング | テナント ID | テナント ID | int（ヌル） | ビジネス フィールドのデータ型 – Number、Float、または DateTime。 |
| OBD_連絡先_ステータス_マッピング | サブテナント ID | サブテナント ID | int（ヌル） | ビジネス フィールドのデータ型がフィールドの場合、日付の形式。 |
| OBD_連絡先_ステータス_マッピング | ステータスタイプ | ステータスタイプ | varchar（32）（ヌル） | ステータスのタイプまたはカテゴリ。 |

## ダイヤルプランの詳細

| ソーステーブル | 列名 | 表示名 | データ タイプ | 説明 |
|---|---|---|---|---|

| | | | | |
|---|---|---|---|---|
| OBD_DPDe-裏 | ダイヤルプラン名 | ダイヤルプラン名 | nvarchar（64）（ヌルではない） | ダイヤル プラン名。 |
| OBD_DPDe-裏 | 説明 | 説明 | nvarchar (128) (ヌルではない) | ダイヤル プランの説明。 |
| OBD_DPDe-裏 | 開始時間 | 開始時間 | datetime（ヌルではない） | このダイヤルプランが有効な日時 |

| | | | | |
|---|---|---|---|---|
| | | | | から。 |
| OBD_DPDe-裏 | 終末 | 終末 | datetime<br>（ヌルではない） | このダイヤル プランの有効期限が切れる日時。 |
| OBD_DPDe-裏 | 削除済み | 削除済み | int<br>（ヌルではない） | これは、ダイヤル　プランが削除されているか、アクティブになっているかを示します。 |
| OBD_DPDe-裏 | 型番 | 型番 | int<br>（ヌルではない） | ダイヤル プラン内のこのモードのモード番号(優先順位)。 |
| OBD_DPDe-裏 | 重量 | 重量 | int<br>（ヌルではない） | ダイヤルアウト時にこのモードに与えられる重み。 |
| OBD_DPDe-裏 | チャンネルタイプ | チャンネルタイプ | int<br>（ヌルではない） | チャネルの種類。たとえば、音声、SMS、電子メール。<br>SMS に 1、VOICE に 2、EMAIL の場合は 3、CPAAS の場合は 4、IVR の場合は 0 です。 |
| OBD_DPDe-裏 | 最大再試行 | 最大再試行 | int<br>（ヌルではない） | このダイヤル プランに従って許可される最大再試行回数。 |
| OBD_DPDe-裏 | PEWC | PEWC | 少し<br>（ヌルではない） | これが PEWC であるかどうかを示します。PEWC には事前の明示的な書面による同意が必要です。 |
| OBD_DPDe-裏 | ウィンドウ再試行 | ウィンドウ再試行 | 少し<br>（ヌル） | このダイヤル プランで構成されている再試行ウィンドウの数。 |

| | | | | |
|---|---|---|---|---|
| OBD_DPDe-裏 | ウィンドウ試行 | ウィンドウ試行 | 整数（ヌル） | このダイヤル プランで設定されている各ウィンドウの試行回数。 |
| OBD_DPDe-裏 | ウィンドウ期間 | ウィンドウ期間 | int（ヌル） | ダイヤル プランに従ったウィンドウの継続時間。 |
| OBD_DPDe-裏 | コールバックキャリーリトライ | コールバックキャリーリトライ | 少し（ヌル） | コールバックの試行で再試行回数を増やす必要があるかどうか。 |
| OBD_DPDe-裏 | テナント ID | テナント ID | int（ヌル） | 新規テナントが登録されたときにアプリケーションによって自動生成されるテナント ID |

| | | | | |
|---|---|---|---|---|
| | | | | テナントが作成されます。 |
| OBD_DPDe-裏 | サブテナント ID | サブテナント ID | 整数（ヌル） | 新しいテナントが作成されるときにアプリケーションによって自動生成されるサブテナント ID。 |
| OBD_DPDe-裏 | オーバーライド | オーバーライド | 少し（ヌルではない） | デフォルトの動作または設定が上書きされたかどうかを示します。 |

## [ユーザ（Users）]

| ソーステーブル | 列名 | 表示名 | データ タイプ | 説明 |
|---|---|---|---|---|
| OBD_ユーザ | ユーザ ID | ユーザ ID | int（ヌルではない） | これは、ユーザに対して自動生成された一意の識別子です。 |
| OBD_ユーザ | ユーザ ID | ユーザ ID | nvarchar（100）（ヌル） | これはログインユーザ ID です。 |
| OBD_ユーザ | 名前 | 名前 | nvarchar（100）（ヌル） | ユーザの名前。 |
| OBD_ユーザ | パスワード | パスワード | nvarchar（1024）（ヌル） | ユーザがアプリケーションにログインするためのパスワード。 |
| OBD_ユーザ | 住所 1 | 住所 1 | nvarchar（32）（ヌル） | ユーザの郵便番号の最初の行。 |
| OBD_ユーザ | 住所 2 | 住所 2 | nvarchar（32）（ヌル） | ユーザの郵便住所の 2 行目 (ある場合)。 |

| | | | | |
|---|---|---|---|---|
| OBD_ユーザ | 市 | 市 | nvarchar (16) (ヌル) | ユーザが属する都市。 |
| OBD_ユーザ | 州 | 州 | nvarchar (16) (ヌル) | 上記の市区町村/州/住所の郵便番号。 |
| OBD_ユーザ | PIN | PIN | nvarchar (8) (ヌル) | 上記の市区町村/州/住所の郵便番号。 |

| | | | | |
|---|---|---|---|---|
| OBD_ユーザ | 自宅の電話番号 | 自宅の電話番号 | nvarchar (16) (ヌル) | ユーザの Home 電話番号。 |
| OBD_ユーザ | 携帯電話 | 携帯電話 | nvarchar (16) (ヌル) | ユーザの携帯電話番号。 |
| OBD_ユーザ | 電子メールID (Email-Id) | 電子メールID (Email-Id) | nvarchar（64）（ヌル） | ユーザの電子メールアドレス。 |
| OBD_ユーザ | コメント | コメント | nvarchar（128）（ヌル） | 入力されたユーザに関する追加コメント。 |
| OBD_ユーザ | クリエイトタイム | クリエイトタイム | 日時（null） | アプリケーション上でユーザが作成された日時。 |
| OBD_ユーザ | ユーザ作成 | ユーザ作成 | nvarchar (16) (ヌル) | このユーザを作成した人物 (ユーザ)。 |
| OBD_ユーザ | 認証タイプ | 認証タイプ | 整数（ヌル） | このユーザに対して有効になっている認証タイプ。 オプションは、Windows 認証、データベース認証、および SSO 認証です。 |
| OBD_ユーザ | ユーザタイプ | ユーザタイプ | 整数（ヌル） | これは、ユーザが管理者ユーザであるか、指定されたアクセス権を持つロールベースのユーザであるかを示します。 |
| OBD_ユーザ | ユーザマップ済み | ユーザマップ済み | 少し（ヌル） | |
| OBD_ユーザ | Salesforce について | IsSalesforce | bit (null) | If this is a Service Cloud Voice-enabled user, this value is specified as 1. Else, it is 0. |

| | | | | |
|---|---|---|---|---|
| OBD_Users | IsConcurrentLogin | IsConcurrentLogin | bit<br>(null<br>) | This indicates if the user is allowed to login concurrently from another |

| | | | | |
|---|---|---|---|---|
| | | | | device. Possible val- ues – 0 if not allowed; 1 if allowed. |
| OBD_Users | NeverExpires | NeverExpires | bit (not null) | This is the setting to ensure the pass- word never expires. Set 1 if the pass- word never expires; 0 if the password expires and needs to be reset. |
| OBD_Users | NextLogonPassword | NextLogonPassword | bit (not null) | This is the setting to force the user to change the pass- word at the next log on attempt. Set 1 to force the user to change password; 0 to allow log in with old password. |
| OBD_Users | CreateUserInDomain | CreateUserInDomain | bit (not null) | This determines if the user is created on the domain when created here. 1 if the user is created on the domain; 0 if not created on the domain. |
| OBD_Users | IsDeleted | IsDeleted | bit (null ) | This indicates a deleted user. The value is 1 if the user is deleted; 0 if not deleted user. |
| OBD_Users | ModifiedBy | ModifiedBy | nvarchar (10) (null) | This denotes the user information modification route – via the application or an API method. |

| | | | | |
|---|---|---|---|---|
| OBD_Users | TenantID | TenantID | int<br>(null<br>) | The Tenant ID auto-generated by the application when a new tenant is cre- |

| | | | | |
|---|---|---|---|---|
| | | | | ated. |
| OBD_Users | SubTenantID | SubTenantID | int (null ) | The Sub Tenant ID autogenerated by the application when a new tenant is created. |

## プロファイル（**Profile**）

| **Source Table** | 列名 | 表示名 | データ タイプ | 説明 |
|---|---|---|---|---|
| OBD_AutoUp-loadParam | ID | ID | int (not null) | The auto-generated ID for the Profile. |
| OBD_AutoUp-loadParam | CampaignID | CampaignID | nvarchar (64) (null) | The campaign ID for the pro-file to upload contacts. |
| OBD_AutoUp-loadParam | ProfileName | ProfileName | nvarchar (512) (null) | The profile name. |
| OBD_AutoUp-loadParam | FileHeaders | FileHeaders | nvarchar (4000) (null) | The header details of the contact upload file. |
| OBD_AutoUp-loadParam | SrcDetails | SrcDetails | varchar (512) (null) | The name of upload file con-taing the con-tacts. |
| OBD_AutoUp-loadParam | Priority | Priority | varchar (8) (null) | The priority for the contact uploaded via this profile. |
| OBD_AutoUp-loadParam | ContactMoment | ContactMoment | varchar (26) (null) | A specific date and time to dial out the con- tact. |

| | | | | |
|---|---|---|---|---|
| OBD_AutoUp-loadParam | AgentID | AgentID | varchar (8) (null) | この連絡先を処理するエージェントのエージェント ID。 |

| | | | | |
|---|---|---|---|---|
| OBD_AutoUpload Param | タイムゾーン | タイムゾーン | nvarchar (128) （ヌル） | このプロフィール経由でアップロードされる連絡先のタイムゾーン。 |
| OBD_AutoUpload Param | モード | モード | Nvarchar (512) （ヌル） | このプロファイル経由で連絡先をアップロードできるモード。 |
| OBD_AutoUpload Param | ビジネスフィールド | ビジネスフィールド | Nvarchar (2000) （ヌル） | 連絡先アップロード ファイル内の連絡先のビジネスフィールド。 |
| OBD_AutoUpload Param | 郵便番号 | 郵便番号 | int （ヌル） | 連絡先郵便番号 |
| OBD_AutoUpload Param | アップロードタイプ | アップロードタイプ | ンチャー (1) (ヌル) | アップロードタイプ – JSON、API など。 |
| OBD_AutoUpload Param | ソースタイプ | ソースタイプ | varchar (8) (ヌル) | これは、連絡先アップロード ファイルのソース タイプです (データベース テーブル/ビュー、Service Cloud Voice ファイル、テキスト ファイル、JSON など)。 |
| OBD_AutoUpload Param | SMS データ | SMS データ | varchar (20) (ヌル) | このプロファイルを介してマップされるメッセージ テキスト。 |

| | | | | |
|---|---|---|---|---|
| OBD_AutoUpload Param | DNC の適用 | DNC の適用 | ビット（ヌル） | これは、プロファイルで DNC 検証が有効になっているかどうかを示します。 有効な場合は 1、有効でない場合は 0 になります。 |
| OBD_AutoUp- | ユーザー ID | ユーザー ID | varchar | ユーザ ID |

| | | | | |
|---|---|---|---|---|
| ロードパラメータ | | | （50）（ヌル） | このプロファイルを作成したユーザ。 |
| OBD_AutoUpload Param | 日付 | 日付 | datetime（ヌル） | プロファイルが作成された日時。 |
| OBD_AutoUpload Param | 重複フィルター | 重複フィルター | ビット（ヌル） | アップロード時に連絡先の重複をチェックするかどうか。 |
| OBD_AutoUpload Param | 重複フィルターキー ID | 重複フィルターキー ID | varchar（50）（ヌル） | アップロード前に連絡先の重複がチェックされるキー。 |
| OBD_AutoUpload Param | 連絡先 | 連絡先 | nvarchar（最大）（ヌル） | これには、プロファイル フィールドのマッピング情報が含まれます。 |
| OBD_AutoUpload Param | メール件名 | メール件名 | varchar (8) (ヌル) | 電子メール メッセージの件名。 |
| OBD_AutoUpload Param | メールメッセージ | メールメッセージ | varchar (8) (ヌル) | 電子メールメッセージの本文。 |
| OBD_AutoUpload Param | メール添付 | メール添付 | varchar (8) (ヌル) | 添付ファイルが電子メールの一部であるかどうか。 |
| OBD_AutoUpload Param | SMS テキスト | SMS テキスト | varchar (8) (ヌル) | SMS メッセージ テキスト。 |
| OBD_AutoUpload Param | デリミタ | デリミタ | char (1) (ヌル) | アップロード ファイルで使用され |

| | | | | |
|---|---|---|---|---|
| | | | | る区切り文字。 |
| OBD_AutoUpload Param | エリアコード区切り文字 | エリアコード区切り文字 | char (1) (ヌル) | 市外局番と電話番号を区切るために使用される区切り文字。 |

| | | | | |
|---|---|---|---|---|
| OBD_AutoUpload Param | 連絡先次回アップロード時間 | 連絡先次回アップロード時間 | 日時（null） | 連絡先ファイルをアップロードする日時。 これは、Service Cloud 音声およびデータベース プロファイルのアップロードに適用されます。 |
| OBD_AutoUpload Param | スクラブ次のアップロード時間 | スクラブ次のアップロード時間 | 日時（null） | スクラブ ファイルの連絡先がアップロードされる日時。 これは、Service Cloud 音声およびデータベース プロファイルのアップロードに適用されます。 |
| OBD_AutoUpload Param | 自動アップロード時間 | 自動アップロード時間 | nvarchar (16) (ヌル) | ファイルが自動的にアップロードされた日時。 |
| OBD_AutoUpload Param | 最終アップロード | 最終アップロード | nvarchar (16) (ヌル) | このプロフィールからの最後のアップロードの日時。 |
| OBD_AutoUpload Param | バスフィールドの更新 | バスフィールドの更新 | ビット（ヌル） | このプロフィール経由でアップロードされた連絡先のビジネス フィールドを更新するかどうか。 |

| | | | | |
|---|---|---|---|---|
| OBD_AutoUpload Param | 更新するリスト ID | 更新するリスト ID | Nvarchar (1024)（ヌル） | プロファイル経由で新しいアップロードが実行されたときにリスト ID を更新するかどうか。 |
| OBD_AutoUpload Param | 状態 | 状態 | int（ヌル） | 連絡先が属する州。 |

| | | | | |
|---|---|---|---|---|
| OBD_AutoUpload Param | DNC ビジネス分野 | DNC ビジネス分野 | nvarchar (128) （ヌル） | 連絡先を DNC として マークすると 見なされるフ ィールド。 |
| OBD_AutoUpload Param | アップロードレベル | アップロードレベル | char (1) (ヌル) | このファイル 内の連絡先の アップロード レベル – グローバルま たはキャンペ ーン固有のア ップロード。 |
| OBD_AutoUpload Param | 追加 | 追加 | ビッ ト （ヌ ル） | アップロード プロセス中に 連絡先を追加 するかどう か。 |
| OBD_AutoUpload Param | 更新 | 更新 | ビッ ト （ヌ ル） | アップロード プロセス中に 連絡先を更新 するかどう か。 |
| OBD_AutoUpload Param | 上書き | 上書き | ビッ ト （ヌ ル） | アップロード 処理中に連絡 先を上書きす るかどうか。 |
| OBD_AutoUpload Param | DNC キャンペーン ID | DNC キャンペーン ID | nvarchar （最大） （ヌル） | 連絡先が特定 のキャンペー ンに対して DNC としてマ ークされてい る場合、DNC |

| | | | | |
|---|---|---|---|---|
| | | | | となっているキャンペーンID。 |
| OBD_AutoUpload Param | DNC 国コード | DNC 国コード | int（ヌル） | DNC 連絡先の国コード。 |
| OBD_AutoUpload Param | DNCAreaCode | DNCAreaCode | int（ヌル） | DNC 連絡先の市外局番。 |
| OBD_AutoUpload Param | DNCC バリュー | DNCC バリュー | 整数（ヌル） | DNCC 値としてマップされたファイルヘッダーのインデックスを保存します。 |

| | | | | |
|---|---|---|---|---|
| | | | | プロファイル内の DNC フィルター。 |
| OBD_AutoUpload Param | DNC インポートモード | DNC インポートモード | ンチャー (1) (ヌル) | DNC インポート モード – 自動または手動アップロード。 |
| OBD_AutoUpload Param | DNC タイプ | DNC タイプ | char (1) (ヌル) | DNC タイプ – キャンペーン、カテゴリ、またはグローバル。 |
| OBD_AutoUpload Param | 永遠に | 永遠に | ビット（ヌル） | 連絡先が DNC Forever としてマークされているかどうか。 |
| OBD_AutoUpload Param | NDNC ビジネス分野 | NDNC ビジネス分野 | 整数（ヌル） | 連絡先が NDNC としてマークされる基準となるビジネス フィールド。 |
| OBD_AutoUpload Param | プロファイル実行時間 | プロファイル実行時間 | nvarchar（60）（ヌル） | 連絡先をアップロードするためにプロファイルが実行された日時。 |
| OBD_AutoUpload Param | プロファイルパス | プロファイルパス | Nvarchar (256)（ヌル） | このプロファイル経由でアップロードする連絡先ファイルが配置されるパス。 |

| | | | | |
|---|---|---|---|---|
| OBD_AutoUpload Param | 郵便番号（任意） | 郵便番号（任意） | nvarchar（64）（ヌル） | このプロファイルのオプションの追加郵便番号。 |
| OBD_AutoUpload Param | モード_郵便番号 | モード_郵便番号 | nvarchar (100)（ヌル） | プロファイル内のモードにマップされた郵便番号。 |
| OBD_AutoUpload Param | 条件 STR | 条件 STR | Nvarchar (2048)（ヌル） | これは、一致する条件のアップロードに使用されるカスタムフィルタ条件です。 |

| | | | | |
|---|---|---|---|---|
| | | | | このプロフィールを通じてタクトを振るうことができます。 |
| OBD_AutoUpload Param | メール CC | メール CC | nvarchar（最大）（ヌル） | キャンペーンメールが送信されるときにコピーされるメール アドレス。 |
| OBD_AutoUpload Param | メール BCC | メール BCC | nvarchar（最大）（ヌル） | キャンペーンメールが送信されるときにブラインドカーボンコピーを受信する電子メール アドレス。 |
| OBD_AutoUpload Param | プロフィールステータス | プロフィールステータス | 少し（ヌル） | プロファイルのステータス – アクティブまたは非アクティブ。 |
| OBD_AutoUpload Param | リードスコア | リードスコア | int（ヌル） | 連絡先のリード スコア。 |
| OBD_AutoUpload Param | ファイルタイプ | ファイルタイプ | nvarchar (10) (ヌル) | プロフィールアップロードファイルの種類。 たとえば、JSON、テキストなど。 |
| OBD_AutoUpload Param | ファイルタイプフォーマット | ファイルタイプフォーマット | nvarchar (10) (ヌル) | これはプロファイルで選択されたファイル拡張子です。 |

| | | | | |
|---|---|---|---|---|
| OBD_AutoUpload Param | DNC 開始日 | DNC 開始日 | varchar (16) (ヌル) | 連絡先が DNC ステータスを開始する日時。 |
| OBD_AutoUpload Param | DNC 終了日 | DNC 終了日 | varchar (16) (ヌル) | 連絡先が DNC 連絡先ではなくなる終了日時。 |
| OBD_AutoUpload Param | DNCDateFormat | DNCDateFormat | varchar（32）（ヌル） | DNC 日付の日付形式。 |

| | | | | |
|---|---|---|---|---|
| OBD_AutoUpload Param | デバイス ID | デバイス ID | Nvarchar (255) （ヌル） | ID 認証通知を送信するデバイスの ID。 |
| OBD_AutoUpload Param | 固定幅データ | 固定幅データ | nvarchar （最大） （ヌル） | アップロードされるデータが固定幅ファイルからのものであるかどうか。 |
| OBD_AutoUpload Param | 市外局番 | 市外局番 | int （ヌルではない） | 連絡先の市外局番。 |
| OBD_AutoUpload Param | 市区町村 | 市区町村 | int （ヌルではない） | 連絡先の都市。 |
| OBD_AutoUpload Param | ゾーン名 | ゾーン名 | int （ヌルではない） | 連絡先が属するゾーン名。 |
| OBD_AutoUpload Param | DNC キャンペーンカテゴリ ID | DNC キャンペーンカテゴリ ID | nvarchar （最大） （ヌル） | 連絡先を DNC としてマークするためのキャンペーン カテゴリ。 |
| OBD_AutoUpload Param | 条件 STR 情報 | 条件 STR 情報 | nvarchar （最大） （ヌル） | このフィールドには、連絡先のスクラブに使用されるプロファイルの条件が格納されます。 |
| OBD_AutoUpload Param | IsBusinessFieldDNC | IsBusinessFieldDNC | ビット （ヌ | ビジネス フィールドをフィルターとして使用して連絡先を DNC とし |

| | | | | |
|---|---|---|---|---|
| | | | ル） | てマークするかどうか。 |
| OBD_AutoUpload Param | テナント ID | テナント ID | 整数（ヌル） | 新しいテナントが作成されるときにアプリケーションによって自動生成されるテナント ID。 |
| OBD_AutoUpload Param | サブテナント ID | サブテナント ID | int（ヌル） | サブテナント ID は、 |

| | | | | |
|---|---|---|---|---|
| | | | | 新しいテナントが作成された場合にアプリケーションを実行します。 |
| OBD_AutoUpload Param | 同意タイプ | 同意タイプ | nvarchar (16) (ヌルではない) | 同意の種類 - 連絡先が PEWC であるか非 PEWC であるか。 |
| OBD_AutoUpload Param | CPT タイムゾーンタイプ | CPT タイムゾーンタイプ | varchar (8) (ヌル) | 通話する顧客希望時間 (CPT) のタイムゾーン タイプ。 たとえば、キャンペーンのタイムゾーン、州のタイムゾーンなどです。 |
| OBD_AutoUpload Param | CPT タイムゾーン | CPT タイムゾーン | varchar (8) (ヌル) | 電話をかける顧客希望時間 (CPT) のタイムゾーン。 たとえば、キャンペーンのタイムゾーン、州のタイムゾーンなどです。 |
| OBD_AutoUpload Param | CPT 曜日 | CPT 曜日 | varchar (8) (ヌル) | CPT の曜日。 |
| OBD_AutoUpload Param | CPT タイムフォーマット | CPT タイムフォーマット | nvarchar (16) (ヌル) | CPT の時間形式。 |

| | | | | |
|---|---|---|---|---|
| OBD_AutoUpload Param | スロット開始時間 | スロット開始時間 | varchar (8) (ヌル) | 顧客が希望する最初のスロットの開始時刻。 |
| OBD_AutoUpload Param | スロット終了時間 | スロット終了時間 | varchar (8) (ヌル) | 顧客が希望する最初のスロットの終了時刻。 |

| | | | | |
|---|---|---|---|---|
| OBD_AutoUpload Param | スロット B 開始時間 | スロット B 開始時間 | varchar (8) (ヌル) | 顧客が希望する 2 番目の最初のスロットの開始時刻。 |
| OBD_AutoUpload Param | スロット終了時間 | スロット終了時間 | varchar (8) (ヌル) | 顧客が希望する 2 番目のスロットの終了時刻。 |
| OBD_AutoUpload Param | スロット C 開始時間 | スロット C 開始時間 | varchar (8) (ヌル) | 顧客が希望する 3 番目のスロットの開始時刻。 |
| OBD_AutoUpload Param | スロット終了時間 | スロット終了時間 | varchar (8) (ヌル) | 顧客が希望する 3 番目のスロットの終了時刻。 |
| OBD_AutoUpload Param | エリアコード対応 | エリアコード対応 | 少し（ヌルではない） | 市外局番が有効かどうか – これは電話番号と区別するためです。 |
| OBD_AutoUpload Param | エリアコードサブ文字列 | エリアコードサブ文字列 | nvarchar (10) (ヌル) | 電話番号を市外局番から分離する市外局番の部分文字列。 |

モード

| ソーステーブル | 列名 | 表示名 | データ タイプ | 説明 |
|---|---|---|---|---|
| OBD_モード | 最小長さ | 最小長さ | 整数（ヌル） | このモードの連絡先電話番号の最小の長さ。 |

| | | | | |
|---|---|---|---|---|
| OBD_モード | 最大長 | 最大長 | 整数（ヌル） | この連絡先電話番号の最大文字数は |

| | | | | |
|---|---|---|---|---|
| | | | | モード。 |
| OBD_モード | チャンネル ID | チャンネル ID | int（ヌルではない） | モードがマップされるチャネル ID。 |
| OBD_モード | 作成日時 | 作成日時 | datetime（ヌル） | このモードが作成された日時。 |
| OBD_モード | 更新日時 | 更新日時 | 日時（null） | このモードが最後に更新された日時。 |
| OBD_モード | エクスポートモード ID | エクスポートモード ID | int（ヌル） | 異なるソースからのモード ID。 |
| OBD_モード | テナント ID | テナント ID | 整数（ヌル） | 新しいテナントが作成されるときにアプリケーションによって自動生成されるテナント ID。 |
| OBD_モード | サブテナント ID | サブテナント ID | 整数（ヌル） | 新しいテナントが作成されるときにアプリケーションによって自動生成されるサブテナント ID。 |
| OBD_モード | 型番 | 型番 | int（ヌルではない） | モードの数値識別子。 |
| OBD_モード | モード名 | モード名 | nvarchar (50) (ヌルではない) | モードの名前。 |
| OBD_モード | モード説明 | モード説明 | nvarchar（128）（ヌル） | モードの説明テキスト。 |

## 結果

| ソーステーブル | 列名 | 表示名 | データ タイプ | 説明 |
|---|---|---|---|---|
| OBD_結果 | アウトカムグループ | アウトカムグループ | nvarchar | この結果グループは、 |

| | | | | |
|---|---|---|---|---|
| | | | （32）（ヌル） | 来るのは属する。 |
| OBD_結果 | アウトカム ID | アウトカム ID | int<br>（ヌルではない） | 作成時に自動生成された結果 ID。 |
| OBD_結果 | 説明 | 説明 | nvarchar<br>（128）（ヌル） | 結果の説明。 |
| OBD_結果 | 表示名 | 表示名 | nvarchar<br>（128）（ヌル） | 結果の説明。 |
| OBD_結果 | ビジネス収益 | ビジネス収益 | int<br>（ヌルではない） | これは結果の種類を示します。テレフォニー成果の場合は 0、ビジネス成果の場合は 1。 |
| OBD_結果 | チャンネルタイプ | チャンネルタイプ | int<br>（ヌルではない） | チャネルの種類。 SMS は 1、VOICE は 2、3 EMAIL の場合は 1、CPAAS の場合は 4、IVR の場合は 0 です。 |
| OBD_結果 | 設定可能 | 設定可能 | 整数<br>（ヌル） | これは、この結果の設定プロパティが変更できるかどうかを示します。 0 は変更を許可しません。1 は変更を許可します。 |
| OBD_結果 | 削除済み | 削除済み | int<br>（ヌルではない） | これは、特定の結果が結果テーブルでソフト削除されているかどうかを示しま |

| | | | | |
|---|---|---|---|---|
| | | | | す。 0 は削除され、1 は削除されません。 |
| OBD_結果 | RPC タイプ | RPC タイプ | nvarchar (8) (ヌル) | これは、結果の RPC タイプが RPC か非 RPC かを示します。 |

| | | | | |
|---|---|---|---|---|
| OBD_結果 | BO 親 ID | BO 親 ID | int（ヌル） | 親結果グループの ID。 |
| OBD_結果 | 再試行回数の増加 | 再試行回数の増加 | ビット（ヌル） | これは、特定の試行に対してリタイア回数を増やす必要があるかどうかを示します。 |
| OBD_結果 | グローバルリトライ | グローバルリトライ | 少し（ヌル） | この結果のグローバル再試行回数。 |
| OBD_結果 | デイリーリトライ | デイリーリトライ | 少し（ヌル） | この結果の毎日の再試行回数。 |
| OBD_結果 | モード再試行 | モード再試行 | 少し（ヌル） | この結果のモードレベルの再試行回数。 |
| OBD_結果 | 結果再試行 | 結果再試行 | ビット（ヌル） | この結果が設定されている場合、連絡先を閉じる必要があるかどうか。 0 の場合は接点を閉じ、1 の場合は接点を開いたままにします。 |
| OBD_結果 | ウィンドウ再試行 | ウィンドウ再試行 | ビット（ヌル） | これは、ウィンドウ再試行が有効かどうかを示します。 0 は無効、1 は有効です。 |
| OBD_結果 | エージェントビュー | エージェントビュー | ビット | これは、結果がエージェントが閲覧可能 |

| | | | | |
|---|---|---|---|---|
| | | | （ヌル） | としてマークされているかどうかを示します。 |
| OBD_結果 | デフォルトオフセット | デフォルトオフセット | 整数（ヌル） | は、この結果で連絡を再試行するデフォルトの日数を示します。 |
| OBD_結果 | デフォルトの閉じる連絡先 | デフォルトの閉じる連絡先 | 少し（ヌル） | これは、 |

| | | | | |
|---|---|---|---|---|
| | | | | この結果は閉じられる可能性があります。 |
| OBD_結果 | デフォルトの最大再試行回数 | デフォルトの最大再試行回数 | 整数（ヌル） | この結果に対して許可される再試行の最大回数。 |
| OBD_結果 | ライブ通話結果 | ライブ通話結果 | 整数（ヌル） | これがライブコールの結果であるか、マップされた結果であるかを示します。 |
| OBD_結果 | エクスポートされた結果 ID | エクスポートされた結果 ID | 整数（ヌル） | 別のプラットフォームまたはダイヤラーからエクスポートされた結果の ID。 |
| OBD_結果 | 外部結果 ID | 外部結果 ID | nvarchar（68）（ヌル） | 使用されていません。 |
| OBD_結果 | テナント ID | テナント ID | 整数（ヌル） | 新しいテナントが作成されるときにアプリケーションによって自動生成されるテナント ID。 |
| OBD_結果 | サブテナント ID | サブテナント ID | 整数（ヌル） | 新しいテナントが作成されるときにアプリケーションによって自動生成されるサブテナント ID。 |

| ソーステーブル | 列名 | 表示名 | データ タイプ | 説明 |
| --- | --- | --- | --- | --- |
| OBD_キャンペーン_ビジネス分野 | キャンペーン ID | キャンペーン ID | nvarchar（64）（ヌルではない） | これは、ユーザに対して自動生成された一意の識別子です。 |
| OBD_キャンペーン_ビジネス分野 | フィールド名 | フィールド名 | nvarchar（64）（ | カメラ用に構成された事業分野 |

| | | | | |
|---|---|---|---|---|
| | | | ヌル) | 痛み。 すべての事業分野がリストされています。 |
| OBD_キャンペーン_ビジネス分野 | データ型 | データ型 | nvarchar (32) (ヌルではない) | ビジネス フィールドのデータ型 – Number、Float、または DateTime。 |
| OBD_キャンペーン_ビジネス分野 | 形式 | 形式 | nvarchar (32) (ヌルではない) | ビジネス フィールドのデータ型がフィールドの場合、日付の形式。 |
| OBD_キャンペーン_ビジネス分野 | ビジネス分野 | ビジネス分野 | nvarchar (32) (ヌルではない) | アプリケーションによって生成されたビジネス フィールド ID。 |
| OBD_キャンペーン_ビジネス分野 | SQL 式 | SQL 式 | nvarchar（64）（ヌルではない） | 文字列以外のデータ型のビジネス フィールドは、ビジネス フィールド ID とともにこの列に CAST として表示されます。 |
| OBD_キャンペーン_ビジネス分野 | メールがマッピングされているか | メールがマッピングされているか | 少し（ヌル） | ビジネス フィールドが電子メール機能にマップされているかどうかを示します。 |
| OBD_キャンペーン_ビジネス分野 | SMS マッピング済み | SMS マッピング済み | 少し（ヌル） | ビジネス フィールドが SMS 機能にマップされているかどうかを示します。 |
| OBD_キャンペーン_ビジネス分野 | DNC マップ済み | DNC マップ済み | ビット（ヌル） | ビジネス フィールドが Do Not Call (DNC) リストにマップされているかどうかを示します。 |
| OBD_キャンペーン_ビジネス分野 | ビジネスタイプ ID | ビジネスタイプ ID | 整数（ヌ | キャンペーンに関連付けられたビジネスの種類の識別子を表します。 |

| | | | | |
|---|---|---|---|---|
| | | | ル) | |
| OBD_キャンペーン_ビジネス分野 | 編集可能 | 編集可能 | 少し（ヌル) | ビジネス フィールドが編集可能かどうかを示します。 |
| OBD_キャンペーン_ビジネス分野 | シーケンス ID | シーケンス ID | ビット（ヌル) | ビジネス フィールドに順序付け用の特定のシーケンス ID があるかどうかを表します。 |
| OBD_キャンペーン_ビジネス分野 | IsMax | IsMax | 整数（ヌル) | 該当する場合、ビジネス フィールドの最大値または制限を示します。 |

| | | | | |
|---|---|---|---|---|
| OBD_キャンペーン_ビジネス分野 | 閲覧可能 | 閲覧可能 | 少し（ヌルではない） | ビジネス フィールドがアプリケーションで表示可能かどうかを示します。 |
| OBD_キャンペーン_ビジネス分野 | IVRMapped かどうか | IVRMapped かどうか | 少し（ヌルではない） | ビジネス フィールドが IVR システムにマップされているかどうかを示します。 |
| OBD_キャンペーン_ビジネス分野 | SNS マップ済み | SNS マップ済み | 少し（ヌル） | ビジネス フィールドが SNS 機能にマップされているかどうかを示します。 |
| OBD_キャンペーン_ビジネス分野 | 文字長 | 文字長 | nvarchar (3) (ヌル) | 最大許容長さを表すビジネス フィールドの文字数を文字列値として指定します。 |
| OBD_キャンペーン_ビジネス分野 | 顧客マスター | 顧客マスター | nvarchar（250）（ヌル） | キャンペーンに関連付けられた顧客関連データが含まれます。最大長は 250 文字です。 |
| OBD_キャンペーン_ビジネス分野 | テナント ID | テナント ID | 整数（ヌル） | アプリケーションによって自動生成されるテナントの一意の識別子。 |
| OBD_キャンペーン_ビジネス分野 | サブテナント ID | サブテナント ID | 整数（ヌル） | アプリケーションによって自動生成されるサブテナントの一意の識別子。 |

# パフォーマンスメトリック

リアルタイム コンソールは、進行中のキャンペーンについて 15 秒ごとに更新されたデータを継続的に提供します。 これには、試行率、RPC % (Right Party Connect 率)、包括的なキャンペーン コンタクト統計などの主要な指標が含まれます。

**[レポート] > [パフォーマンス]** に移動して、[パフォーマンス メトリック] ページを開きます。 「パ

フォーマンス メトリック」ページには、キャンペーン サマリーのリアルタイム データが表示されます。

# キャンペーン概要

キャンペーンの概要には、キャンペーン レベルのパフォーマンスが表示されます。 キャンペーン レベルの予測パラメータと現在のダイヤラー ペース データの両方が表示されます。

キャンペーン概要には次のパラメータが含まれます。

| フィールド | 説明 |
|---|---|
| **キャンペーンの詳細** | |
| キャンペーン | キャンペーンの名前。 |
| キャンペーンのステータス | キャンペーンの現在のステータス。 |
| **システムレベルのステータス** | |
| 利用可能な連絡先の合計数 | その日のオープンステータスの連絡先の合計数。 |
| 合計通話回数 | その日の合計試行回数。 |
| 応答された通話の合計数 | その日に接続されたエージェントと留守番電話を含む連絡先の合計数。 |
| 進行中の通話の合計 | ダイヤラーによって現在ダイヤルされているライブ通話の数。 |
| 平均処理時間（Average Handle Time） | 通話時間と ACW 時間の平均合計を、 *応答された通話の合計数* で割った値。 |
| 完了 % | 連絡先テーブルのすべてのレコードを考慮し、クローズされた連絡先の数を連絡先の合計数で割ります。 |
| 接続する % | 試行され応答されたダイヤルされたユニーク コンタクトの合計数を、当日にダイヤルされたユニーク コンタクトの合計数で割った値です。 |
| 試み % | 当日の合計ダイヤル通話数を合計ユニークコンタクト試行数で割った値です。 |
| 接続試行 % | 当日の応答コール総数をダイヤルコール総数で割った値。 |
| 成功 % | ライブ コール選択を使用してビジネス結果の成功またはテレフォニー結果が成功としてマークされたダイヤルされたコールの合計数を、当日のダイヤルされたコールの合計数で割った値です。 |
| RPC % | RPC タイプの結果を持つダイヤルされたコールの合計数を、当日のダイヤルされたコールの合計数で割ったもの。 |
| 開ける % | 連絡先テーブルのすべてのレコードを考慮し、オープンステータスの連絡先の合計数を連絡先の合計数で割ります。 |
| 新鮮な % | 連絡先テーブルのすべてのレコードを考慮し、フレッシュ (オープンで試行なし) ステータスの連絡先の合計数を連絡先の合計数で割ります。 |

| | |
|---|---|
| 再スケジュール % | 連絡先テーブルのすべてのレコードを考慮し、再スケジュール (オープンで少なくとも 1 回試行) ステータスの連絡先の合計数を連絡先の合計数で割ります。 |

| | |
|---|---|
| 閉鎖率 | 連絡先テーブルのすべてのレコードを考慮し、クローズ状態の連絡先の合計数を連絡先の合計数で割ります。 |
| **今日の統計** | |
| 開ける % | 現在オープン ステータスにある連絡先の数を、今日アップロードされた連絡先の合計数と、その日の初めのオープン ステータスにある連絡先の数の合計で割ります。<br><br>オープンな連絡先はダイヤルできるレコードです。 |
| 新鮮な % | 新規 (オープンで一度も試行されていない) ステータスの現在の連絡先を、本日アップロードされた連絡先の合計と、その日の初めのオープン ステータスの連絡先の数の合計で割ります。<br><br>新鮮な連絡先は、一度も試行されたことのないレコードです。 |
| 再スケジュール % | 再スケジュール済み（オープンで少なくとも 1 回試行済み）ステータスの現在の連絡先を、本日アップロードされた連絡先の合計と、その日の初めのオープン ステータスの連絡先の数の合計で割ります。<br><br>再スケジュールされた連絡先は、少なくとも 1 回試行され、リダイヤルを待機しているレコードです。 |
| 閉鎖率 | 現在クローズ状態の連絡先を、本日アップロードされた連絡先の合計数と、その日の初めのオープン状態の連絡先の数の合計で割ります。<br><br>クローズされた連絡先は、ダイヤルできず、システムまたはユーザによってクローズされたレコードです。 |
| **合格レベルの統計** | |
| 1%をパス | 今日 1 回のみ試行された連絡先の数を、今日アップロードされた連絡先の合計と、その日の初めにオープン ステータスであった連絡先の数の合計で割ります。 |
| 合格率 2% | 今日 2 回のみ試行された連絡先の数を、今日アップロードされた連絡先の合計数と、その日の初めにオープン ステータスであった連絡先の数の合計で割ります。 |
| 合格率 3% | 今日 3 回のみ試行された連絡先の数を、今日アップロードされた連絡先の合計と、その日の初めにオープン ステータスであった連絡先の数の合計で割ります。 |
| 合格率 4% | 今日試行が 4 回のみだった連絡先の数を、今日アップロードされた連絡先の合計数と、その日の初めにオープン ステータスだった連絡先の数の合計で割ります。 |

| | |
|---|---|
| 合格率 5% | 今日試行が 5 回のみだった連絡先の数を、今日アップロードされた連絡先の合計と、その日の初めにオープン ステータスだった連絡先の数の合計で割ります。 |
| > 合格率 5%（合格優良- | 本日のコンタクト試行回数が 5 回を超えるコンタクトの数 |

| | |
|---|---|
| 5%未満 | 今日アップロードされた連絡先の合計数と、その日の初めにオープンステータスになっている連絡先の数の合計です。 |

# レポートフィルター基準

レポート　モジュールには強力なフィルターが付属しており、ユーザはコンタクト　センターのマクロ　ビューを確認し、連絡先、通話、エージェントのミクロ　レベルまでドリルダウンすることができます。 次のパラメータに基づいてレポートをフィルタリングできます。

## タイムゾーン

特定のタイムゾーンの履歴レポートを生成できます。 他のフィルター条件を選択する前に、[TimeZone] ドロップダウンからタイムゾーンを選択します。

**注記**: これはオプションの構成です。 タイム ゾーン別にレポートを取得するには、LCMService web.config ファイルでプロパティ IsTimeZoneRequiredForFilter を true に設定する必要があります。

レポート データは、選択した周期に基づいて入力されます。

- **今日** フィルターは、選択したタイムゾーンの現在の日付に関連するレポート データを表示します。
- **昨日** フィルターは、選択したタイムゾーンの前日から深夜までに関するレポートを表示します。
- **今週** フィルターは、選択したタイムゾーンの月曜日から当日までのレポート データを表示します。
- **今月** フィルターは、選択したタイムゾーンで暦月の初日から現在の日までのレポート データを表示します。
- **カスタム** フィルターは、選択したタイムゾーンで選択された開始日と終了日に基づいて日付範囲のレポート データを表示します。

## グローバルリスト

すべてのグローバル リストが選択用に表示されます。 単一選択と複数選択の両方が許可されます。 すべてのグローバルリストを選択するには、 **すべて選択**。

## キャンペーングループ

選択したグローバル リストの連絡先を含むすべてのキャンペーン グループにデータが入力されます。 単一選択と複数選択の両方が許可されます。 すべてのキャンペーングループを選択するには、**すべて選択**。

## キャンペーン

選択したキャンペーン グループの連絡先を含むすべてのキャンペーンが入力されます。 単一選択と複数選択の両方が許可されます。 すべてのキャンペーンを選択するには、 **すべて選択**。

**注記**: 単一のキャンペーンを選択すると、次のレベルにフィルタリングできます。 複数のキャンペーンを選択した場合、次のレベルへのフィルタリングは無効になります。 このレベルのレポートを表示します。

## リスト

このキャンペーン用にアップロードされたすべての連絡先リストが入力されます。 単一選択と複数選択の両方が許可されます。 すべてのリストを選択するには、 **すべて選択**。

**注記**: リストには、日付パネルのデフォルトの日付、つまり現在の日付が入力されます。 さらに多くのリストを選択するには、[日付] パネルから日付を選択し、[OK] をクリックします。 入力されたリストの中から、レポートに必要なリストを選択します。

## CSS グループ

選択したリストに適用可能なすべての連絡先選択戦略 (CSS) を選択できます。 単一選択と複数選択の両方が許可されます。 すべての CSS グループを選択するには、 **すべて選択**。

## CSS グループ条件

上記の CSS グループの条件が入力され、選択可能になります。 単一選択と複数選択の両方が許可されます。 すべての条件を選択するには、 **すべて選択**。

上記のフィルター選択のどの段階でも、 **検索** 特定の文字列の項目を入力します。

フィルター選択のどの段階でも、 **記録を表示** 選択したレベルまでのレコードをレポートに入力します。 フィルターの選択中は、どこからでもキャンペーン レベルに直接戻ることができます。 さらに、キャンペーン グループに戻すにはキャンペーンの選択を解除し、グローバル リスト レベルに戻すにはキャンペーン グループの選択を解除する必要があります。

**注記**:　選択したフィルター基準に応じて、各レポートに異なる列が含まれる可能性があります。 スクリーンショットでは、すべてのキャンペーンを選択するという最も広範なフィルター基準からレポートを取得しました。 したがって、これらは単なる説明に過ぎません。